



VR-Z600 デジタルビデオレコーダー

デジタルビデオレコーダー

型名 VR-Z600

取扱説明書

お客様ご相談センター

☎ (03)5684-9311 [代表]

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

☎ (06)6765-4161 [代表]

〒543-0028 大阪府天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル



日本ビクター株式会社

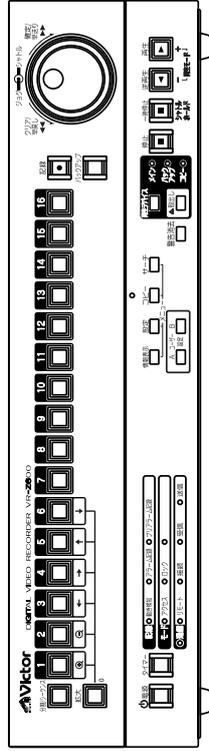
システムネットワーク事業本部

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 60-7244 [ダイヤルイン]

© 2001 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

87ZC273C4

VR-Z600



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
また別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要に応じてお読みください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

I

本機の主な特長

大容量ハードディスクドライブ内蔵デジタルビデオレコーダー

JPEG圧縮方式によるデジタル方式の採用により、水平解像度450以上の高画質再生映像を実現。画質設定を5段階の中から選択可能... 8段階から選択可能。最大960万コマの連続記録が可能です。

16入カマルチプレックス機能内蔵

運用カメラ位置台数の増加に対応し、レコーダーとマルチプレックスを組み合わせた運用が一般化。デジタル記録の特徴である高画質な再生映像の追求と記録運用の合理化を目指し、使い勝手のよいマルチプレックス機能を内蔵しました。

- カメラ切り換えと分割表示機能
スルーアウト端子付き16カメラ非同期入力対応。分割表示機能として、1・4・9・16分割並びにシーケンシャル表示機能を搭載しました。
タイムマープログラム運動機能
記録運用を行うカメラパターンを3種類登録可能。タイム記録プログラムと連動して運用カメラ台数を時間帯により変更指定可能です。
電子拡大表示機能
現在お使いのカメラで表示中映像の任意部分の電子拡大表示が可能。たとえば、現金受渡カウンタ付近の拡大表示などが本体操作で可能になります。

動き検知機能

検知している個別16カメラ毎に動く物体を検知しアラーム記録を開始します。動きを検出するエリアドット設定、10x12のドットで分割された検出位置、動きを検出する感度、アラーム記録を開始する最低ドット数など、それぞれを任意に個別に設定することが可能です。これにより、カメラから離れた移動物体を識別してアラーム記録する監視体制が構築できます。

ノンストップ記録運用への対応と記録メディア

記録映像の長期保管用途に対応し、ハードディスク記録運用を止めずにバックアップ、コピー動作を実現、用途に合わせてメディアの選択の広さと様々なノンストップ記録運用形態に対応できます。

- カメラ毎記録時間帯設定機能
カメラ毎に個別に記録時間帯の設定が可能です。
バックアップメディア
外部に各種補助記録装置としてDDSやDVD-RAM、MO、デジタルカセットレコーダーなどを市販の記録メディアを介してバックアップが可能です。
記録を止めずにバックアップ
ノンストップ記録運用中に記録動作を止めずにバックアップ、コピー操作が可能。さらに、タイム予約によって記録時間帯中に、同時にバックアップ動作の時間帯指定が可能のため、毎週決まった曜日などにバックアップを完了したメディアを作成することができ、管理運用面で大変便利です。

16カメラ入力に対応し、さらに記録時間の延長が必要なお場合には、内蔵のハードディスクを追加して、外部にHDDを2台まで増設(最大326GB)が可能です。

ユーザーフレンドリーな操作性

従来のデジタルビデオレコーダーとはタイムラプスVTRとの内部構造の違いにより、画感での操作がしにくいという欠点がありました。この点に配慮し、操作パネルにはタイムラプスVTRの操作キー構成や、ジョグダイヤルを採用しました。

- 映像改変選別機能
本機を用いて記録された映像は、デジタル記録された各映像ごとに独自方式の改変選別用の処理を付加しました。
音声記録機能
1チャンネルのPCM音声記録可能モードを装備。店舗のレジスタ操作音や、接客中の会話などを、監視映像と共にクリアな音質での記録が可能です。
多彩な高速検索動作
知目の検索アルゴリズムにより快適な検索動作を実現。アラーム入力時間リストからの検索や、日時指定検索、スキップ・インデックス検索などが可能です。
優れた拡張性
パーソナルコンピュータからのリモート操作を可能にするRS-232C・インターフェースや各種簡易コントロール端子を標準装備。高度なセキュリティシステムにも柔軟に対応できます。
プリアラーム記録機能
アラームセンサーが異常を感じずる前からの映像も記録できます。アラーム寸前の決定的瞬間をとりのがすことなど、監視効果をさらに高められます。
4桁年号表示
2000年対応表示に配慮し、タイムデータエネター年号表示を4桁としました。

はじめに

もくじ

I章 はじめに お使いになる前に知っておいていただきたい事前です。
使用上のお願ひ 6-7
アフターサービス 7
保証とアフターサービスについて 7
各部のなまえととはたらき 8-11

II章 基本操作編 基本的な操作について説明しています。

基本操作 12-19
ジョグ・ダイヤルの使い方 12
文字サイズの設定のしかた 12
メニュー画面から通常画面に戻るには 12
時刻表示画面 13
記録済み容量表示機能 13
マルチプレックス機能 14
基本的な記録のしかた 14
画質を設定する 14-15
基本記録間隔を設定する 15
カメラ運用選択を設定する 15
カメラ運用設定を設定する 16
基本的な再生のしかた 17
基本的な再生のしかた 17-18
HDDからコピー機能またはバックアップ機器へのコピーのしかた 19

III章 設定編 本体と外部接続機器との接続方法を説明しています。

接続のしかた 20-22
CCTVカメラ、モニター、センサー、電源装置との接続 20
外部からの本機電源の入/切について 20
アラーム記録の接続方法 21
カメラ番号1に対応したアラーム信号の場合 21
外部記録機器との接続 21
接続できる外部記録機器 21
使用するケーブルについて 21
使用する外部記録機器が一台だけの場合 22
使用する外部記録機器が複数台の場合 22
初期設定 23-24
ハードディスク(HDD)増設時およびID番号を変更したとき 23
システムの初期化をおこなった場合、HDDをはずしたとき 23
外部接続機器の確認のしかた 24
本機の起動遅延時間の設定のしかた 24
IV章 運用編 システムとしてお使いになるための設定のしかたです。
メニュー画面一覧 25-28

2

はじめに
基本操作編
設定編
運用編
コマンドコード
記録時間表
故障かな?
用語集
さくいん

<設定メニュー> 25-27
<コピーメニュー> 26
<情報表示メニュー> 27
<サーチ選択メニュー> 28
設定のしかた 29
画面の表示方法 29
いろいろな設定 29-41
<表示設定> 29-30
時刻表示形式の種類と設定 29-30
表示位置設定 30
<消去データ選択> 31
<I/O端子設定> 31-34
MODE OUT設定 31
残量モード警告設定 32
CALL OUT設定 32-33
プザー設定 33
ユーザーボタン設定 34
<保守設定> 35-36
停電ログリスト 35
バックアップ開始位置リセット 35
メニュー初期化 36
<時刻・初期設定> 36-40
時刻設定 36
HDDリセット記録 36-37
HDDリセット再生 37
上書きバックアップ設定 37
バックアップメディア自動イジェクト 38
バックアップ範囲 38
バックアップリポート 38-39
動き検知機能 39
音声記録機能 40
<情報表示> 41
記録範囲読込み 41
SCS機器ID 41
<稼働時間> 41
いろいろな記録設定 42-49
記録に関する設定 42
<記録設定> 42
画面設定 42
基本記録間隔 42
<記録時間帯入り> 42
カメラ運用選択 42
カメラ運用設定 42
アラーム記録、動き検知設定 43-45
画面・基本記録間隔・カメラ運用設定 43-44
アラーム記録カメラ 44
プリアラーム記録設定 44
<動き検知機能> 46-49
設定カメラ選択 46
カメラ毎動作設定 46
検知エリアドット設定 47
感度 48
記録開始ドット数 48
動作テストモード 49

はじめに

IV章 運用編 (つづき) マルチプレイカメラ機能 50-58

マルチプレイカメラ機能関連ボタン 50-51
分割/シャッターボタンの動作 50
拡大ボタンの動作 51
カメラ番号ボタンの動作 51
分割/シャッターボタン、拡大ボタン 52
おまひカメラ番号ボタンの動作表 53-54
<マルチプレイカメラ設定> 53
分割/シャッターボタン設定 53
4分割表示位置設定 53-54
9分割表示位置設定 54
16分割表示位置設定 54-55
分割表示画面 55
自動切換設定 55-56
タイトル表示 56
タイトル入力 57
アラーム入力1画面表示 58

運用例 58-63

運用例1 58-59
運用例2 60
運用例3 60-62
運用例4 62-63

タイマー予約のしかた 64-68

<タイマー予約設定> 64-68
指定曜日設定 66
予約時刻が重なってしまったときは 67
カメラ運用動き検知設定 68

アラーム記録のしかた 68-69

アラーム記録 68
アラーム記録の動作 68
アラーム記録の設定 69
アラーム記録中の動作について 69
アラーム記録時刻表示 69
アラーム記録中にアラーム記録が始まり、通常記録中にアラーム記録が止まり、終了した後の動作 69
アラーム記録時のインデックス番号の書き込みについて 69
アラーム記録されるカメラ 69

いろいろな記録 70-73

プリアラーム記録 70
プリアラーム記録動作 70
レポート記録 71
HDDの記録容量がなくなつたときの動作について 71
シリーズ記録 72-73
接続のしかた (2台の場合) 72
シリーズ記録のしかり (2台とも設定します) 72-73

シリーズ記録中の動作 73
いろいろな再生 74-75

静止画再生 74
シャトル再生 74
シャトルホールド 74
ダイレクトシャトル再生 74
コマ送り再生 75
逆再生 75
再生間隔の変更 75
高速早送り/早戻し再生 75
画面表示設定と再生動作の関係 75
いろいろなサーチ 76-79

<インデックスサーチ> 76-77

<スキップサーチ> 77
<アラームリストサーチ> 78
<先頭サーチ> 79

バックアップ機器、コピー機器の再生のしかた 79

SCSI ID 番号の割り当て 79
再生アパイスの選択 79
コピーのしかた 80-81

HDD からコピー機器へ記録内容をコピーする 80

コピー機器から HDD へ記録内容をリストアする 80
バックアップ機器から HDD へ記録内容をリストアする 80
コピー範囲の設定 80-81
コピー範囲の自動設定のしかた 80
コピー範囲の自動調整 81
コピー範囲の自動調整 81
「**」の設定方法 81

バックアップのしかた 82-84

バックアップ動作 82-83
バックアップの中断 83
バックアップ実施時の各設定 83
バックアップ形態の選択 83
バックアップ完了時のバックアップメディア自動リジェクトについて 83
タイマーバックアップ 84

便利な機能について 85-86

停電復帰記録 85
停電復帰表示 85
停電復帰音 85
リセットボタン 85
簡易ロック機能 85
パスワードロック機能 85-86
メニューイック設定 86
通信設定 87
<通信設定> 87

制御入出力信号と回路について 112

POWER ON/POWER OFF/ALARM IN /REC/CLOCK ADJ 入力端子 112
ALARM OUT/MODE OUT 出力端子 112
CALL OUT 出力端子 112
仕様 113

この取扱説明書の読み方

マークの見かた
この取扱説明書でもできます
メニュー画面上にある設定の、設定項目を記載してあります。
(操作) (操作) (操作)
(注意) (注意)
(用語集) (用語集)

RS-232C 設定 87
転送速度 87
TCP/IP 設定 87

パーソナルコンピュータとの接続 88

パーソナルコンピュータとの接続 88
接続 (モデムを介しての接続) 88
ダイレクト接続 88
RS-232C 端子 88
RS-232C ケーブル 88

コマンドコード表について 89

通信モードの設定 89
コマンドコード表およびステータスの様式 89
実施例 89

コマンドコード表 90-101

キャラクターサーチ 102-103

キャラクターサーチ 102
キャラクターサーチに関するコマンド 102
使用できる文字 102
実施例 103

V章 参考 「故障かな?」や「記録時間表」などを記載しています。

記録時間表 104-105

連続記録可能時間表 104
音声記録無し 104
音声記録あり 104

プリアラーム記録時間表 105
音声記録無し、記録時間「長」 105
音声記録無し、記録時間「中」 105
音声記録無し、記録時間「短」 105
音声記録あり、記録時間「長」 105
音声記録あり、記録時間「中」 105
音声記録あり、記録時間「短」 105

「故障かな?」と思う前に 106-107

故障かな?と思うら 106-107

ワーニング表示と CALL OUT 出力 108

エラー表示と対処 108

用語集 / 設定カメラ数および記録間隔設定と記録動作の関係 109

さくいん 110-111

I 使用上のお願い

使用上のお願い

設置場所と取扱い

- ・初めてご使用になるときは、本機内蔵の停電補償回路を動作させるために48時間以上の連続通電で充電する必要があります。
- ・本機を縦置きや極端に傾けて設置しないでください。必ず横置きに設置してください。
- ・使用電源は消費電力の大きな機器(コピー機、空調機器など)と同じコンセントからとらないでください。
- ・他の機器とあまり近づけないでください。機器がお互いに悪影響を与える可能性があります。
- ・強い磁気をもっているものを近づけないでください。映像に悪影響を与えたり、記録が損なわれることがあります。
- ・殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ・この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合、電波妨害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。
- ・本機は記録運用中にハードディスク等に軽微な障害が発生した場合、自動復帰にて記録運用を継続するシステムを搭載しておりますが、故障の早期発見のため運用開始後3年経過時、以降1年毎にエラーコードの確認等の点検を依頼されることをお勧めします。
- ・冷却用ファンは消耗品です。約3万時間を目安に交換してください。(但し、この時間は、あくまでも目安であり、部品を保証するものではありません。「情報表示」メニューの積算時間を点検の目安にすることができます。)
- ・節電のため使用しないときは電源を切ってください。

設置場所の移動

- ・移動させるときは、必ず電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。通電中に過度な衝撃が与えられると、機器内部の電子部品をいためることがあります。特に、電源ボタンまたはアクセシビリティキーが点滅中は注意してください。
- ・製品が入っていた段ボール箱または同等品で梱包してください。ない場合は、傷がつかないように毛布などで包んでください。

お手入れ

- ・キャビネットの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよくしぼって汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・化学そうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ・ベンジンやシンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

使用上のお願い(つづき) /アフターサービス

大切な記録の場合

- ・必ず事前に記録を行い、正常に記録されていることを確認してください。
- ・本機を使用中、本体もしくは接続機器等の不具合により記録されなかったり、正常に再生できなくなったりした場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- ・万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをお勧めします。

著作権について

- ・本機はデジタル方式での記録を行うため、著作権を有する映像などを記録する際には注意が必要です。

動き検知機能について

- ・本機に内蔵されている動き検知機能は、入力される映像信号の状観等により誤動作する場合があります。本機の検出機能を用いて発報するシステム等に接続している場合は、誤動作にご注意ください。また、誤動作が問題となる場合は別のセンサーを取り付けて後面のアラーム入力端子を使用してください。

保証とアフターサービスについて

1. 保証書の記載内容ご確認と保存について
この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
2. 保証期間について
保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をごらんください。
3. 保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できない場合はお客様のご要望により有料にて修理致します。
4. アフターサービスについてのお問い合わせ先
アフターサービスについてのご不明な点はお買上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をごらんのうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
5. 廃棄について
この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適切に処理してください。

- 修理を依頼されるときは
お買上げ販売店に次のことをお知らせください。
- デジタルビデオレコーダー
VR-Z600
- お名前とおとこと
- 電話番号
- 故障症状(詳しく)

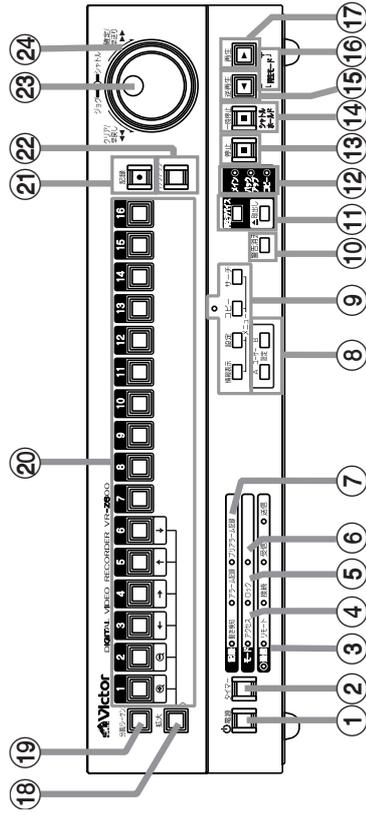
はじめに

基本操作編	設置編	運用編	コマンドコード	記録時間表	故障かな?	用語集	さくいん
-------	-----	-----	---------	-------	-------	-----	------

I

各部のなまえとはたらき

◆ 本体前面部



- ① **電源ボタン**
押すと電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます。電源が入っているときや点灯し、切れているときは消灯します。起動時など動作の移行中は点滅します。点滅中は他の操作を受け付けません。
- ② **タイマー（記録）ボタン**
タイマー記録するときには押しします。もう一度押すと解除されます。タイマー記録動作中及び記録待機中には点灯します。
- ③ **通信ボタン**
通信を行う場合は、このボタンを押ししてください。押しときはボールペンなどをご使用ください。もう一度押すと解除されます。また、通信ボタンを押した場合は、カメラ番号ボタン、分割/シーケンスを押し、カメラ番号ボタンは動かなくなります。本機後面部のRS-232Cも機能しませんのでご注意ください。
- ④ **アクセスインジケータ**
内蔵ハードディスクまたは外部記録機器とアクセスしているときに点灯します。
- ⑤ **ロックインジケータ**
ロックモード中に点灯します。
- ⑥ **ロックボタン**
電源が入った状態でロックボタンを押すとロックインジケータが点灯し、カメラ番号ボタン、分割/シーケンス、拡大以外の操作ボタンが動かなくなり、現在のモードを保持する簡易ロック機能を設定することができます。電源が切れている状態では機能しません。押しときはボールペンなどをご使用ください。もう一度押すと解除されます。また、ロックボタンを5秒以上押しすることによって、パスワードの登録ができるパスワードロック機能を設定することができます。
- ⑦ **記録インジケータ部**
動き検知インジケータ
動き検知機能が動作中に点灯します。
アラーム記録インジケータ
アラーム記録中に点滅し、アラーム記録が終わると点灯します。
リアアラーム記録インジケータ
リアアラーム記録中及び記録待機中に点灯します。
- ⑧ **ユーザー設定ボタンA、B**
メニューで選択した機能の操作を各ボタンに割り当てることによって、ワンタッチ動作を可能にします。

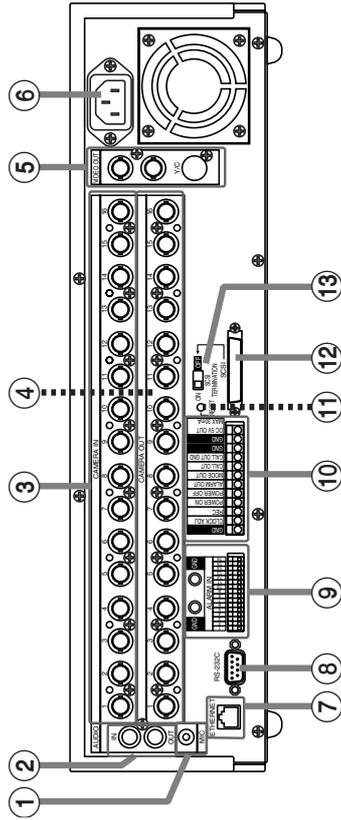
はじめに

- ⑨ **メニューボタン**
情報表示ボタン
記録されている日時範囲や、使用した時間等を表示することができます。
- 設定ボタン**
下記の動作設定を行います。
 - ・カメラ毎の記録運用
 - ・アラーム記録運用
 - ・マルチプレクサ機能
 - ・動き検知機能
 - ・タイムアップログラム機能
 - ・時間表示設定
 - ・外部コントロール端子設定 (ETHERNET、RS-232C等)
 - ・その他初期設定
- ⑩ **コピーボタン**
押すとコピーメニューが表示されます。コピー機器またはハックアップ機器が接続されていない場合は、ご使用になれません。
- ⑪ **コピーインジケータ**
コピーまたは、リストア動作移行中に点滅します。記録内容をコピーまたは、リストア中には点灯します。
- ⑫ **サーチボタン**
下記の動作検索を行います。
 - ・タイムアートサーチ
 - ・インテグレーションサーチ
 - ・スキップサーチ
 - ・アラームリストサーチ
 - ・先頭サーチ
- ⑬ **警告消去ボタン**
画面上の警告表示や停電マーク「X」を消去します。
- ⑭ **再生デバイスボタン**
再生デバイスの選択をします。外部記録機器が接続されていない場合は、デバイスの選択はできません。
- ⑮ **取出しボタン**
再生デバイスのメディアの取出しをします。外部記録デバイスメディアの取出しにはこのボタンをご使用ください。外部記録機器が接続されていない場合は、ご使用になれません。
- ⑯ **再生デバイス インジケータ**
再生デバイスボタンにより選択された外部記録機器のランプが点灯します。
- ⑰ **停止ボタン**
再生/記録を停止します。また、アラーム記録中に押しと記録は停止します。動き検知記録動作中に押しとすると秒間動き検知動作が停止状態となります。
- ⑱ **一時停止ボタン**
記録中に押しと一時停止状態になります。もう一度押しと再び記録を始めます。再生中に押しと静止画再生になります。
- ⑲ **シャトルホルド**
シャトルを任意の方向に回した角度の速さを保ちながら、再生・逆再生をすることができま。
- ⑲ **逆再生ボタン**
押しと逆再生を始めます。
- ⑲ **再生モードボタン**
再生中または、逆再生中にこれらのボタンを押すことにより再生間隔を切り換えることができます。
- ⑲ **再生ボタン**
押しと再生を始めます。
- ⑲ **拡大ボタン**
押しとモニターに拡大ポイント (X) が表示され、カメラ番号ボタン1 (ズームイン) を押しと選択部分を拡大し、カメラ番号2ボタン (ズームアウト) を押しと縮小表示します。また、カメラ番号ボタン3、4、5、6を押しとポイント (X) が移動します。
- ⑲ **分割/シーケンズボタン**
マルチプレクサ機能で選択した画面の1画表示、4、9、16分割表示、シーケンズ表示機能が切り換わります。
- ⑲ **カメラ番号ボタン (1~16)**
押しと本機に接続されたカメラの映像をモニターに表示します。
カメラ番号ボタン1
拡大ボタンを押ししたあと、このボタンを押すと映像の拡大を2段階に拡大します。
カメラ番号ボタン2
拡大ボタンを押ししたあと、このボタンを押すと拡大映像を元の大きさに戻します。
- ⑲ **記録ボタン**
押しと記録が始まります。
バックアップボタン
押しとバックアップボタンが接続されていない場合は、ご使用になれません。
- ⑲ **ジョグダイヤル**
メニュー設定、サーチ設定、コマ送り再生などにご使用ください。
- ⑲ **シャトルリニア**
メニュー設定、サーチ設定及び再生時のスピード調整、早送り、早戻しなどにご使用ください。

I

各部のなまえとはたらき (つづき)

◆ 本体後面部



- ① MICジャック
600Ωインピーダンスのマイクフォン入力端子です。
- ② オーディオ端子
AUDIO IN 端子
RCAピンの音声入力端子です。
- AUDIO OUT 端子
RCAピンの音声出力端子です。
- ③ CAMERA IN端子
BNCコネクタのカメラ映像入力端子です。
- ④ CAMERA OUT端子
それぞれのCAMERA IN端子に入力されたカメラ映像スルー出力端子です。
- ⑤ 映像出力端子
VIDEO OUT 端子 (2系統出力)
BNCコネクタのモニター映像出力端子です。
- S(Y/C) OUT端子
輝度信号と色信号に分割された映像信号の出力端子です。VIDEO OUTとの同時出力が可能です。
- ⑥ 電源コード差込口
付属の電源コードを差込みます。アース端子は、安全のための接地アースです。本機の電源は必ずアース付き交流100Vのコンセントをご使用ください。
- ⑦ ETHERNET端子
ETHERNET端子は、10BASE-Tケーブルを繋いでください。但し、ご使用できる10BASE-Tケーブルは、カテゴリ3あるいはカテゴリ5に限りますのでご注意ください。また、一般のネットワーク網には接続しないでください。
- ⑧ RS-232C端子
RS-232C端子付きのホスト機器と接続するための端子です。
- ⑨ ALARM IN端子
アラーム信号を入力するための端子です。

- ⑩ I/O端子
GND端子
各入力端子のためのグラウンド端子です。
- CLOCK ADJ端子
時刻表示の時刻合わせをするための入力端子です。この端子にCLOCK ADJ信号が入力されると、時刻表示が最も近い正時 (00分00秒) に設定されます。
- REC端子
記録を開始させるための入力端子です。
- POWER ON端子
外部から本機の電源を入/切するための入力端子です。
- POWER OFF端子
外部から本機の電源を切るための入力端子です。
- ALARM OUT端子
アラーム記録中であることを外部に伝えるための出力端子です。
- MODE OUT端子
本機の状態を外部に伝えるための出力端子です。本機の状態の選択はI/O端子設定メニュー画面のMODE OUT設定で行います。
- CALL OUT端子・CALL OUT GND端子
本機の障害を外部に知らせるための端子とその専用GNDです。(アインレーション出力「HDD フル」などの情報を外部に伝えるための端子とその専用GND端子です。外部に伝える情報の選択はI/O端子設定メニュー画面のCALL OUT設定で行う項目と共通で出力させる項目があります。(108ページ参照)
- DC 5V OUT 端子
直流電圧出力のための端子です。最大電流は30 mAです。

- ⑪ RESETボタン
押すと現在時刻が取り消され初期状態となり、電源が切れます。
- ⑫ SCST端子
外部記録機器と接続するための端子です。
- ⑬ SCST端子ターミネータースイッチ
ONにするとターミネーター機能が働き、OFFにすると働きます。外部にSCST機器を接続しない場合はONとしてください。

はじめに
基本操作編
設置編
運用編
メンテナンス
記録時間表
故障かな?
用語集
さくひん

基本操作

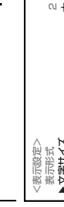
◆ ジョグ・シャトルの使い方

本機は使用目的に合わせてメニュー画面で動作条件を設定することができます。設定方法はメニュー画面によって多少の違いがありますが、ここではジョグとシャトルを使った基本的な設定方法を文字サイズの設定のしかたを例にして説明します。

・文字サイズの設定のしかた

例) 時刻表示の文字サイズを「大」に設定する (初期設定は「小」)。

- 1 **前面部の設定ボタンを押す。**
・設定メニュー→画面が表示されます。
- 2 **カーソルが「表示設定」にあることを確認し、シャトルを右に回す。**
・シャトルを右に回すことによって、次のメニューへ移行します。
- 3 **ジョグを右に回して「文字サイズ」を選択する。**
・ジョグを右に回すとカーソルが下へ、左に回すと上へ移動します。
- 4 **シャトルを右に回して、設定する内容を点滅させる(※1)。**
・ここでは「大」が点滅します。
- 5 **ジョグを右に回して、設定内容を変更する。**
・「大」を点滅させます。
- 6 **シャトルを右に回して、設定を確定する。**
・点滅が止まります。



・メニュー画面から通常画面に戻るには
ジョグ・シャトルを使用しメニュー画面の設定を行ったあと、通常画面に戻る方法を説明します。
例) 上記ステップ1から6で文字サイズを「大」に設定した後、通常画面に戻る。

- 1 **設定項目の点滅が止まり、希望する設定に変更されていることを確認する。**
・設定項目が点滅しているときには、その設定は確定されていません。上記設定方法を参考に、設定を確認を行ってください。
・その他の項目を繰り返して設定したいとき、または設定内容の確認などをする場合、シャトルを一回左に回して、一つ前の画面に戻るともできます(※2)。



- 2 **シャトルを2回左に回す。**
・通常画面に戻ります。
・メニューメニュー(※3)を表示させるときに押したメニューボタンをもう一度押すことにより、通常画面に戻ることもできます。

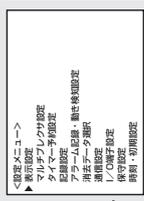


- ※1 **設定内容の点滅中は設定ボタンを押してもメニュー画面は消えません。**

- ※2 **設定項目が点滅中はこの動作を受け付けません。**

- ※3 **メニューメニューには下記の4種類があります。**

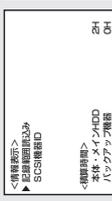
- 1) 設定メニュー (設定ボタンを押すと表示されます)



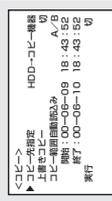
- 2) サーマメニュー (サーチャボタを押すと表示されます)



- 3) 情報表示メニュー (情報表示ボタンを押すと表示されます)



- 4) コピーメニュー (コピーボタンを押すと表示されます)



- ・日付・時刻の合わせかた(※1)
例) 2001年3月15日 午後6時30分(18:30)に合わせる場合。
設定ボタンを押して、<設定メニュー>を表示させる。

- 2 **ジョグを回してカーソル(▶)を「時刻・初期設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。**
・<時刻・初期設定>画面が表示されます。

- 3 **カーソルが「時刻設定」にあることを確認し、シャトルを右に回す。**
・「年の数字」が点滅します。

- 4 **ジョグを回して「2001」年を表示させ、シャトルを右に回す。**
・点滅が「月」の項目に移ります。

- 5 **ステップ4と同様の操作を繰り返して「日」、「時」、「分の10の位」、「分の1の位」を設定する(※2)。**
・「分」の位は設定できません。
・分の設定のあとシャトルを右に回すと、年の位に点滅が戻ります。

- 6 **シャトルを左に回して、設定を確定する。**
・秒の画面は「00」リセットされ、<時刻・初期設定>画面に戻ります。

- ・時刻表示画面
本機に電源を入れると、画面には下図のような日付・時刻表示がでます(表示形式3の場合)(※3)。



- ・記録済み容量表示機能
本機は画面上に指定された記録デバイス(メインHDDまたはバックアップ機器)の使用容量を常時表示することができます。また、指定残量に達すると使用容量表示部分(%)が点滅表示になります。なお、表示の「%」部分は、HDDの場合「メインHDD」として認識された全HDD容量に対する比率となります。バックアップ機器(外部)ではメディア容量に対する比率になります。この機能を有効にするには下記の設定が必要です。

- 1) <I/O端子設定>メニューの「残量モード警告設定」でデバイスの選択と記録容量設定をする(32ページ)。
- 2) <表示設定>メニューの「表示形式」で「3」を選択する(29ページ)。
- 3) カメラ番号ボタンで1画面表示を選択する。分割表示中ときはマルチプレックス設定メニューの「タイトル表示」の設定を「無」にする(56ページ)。

- ※1 **記録を始める前に、あらかじめ日付けと現在時刻を正確に合わせる必要があります。**

- ※2 **時刻は24時間表示になっています。**

- ※3 **その他の表示形式の設定方法は、29ページの「表示設定」をごらんください。**

- ※4 **アラーム記録中にアラーム記録番号が表示されます。**

- ※5 **記録運用に設定されていないカメラの映像が画面表示されている場合、このマークが表示されます。**

- ※6 **記録中にHDD使用量が表示されます。記録を停止すると表示は一旦クリアされ(記録一時停止時はクリアされません)再度記録を開始すると、しばらくしてから再びHDD使用量が表示されます。**

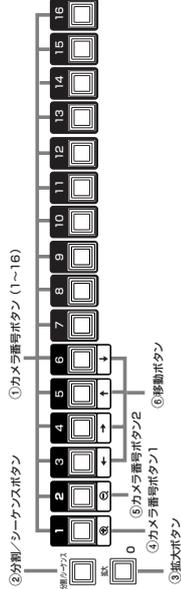
- ※参考 **本機は4桁年号表示を導入しています。表示可能範囲は2000年1月1日から2030年12月31日までの31年カレンダーです。うるす年の自動計算機能も内蔵しています。2030年12月31日を超えると、再び2000年表示に戻ります。**

- ※参考 **後面のCLOCK ADJ端子が接地すると、日付・時刻表示が最も近い正時(00分)に時刻合わせされます。例えば、表示時刻が11時29分59秒の場合は、11時00分00秒に時刻合わせられ、11時30分00秒の時は、12時00分00秒に時刻合わせられます。**

III

基本操作 (つづき)

◆ マルチプレクサ機能
本機前面部に配置されているボタンを使ってマルチプレクサ機能の一部を操作することができます (※1)。



① カメラ番号ボタン (1 ~ 16) (※2)
本機前面部の CAMERA IN 端子 1 から 16 に接続されたカメラの映像を画面に表示します。接続されたカメラが記録対象に設定されていない場合、非運用カメラマーク (※3) (※2) が時刻表示の欄に表示されます。

② 分割/シーケンスボタン : <マルチプレクサ設定>画面の「分割/シーケンスボタン」で設定された 16 分割表示、2 種類の 9 分割表示 (a、b) および 4 種類の 4 分割表示 (a から d)、1 画/シーケンス表示、4 画/シーケンス表示、9 画/シーケンス表示の順に切り替えます (再生時にはシーケンス表示はスキップされます)。また、1 画/16 画と 4 画/9 画シーケンス表示の切り換えも設定できます。

③ 拡大ボタン : 押すとポイント (X) が表示され、④のカメラ番号ボタン 1 で映像を拡大することができます。

拡大ボタンを押すことにより、カメラ番号ボタン 1 ~ 6 の機能は下記のように切り換わります。

④ カメラ番号ボタン 1 : ③の拡大ボタンを押してポイント (X) を表示させた後、このボタンを押すと、ポイント (X) を中心に、映像を 2 段階に 2 倍 (X2)、4 倍 (X4) と拡大させることができます。倍率は画面左上に表示されます。

⑤ カメラ番号ボタン 2 : このボタンを押すことにより拡大されている映像の倍率を 1 段階下げることができます。倍率は画面左上に表示されます。

⑥ 移動ボタン : ③の拡大ボタンを押して表示させたポイント (X) を移動ボタンで拡大表示させた任意の位置へ移動させることができます。④のカメラ番号ボタン 1 で拡大表示したあとにはこれらの移動ボタンで拡大した位置を移動することができます。拡大表示に関する詳細は「拡大ボタンの動作」151 ページをごらんください。

◆ 基本的な記録のしかた
記録を始める前に、記録設定の確認が必要です。各設定項目については 36 ページ<時刻・初期設定>メニューをごらんください。すべての設定を確認したのち、画面の設定を始めます。

・画面を設定する

例) 画質を「スタンダード」に設定する (初期設定は「ハイ」)。

1 外部記録機器の電源を入れた後、本体の電源を入れる (※4)。

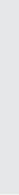
2 設定ボタンを押して<設定メニュー>を表示させる。



※1
① メニュー画面が表示されているときは、本体前面部のボタンを操作することではできません。また、外部記録機器へのアクセス中、おおよびバックアップボタン、コピーボタン、再生ボタンの点滅中は、マルチプレクサ機能は動きません。

※2
② カメラ番号ボタンを押すことにより、接続されたカメラが記録対象に設定されていなくても、映像を表示することができます。

※3
③ 非運用カメラ表示は下記のように表示されます。



※4
④ デバイス点検画面が表示されるときは、外部記録機器の設定が変更されています。詳細は 24 ページ「外部接続機器の確認のしかた」をごらんください。

3

ジョグを回してカーソルを「記録設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
<記録設定>画面が表示されます。

4

カーソルが「画質」にあるのを確認し、シャトルを右に回す。
<画質>の設定項目が点滅します。

5

ジョグを回して「スタンダード」(※1) を表示させ、シャトルを右に回して確定する。
・点滅が止まります。

・基本記録間隔を設定する

例) 基本記録間隔を「7.5 F」に設定する (初期設定は「15 F」)。

1

上記「画質」設定のステップ 5 の操作のあと、ジョグを回してカーソルを「基本記録間隔」(※2) に移動させる。

2

シャトルを右に回して設定項目を点滅させる。

3

ジョグを回して「7.5 F」(※3) を表示させ、シャトルを右に回して確定する。
・点滅が止まります。

4

<記録時間残り> (※4) を確認する。
・基本記録間隔を変更すると、<記録時間残り>も変わりますので、確認してください (アラーム記録設定内容は反映されません)。

・カメラ運用選択を設定する
A、B、C の 3 種類のカメラ運用があり、通常記録に関するカメラ運用を設定することができます。(※5)

例) カメラ運用選択を (B) に設定する (初期設定は (A))。

1

上記「基本記録間隔」設定のステップ 3 の操作のあと、ジョグを回してカーソルを「カメラ運用選択」に移動させる。

2

シャトルを右に回して設定項目を点滅させる。

3

ジョグを回して「(B)」を表示させ、シャトルを右に回して確定する。
・点滅が止まります。

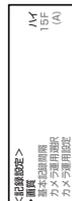
※1
この設定は、通常記録のための基本記録間隔設定です。タイム予約時の記録間隔は、<タイム予約設定>画面上で、アラーム記録時の記録間隔は、<アラーム記録・動き検知設定>画面上でそれぞれ設定する必要があります。詳細は、「タイム予約設定」64 ページと「記録に関する設定」42 ページをごらんください。

※2
① この設定は、通常記録のための基本記録間隔設定です。タイム予約時の記録間隔は、<タイム予約設定>画面上で、アラーム記録時の記録間隔は、<アラーム記録・動き検知設定>画面上でそれぞれ設定する必要があります。詳細は、「タイム予約設定」64 ページと「記録に関する設定」42 ページをごらんください。

※3
この設定は、通常記録のための基本記録間隔設定です。タイム予約時の記録間隔は、<タイム予約設定>画面上で、アラーム記録時の記録間隔は、<アラーム記録・動き検知設定>画面上でそれぞれ設定する必要があります。詳細は、「タイム予約設定」64 ページと「記録に関する設定」42 ページをごらんください。

※4
① 画質および記録間隔の設定によって、記録可能な時間が表示されます。この記録時間残り表示は、外部に HDD を接続した場合、内蔵分を含めた全 HDD の容量に対して表示されます。記録可能時間については 104 ページをごらんください。HDD 補設時に長い記録間隔を設定した場合は、正しく表示されないことがあります。

※5
① プリアラーム記録設定を「短」「中」「長」の何れかを設定した場合、<記録設定>画面の設定項目の変更を受け付くようになります。



II

基本操作 (つづき)

・カメラ運用設定を設定する
 A、B、Cのそれぞれカメラ運用設定に対し、接続しているカメラ毎に「優先度」設定をします。この「優先度」設定では、カメラCH (チャンネル) の有効「1」～「5」、無効「-」を設定します。

例) カメラCH ②に対し、「優先度」設定 (※1) を「2」、カメラCH ③に対し「3」、カメラCH ④に対し「5」、カメラCH ⑤からカメラCH ⑥に対し無効「-」を設定する。
 (※2) (初期設定はカメラCH ①から④が「優先度」設定「1」、カメラCH ⑤から⑥が「優先度」設定「-」)。

カメラ運用設定			
CH	優先度	コマ/秒	コマ/秒
▶①	1	1.87	0
②	2	1.87	0
③	3	1.87	0
④	5	1.87	0
⑤	-	0	0
⑥	-	0	0

カメラ運用設定			
CH	優先度	コマ/秒	コマ/秒
▶①	1	1.87	0
②	2	0.93	0
③	3	0.62	0
④	5	0.37	0
⑤	-	0	0
⑥	-	0	0

カメラ運用設定			
CH	優先度	コマ/秒	コマ/秒
▶①	1	1.87	0
②	2	1.87	0
③	1	1.87	0
④	1	1.87	0
⑤	-	0	0
⑥	-	0	0

1 「カメラ運用選択」設定のステップ3の操作のあと、ジョグを回してカーソルを「カメラ運用設定」に移動させシャトルを右に回す。
 ・「カメラ運用設定」画面が表示されます。

2 ジョグを回してカメラCH ② を選びシャトルを右に回す。
 ・「優先度」の設定項目が点滅します。

3 ジョグを回して「2」を表示させ、シャトルを右に回して確定する。
 ・点滅が止まります。

4 ステップ2、3の操作を繰り返し、カメラCH3、4の設定を行い、シャトルを右に回して確定する。

5 設定ボタンを押して通常画面に戻る。
 ・カメラ番号ボタンを押し、記録するカメラCHに映像が入力されているか確認してください。

6 記録ボタンを押す。
 ・記録ボタンの点灯し、記録が始まります。
 ・記録中に一時停止ボタンを押すと、記録一時停止状態になります。解除するときはもう一度一時停止ボタンを押してください。

7 記録を止めるときは停止ボタンを押す。
 ・記録ボタンの点灯が消えます。

※1
 こんな設定もできます
 ジョグを右に回すと下記のようになり切り換わります。



① 設定についての注意
 <カメラ毎運用設定>においてカメラ運用A、B、CのそれぞれカメラCHに対し、必ず1個以上優先度を有効 (1～5を選択) に設定してください。各運用に対し1個以上優先度を有効にしなければ設定メニュー画面から抜けられなくなりまますのでご注意ください。

※2
 ① 有効設定したカメラOH (チャンネル) に対し、「基本記録間隔」で設定した記録間隔を分割し「優先度」設定値に応じた割り当てます。「優先度」設定で設定した値に1回、記録を行います。それに伴い、「コマ/秒」も連動して可変します。各CHに対し、「優先度」設定を何れに設定しても、記録されるデータの総容量は変わりません。

◆ 基本的な再生のしかた

本機は記録した映像をいろいろな方法で再生することができます。この「基本操作編」でもっとも一般的な再生のしかたを説明します。その他のいろいろな再生のしかたは、下記の参照ページをごらんください。

1 外部記録機器の電源を入れた後、本体の電源を入れます。



2 再生デバイスの選択をする。
 ・前面部にある再生デバイスボタンで、再生するデバイスを選択してください。インジケータが点灯します (外部記録機器が接続されていないときはインジケータの点灯は切り換わりません)。



3 再生ボタンを押す。
 ・静止画面が表示されたあと再生が始まります。
 ・電源を入れたあと、または記録した直後の最初の再生は、静止の時刻から始まります。
 ・最新のデータを再生したいときは、記録を停止したあと、再生ボタンを押す前に再生ボタンを押し直してください。

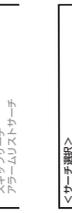


4 再生を一時停止するとき、一時停止ボタンを押す (※1)。
 ・再生を開始するときにもう一度、一時停止ボタンを押してください。



5 再生を止めるときは、停止ボタンを押す。
 ・基本的なサーチのしかた
 ・<タイムデートサーチ>
 本機はいろいろなサーチ機能を持って頭出しをすることができます。この基本操作編では基本的なサーチ機能である、タイムデートサーチの方法を説明します。この方法では、日、時、分、任意のカメラ番号 (※2) による検索が可能です。そのほかのサーチに関しては、下記の参照ページをごらんください。

例) 2001年10月28日 午後9時25分40秒 (21:25:40) カメラ番号③の場合を探したい。



1 サーチボタンを押して<サーチ選択>メニューを表示させる。

2 カールが「表示カメラ番号選択」(※3)にあるのを確認し、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅が止まります。

3 ジョグを回して「③」を表示させ、シャトルを右に回して確定する。
 ・点滅が止まります。

※1
 こんな設定もできます
 <時刻・初期設定>画面の「HDDリブート再生」の設定で「切」の場合、HDD (増設している場合、ID番号がもっとも大きい数字のHDD) の物理的な終端または記録内容の終わりにくると、自動的に再生を停止します。「HDDリブート再生」の設定が「リブート」の場合は、記録されている映像データを繰り返し再生します。詳しくは「HDDリブート再生」37ページをごらんください。

※2
 こんな設定もできます
 複数のカメラを使って記録した時のカメラ1あたりの再生間隔は、記録間隔にカメラ台数をかけた時間になります。詳しくは「設定カメラ数および記録間隔設定と記録動作の間隔」109ページをごらんください。

※3
 こんな設定もできます
 「カメラ番号指定サーチ機能」：表示カメラ番号①～⑥の何れかを選択して各検索を実行させると指定の表示カメラ番号の映像から検索結果を1番表示させることができます。

※4
 こんな設定もできます
 「カメラ番号指定サーチ機能」：表示カメラ番号①～⑥の何れかを選択して各検索を実行させると指定の表示カメラ番号の映像から検索結果を1番表示させることができます。

II

基本操作 (つづき)

ジョグを回してカーソル (▲) を「タイムデイトサーチ」まで移動させ、シャトルを右に回す。

・タイムデイトサーチ画面が表示され、「年の数字」が点滅します (※1)。

ジョグを回して「2001」年を表示させ、シャトルを右に回す。

・点滅が次の表示に移ります。

ステップ5と同様の操作を繰り返して、「月」「日」「分」「秒の10の位」「秒の1の位」を設定する。

・「切」が点滅します。

ジョグを回して、「入」を表示させる。

シャトルを右に回してサーチを実行する。

・タイムデイトサーチが始まり、設定した日時 (またはその期間にもっとも近い記録) の映像が、静止画再生されます (※2)。

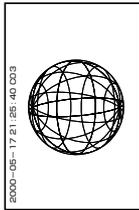
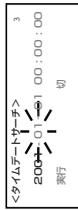
・サーチ結果は「表示カメラ番号選択」設定で「オール」を選択した場合は16画面表示され (※3)、カメラ番号を個別に選択した場合は1画面表示再生されます。

サーチ結果を再生する (※4)。

・サーチ結果が表示された後、再生ボタン、または一時停止ボタンを押してください。

再生、静止画再生を止めるときは、停止ボタンを押す。

・通常画面に戻ります。



※1

※2

※3

※4

※5

※6

※7

◆ HDD からコピー機能またはバックアップ機器へのコピーのしかた

本機はHDDに記録した内容をバックアップメディア、コピーメディアにコピー(全バックアップ)させることができます (※1)。ここでは「手動」設定でコピーを行う方法を説明します。



外部記録機器の電源を入れたあと、電源ボタンを押して本体の電源を入れます。

1 コピー機能 (電源) またはバックアップ機器 (電源) のメディアを入れます。

2 コピーボタンを押す。

・「コピー」画面が表示されます。

3 カーソルが「コピー先指定」にあることを確認し、シャトルを右に回す。

・接続デバイスによりコピー先指定の表示内容は異なります。

・ジョグで希望するコピー元とコピー先を指定し、シャトルを右に回して設定を確定してください。

4 ジョグを回してカーソルを「上書きコピー」まで移動させ、シャトルを右に回す。

・初期設定は「切」です。すでにある記録データを上書きしてコピーするか、追記するかを選択します。希望する設定をジョグで点滅させ、シャトルを右に回して設定を確定してください。

5 ジョグを回してカーソルを「コピー範囲自動読み込み」まで移動させ、シャトルを右に回す。

・初期設定は「手動」です (※2)。

・設定項目を変更する場合は、シャトルを右に回してジョグで任意の設定項目を選びシャトルを右に回して確定します。

6 ジョグを回してカーソルを「開始時刻の行まで移動させ、コピーするデータの「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を表示させる。

・ジョグを回して希望する開始時刻を設定します。シャトルを右に回して設定を確定します。

7 ジョグを回してカーソルを終了時刻の行まで移動させ、コピーするデータの終了「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を表示させる。

・ジョグを回して希望する終了時刻を入力します。シャトルを右に回して設定を確定します。

8 開始・終了時刻を設定したあと、カーソルを「実行」に移動させ、シャトルを右に回す。

・「切」が点滅します。

9 ジョグを回して「入」を点滅させ、シャトルを右に回してコピーを実行する。

・コピーを途中で止めるときは、電源消去ボタンを押しします。

※1

※2

※3

※4

※5

※6

※7

※8

※9

基本操作編

設定編

運用編

コマンドモード

記録時間表

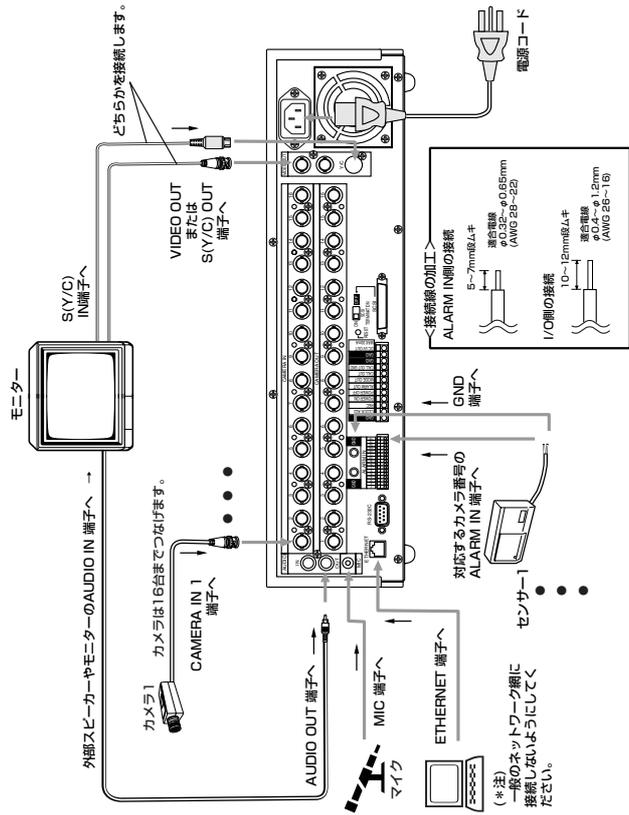
故障かな?

用語集

さくいん

接続のしかた

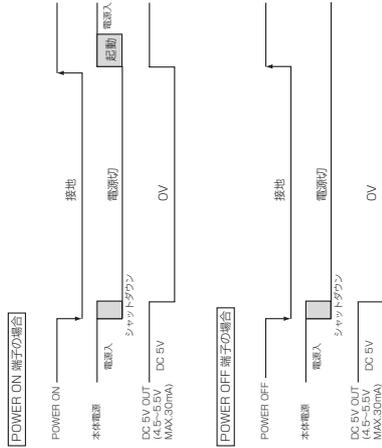
◆ CCTVカメラ、モニター、センサー、電源装置との接続



◆ 外部からの本機電源の入/切について

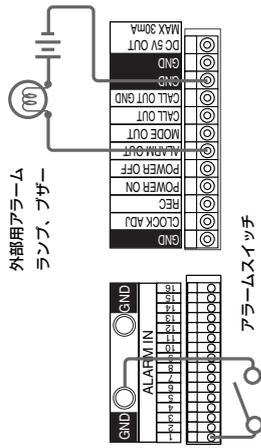
I/O 端子の POWER ON/POWER OFF 端子を用いることで、外部からの本機の電源を入/切することができます。本機の電源の入/切に連動して DC 5V OUT 端子出力が変化しますので、電源の入/切を外部に通知することができます。

POWER ON/POWER OFF 端子と DC 5V OUT 端子、本機の電源の入/切の関係は右図のようになっていますので、適切な外部機器と組み合わせで使用ください。



◆ アラーム記録の接続方法

・カメラ番号 1 に対応したアラーム信号の場合



◆ 外部記録機器との接続 (※1)

本機は後面の SCSI 端子 (SCSI-2 ピンタイプ/ハーフ 50pin) を使って外部記録機器と接続することにより、記録容量を増やしたりバックアップやコピーを行うことができます。使用可能な外部記録機器に関しては販売店にご確認ください。

・接続できる外部記録機器

本機と接続することができる外部記録機器には、ハードディスクドライブ (HDD)、DDS ドライブ (DDS-2, DDS-3)、光磁気ディスク (オーバークラウド対応 640GB MO, 1.3GB MO)、デジタルカセットレコーダー、ZIP などがあります (※2)。

本機は、取出しボタンを使って再生デバイスボタンで選択した外部記録機器のメディアをイジェクトすることができます。接続している外部記録機器の種類によっては反転が動く再生デバイスインジケータが点滅したままになることがあり、この状態では他の操作を受け付けません。再生デバイスボタンのインジケータが点灯するまで待つて次の操作を行ってください。

外部記録機器に取出しボタンがある場合でも、本機のボタンを使用してください。

・使用するケーブルについて

外部記録機器との接続には市販の SCSI 接続用ケーブルを使用します。SCSI ケーブルは接続する機器により異なりますので、ピン配列や接続する機器の SCSI 仕様には適切なケーブルをご使用ください。接続可能なケーブルの長さに関しては販売店にご確認ください。

※1
① 接続するときは本機の電源を切ってください。

※2
① DDS テープは DDS-1、DDS-2 または DDS-3 タイプをご使用ください。音楽再生用 DAT テープなどは使用できません。

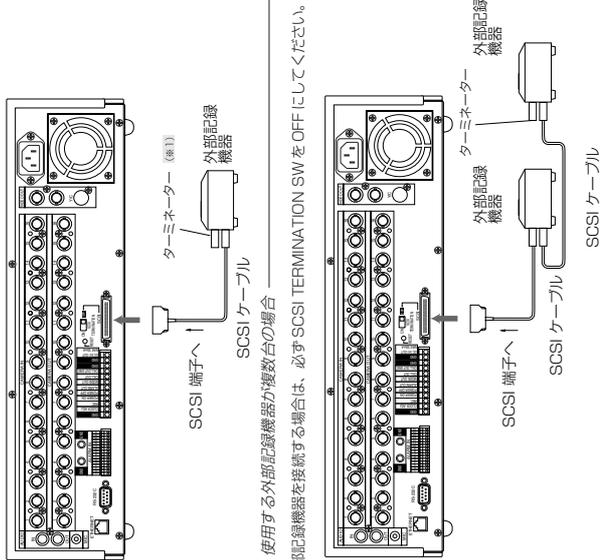
① 光磁気ディスクは OW (オーバークラウド) タイプ MO (640MB または 1.3GB) をご使用ください。

※参考
接続可能な外部記録機器に関しては、当社推奨のものをご使用ください。詳細は販売店にご確認ください。

III

接続のしかた (つづき)

・使用する外部記録機器が一台だけの場合
外部記録機器を接続する場合は、必ず SCSI TERMINATION SW を OFF にしてください。



・使用する外部記録機器が複数台の場合
外部記録機器を接続する場合は、必ず SCSI TERMINATION SW を OFF にしてください。

初期設定

◆ ハードディスク (HDD) 増設時および ID 番号を変更したとき (※1)

例) ID 2 に 9GB の HDD が増設されたとき。

電源ボタンを押す。
・変更が認識されると右のような画面が表示されます。

1 <デバイス検索>
SCSI ID0 : HDD (9GB)
ID1 : HDD (9GB)
ID2 : HDD (9GB)
ID3 : NONE
ID4 : NONE
ID5 : NONE
HDD初期化
立ち上げ準備時間 00

2 <デバイス検索>
SCSI ID0 : HDD (9GB)
ID1 : HDD (9GB)
ID2 : HDD (9GB)
ID3 : NONE
ID4 : NONE
ID5 : NONE
HDD初期化
立ち上げ準備時間 00

3 <電源オフ 立ち上げ準備時間>
ID5 : NONE
HDD初期化 00

4 <電源オフ 立ち上げ準備時間>
ID5 : NONE
HDD初期化 00

2 接続している記録機器が正しく認識されているか確認する。

・接続した記録機器が正しく表示されないときは、「電源オフ」の左にカーソルがあることを確認し、シャトルを2回右に回してください。本機の電源ターミネーターの設定は、接続および SCSI ID 番号が正しく設定されているか確認してください。

3 ジョグを回して「HDD 初期化」の左にカーソルを移動させる。

4 シャトルを右に回す (※2)。
・「シャトルを右」に回すと初期化を実行します。「シャトルを右」と表示されたら、シャトルを右に回す。

1 上記のステップ1で右のような画面が表示される時は、接続不良、SCSI ID 番号の重複または誤った SCSI ID 番号に設定されている可能性があります。そのときはシャトルを2回右に回してください。本機の電源が切れるので、接続および SCSI ID 番号が正しく設定されているか確認してください。

◆ システムの初期化を行ったのち、HDD をはずしたとき

電源ボタンを押す。
・右のような画面が表示されます。ID 4 または5に接続された DDS や RDD をはずしたときは表示されません。

1 <電源オフ 立ち上げ準備時間>
ID4 : DDS
ID5 : RDD
立ち上げ準備時間 00

2 接続している記録機器が正しく認識されているか確認する。

3 ジョグを回して「運用変更」の左にカーソルを移動させ、シャトルを2回右に回す (※3)。

4 本機が起動を始めます。

※1 接続についての注意
ターミネーターは接続された外部記録機器を電気的に正常に動作させるために必要なものです。接続した直後、後述の記録機器には必ずターミネーターを取付けてください (機器によってはターミネーターが内蔵されているものもあります)。その場合には内蔵ターミネーターの設定をしないでください。ターミネーターは SCSI 用アクティブターミネーターをお使いください。

※2 各外部記録機器の SCSI 番号の取決めについては、それぞれの使用説明書をごらんください。

※3 容量表記については 1GB=1000x1000 x 1000 Byte で計算した値です。

※4 バックアップ機器、コピー機器の動作説明については「用語集」109ページをごらんください。

※5 HDD : Removable Disc Drive (リムーバブル・ディスクドライブ) の略称。DVD、MO や ZIP など記録メディアの取外し可能なディスクドライブを指します。

※6 HDD : Hard Disc Drive (ハード・ディスクドライブ) の略称。セリフアフェクトに対応したものにしてください。

※7 DDS : Digital Data Storage (デジタル・データ・ストレージ) の略称。記録メディアにテープを用いたものを指します。

※8 ID 2 と3に HDD を増設したときの記録時間見出しは、増設分も含めた期間を表示します。ただし増設容量が最大になると、長い記録時間の見出しは正しく表示されない場合があります。

本機は接続機器の用途/目的にあわせて SCSI ID 番号を設定する必要があります (※2)。

SCSI ID 番号	接続機器	用途/目的	備考
0	内蔵-HDD	記録用	
1	内蔵-HDD		
2	HDD	増設用・記録用HDD	・一台で扱える最大容量は103GB。(※3)
3	HDD		
4	DDS/RDD/HDD	バックアップ	・バックアップ機器として認識される。
5	DDS/RDD	コピー	・コピー機器として認識される。

*RDD : Removable Disc Drive (リムーバブル・ディスクドライブ) の略称。DVD、MO や ZIP など記録メディアの取外し可能なディスクドライブを指します。

*HDD : Hard Disc Drive (ハード・ディスクドライブ) の略称。セリフアフェクトに対応したものにしてください。

*DDS : Digital Data Storage (デジタル・データ・ストレージ) の略称。記録メディアにテープを用いたものを指します。

*ID 2 と3に HDD を増設したときの記録時間見出しは、増設分も含めた期間を表示します。ただし増設容量が最大になると、長い記録時間の見出しは正しく表示されない場合があります。

※1 本機は電源ボタンを押して電源を入れたとき、SCSI 端子 (電源) に接続されている外部記録機器を自動的に検知します。ハードディスクを増設または削除、接続、ID 番号の変更をしたときなどは、システムの初期化を行う必要があります。

※2 ① 本機の内蔵ハードディスクおよび接続されているハードディスク (ID 0 から ID 3 まで) のデータを消去し、た上で、システムを初期化します。ID 4、ID 5 のデータは消去されません。

※3 ① 本機の内蔵ハードディスクおよび接続されているデータの初期化を行います。

III

初期設定 (つづき)

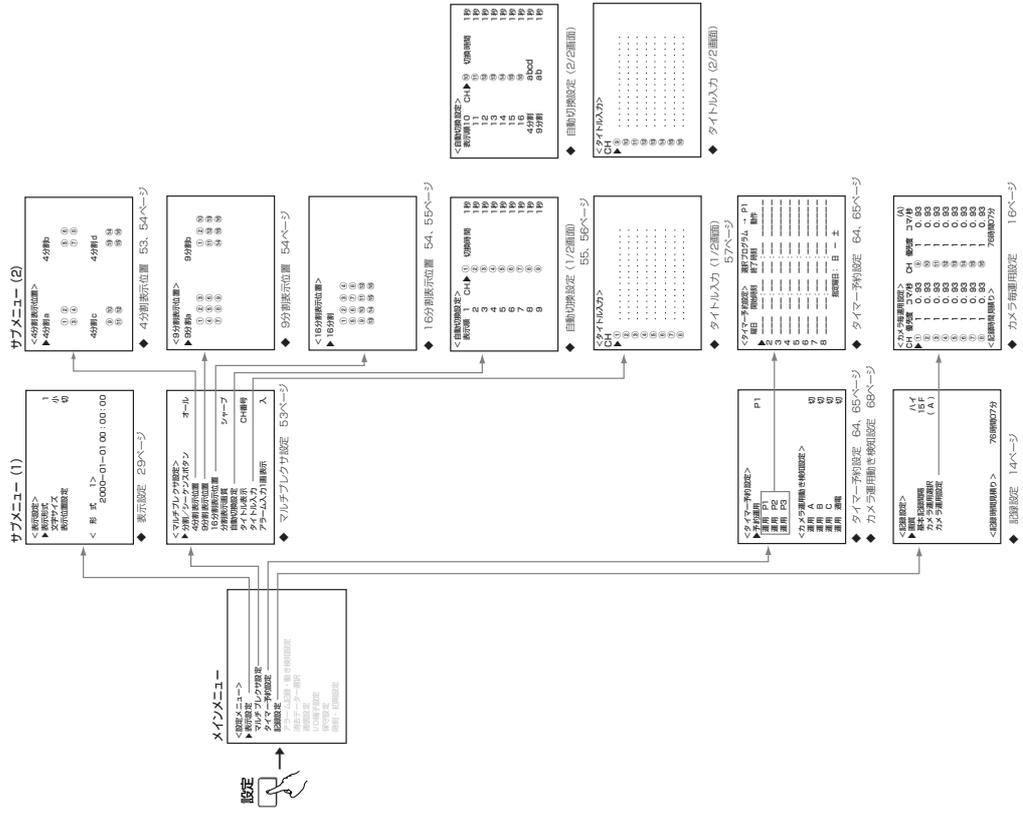
◆ 外部接続機器の確認のしかた

- ◆ **情報表示ボタンを押す。**
・ <情報表示>画面が表示されます。
- ◆ **ジョグを回してカーソルを「SCSI 機器 ID」に移動させ、シャトルを右に回す**
(※1)。
・ <SCSI 機器 ID>画面が表示される。
シャトルを左に回す、または情報表示ボタンを押す。
- ◆ **本機の起動遅延時間の設定のしかた**
本機は電源を入れたときに接続されているデバイスを検知するため、本機の電源を入れる前に外部記録機器が起動している必要があります。起動時間が遅い機器の場合は、あらかじめ本機の外部記録機器を検知するタイムミングを遅らせることができます。
- ◆ **記録ボタンを押したまま、電源ボタンを押して電源を入れる。**
・ <デバイス検知>画面が表示されます。
・ <デバイス検知>画面が点滅します。
- ◆ **ジョグを回してカーソル(▲)を「立ち上げ遅延時間」まで移動させ、シャトルを右に回す。**
・ 設定項目が点滅します。
- ◆ **ジョグで希望する起動遅延時間を表示させ、シャトルを右に回して確定する(※2)。**
・ 点滅が止まります。
・ 最長99秒まで設定できます。
- ◆ **電源ボタンを押す。**
・ 本体の電源が切れます。
- ◆ **もう一度電源ボタンを押す。**
・ 設定された立ち上げ遅延時間が経過した後、本機が外部記録機器の検知を始めます(※3)。

メニュー画面一覧

◆ <設定メニュー>
設定メニューでは本機を使用いただく上で基本的な設定を行うことができます。設定の詳細については参照ページをご覧ください。

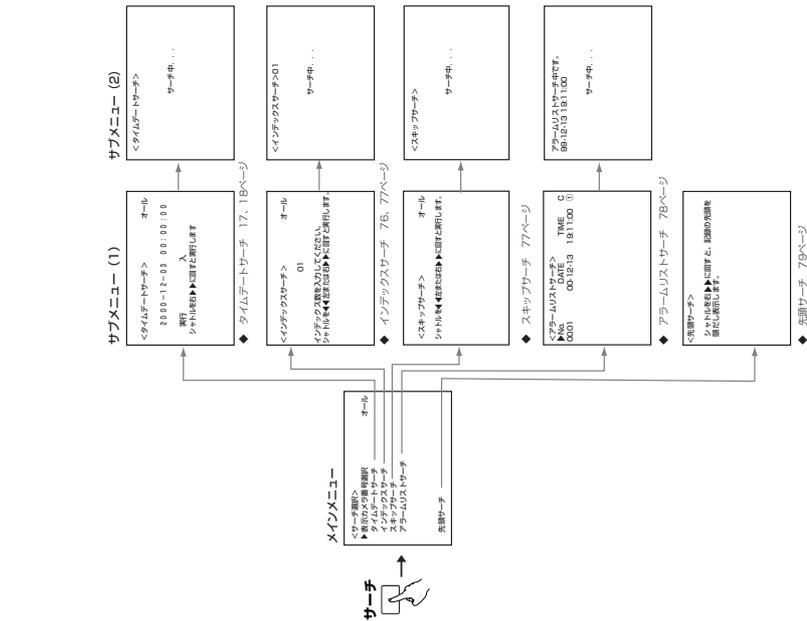
① 再生中、記録中、プリアラーム記録時機中、または外部記録機器へのアクセス中は、一部のメニュー内容の変更はできません。



IV

メニュー画面一覧 (つづき)

◆ <サーチ選択>メニュー

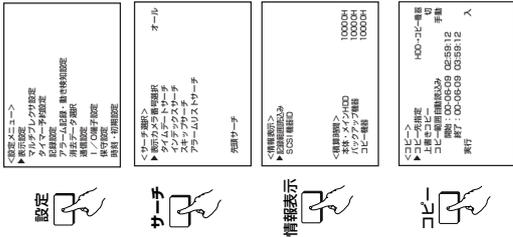


設定のしかた／いろいろな設定

◆ 画面の表示方法 (※1)

本機はメニュー画面一覧 (25～28 ページ) のように、設定画面が多くの階層に分かれています。このページでは、これらメニュー画面設定方法の共通項目として、希望画面の表示方法を説明します。

1 表示したい画面をメニュー画面一覧から探す。



2 設定したい画面が:

<設定メニュー>のカテゴリ内にある場合は本機前面部の「設定ボタン」を押し、<設定メニュー>を表示させる。

<サーチ選択>のカテゴリ内にある場合は本機前面部の「サーチボタン」を押し、<サーチ選択>画面を表示させる。

<情報表示>のカテゴリ内にある場合は本機前面部の「情報表示ボタン」を押し、<情報表示>画面を表示させる。

<コピー>メニューのカテゴリ内にある場合は本機前面部の「コピーボタン」を押し、<コピー>画面を表示させる。

以上の操作を行い、各設定画面のメニューを表示させる。

ジョグを回してカーソル (▶) を希望する設定項目まで移動させ、シャトルを右に回して設定を開始する。

・サブメニュー (1) 以降の設定は各設定項目のページをごらんください。

◆ <表示設定>時刻表示形式の種類と設定

表示形式	表示内容	サンプル
1	日付、現在時刻	2000/10/28 11:33:10
2	日付、曜日、現在時刻、基本記録間隔、カメラ番号表示	2000/10/28 土 11:33:10 15F 001
3	日付、曜日、現在時刻、基本記録間隔、カメラ番号表示、HDD使用量	2000/10/28 土 11:33:10 15F 98% 001
4	表示無し (アラーム時、日付、曜日、現在時刻を表示する)	
5	表示無し (ワーニング時、ワーニングメッセージを表示する)	
6	表示無し	

表示形式2から4は、1画表示の時、またはカメラプレックサ設定>メニューの「タイトル表示」が「無」に設定されている時のみ有効です (設定方法は56ページをごらんください)。

はじめに

基本操作編

設置編

運用編

コマンドコード

記録時間表

故障かな?

用語集

さくしん

IV

いろいろな設定 (つづき)

例) 表示形式を3に設定する場合 (初期設定は「1」)。

1 <設定メニュー>を押し、<表示設定>画面が表示されます。
 <設定メニュー>を表示させ、カーソルが「表示設定」にあることを確認し、シャトルを右に回す。
 ・<表示設定>画面が表示されます。

2 カーソルが「表示形式」にあることを確認し、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅します。

3 ジョグで「3」を表示させ、シャトルを右に回して設定を確定する。

4 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

・文字サイズの設定
 文字サイズの設定方法は「基本操作編」12ページをごらんください。
 ・表示位置設定 (※1)
 上記ステップ1を行い、<表示設定>画面を表示させる。

1 ジョグを回してカーソルを「表示位置設定」に移動させ、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅します。

2 ジョグを回して「A」を点滅させ、シャトルを右に回す。
 ・表示位置設定画面に入ります。

3 ジョグを右に回して希望する位置まで特別表示を移動する。

・ジョグを右に回すと右方向へ移動し、画面の右端までいくと一段下へ、左に回すと左方向へ表示が移動し、画面の左端まで行くとも一段上へ時刻表示が移動します。

4 希望する位置まで移動したら、シャトルを右に回して位置を確定する。

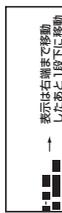
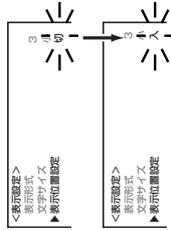
◆ マルチプレクサ設定
 設定の詳細は「マルチプレクサ機能」50～58ページをごらんください。

◆ タイマー予約設定
 設定の詳細は「タイマー予約のしかた」64～68ページをごらんください。

◆ 記録設定
 設定の詳細は「いろいろな記録」70～73ページをごらんください。

◆ アラーム記録・動き検知設定
 設定の詳細は「いろいろな記録設定」43～49ページをごらんください。

※1
 ① 表示位置の設定は下記
 の条件で変更が可能です。
 <マルチプレクサ設定>メニューの「タイトル表示」設定が下記項目のとき
 「無」: 1画、4画、9画、16画
 画面で変更が可能です。
 「CH番号」: 1画でのみ変更が可能です。
 但し「タイトル」のときは、すべての画面で表示位置の設定変更はできません。



◆

<消去データ選択>
 本機は消去したいデータをメニュー上で選択し、消去を実行することができます。
 例) メインHDDのデータの消去を実行する。

1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「消去データ選択」まで移動させる。

2 シャトルを右に回して消去データ選択画面を表示させる (※1)。

3 ジョグを回してカーソルを「メインHDD消去」まで移動させ、シャトルを右に回してジョグで「A」を点滅させる。
 ・「シャトルを右」に回すと実行しますと表示されます。

4 データの消去を実行するときはシャトルを右に回す (※3)。

・データの消去を実行しないときは、ステップ3で「切」を点滅させ、シャトルを右に回してください。

5 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。



◆ <I/O端子設定>

・MODE OUT 設定
 MODE OUT設定では本機の状態を後面端子から出力することができます。
 例) MODE OUT 設定を「再生中」に設定する (初期設定は「記録中」)。

1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「I/O端子設定」まで移動させる。

2 シャトルを右に回して<I/O端子設定>画面を表示させる。

3 カーソルが「MODE OUT 設定」にあることを確認し、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅します。

4 ジョグを回して「再生中」(※4) を点滅させ、シャトルを右に回して確定する。
 ・点滅が止まります。

5 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。



※1
 ① こんは設定もできます

・消去データ選択項目
 「コピーメディア消去」/
 「バックアップメディア消去」:
 コピー機器/バックアップ機器のメディアのデータを消去します。

「メインHDD消去」:
 ハードディスク上に記録されたデータを消去します。

※2
 ② バックアップ機器およびコピー機器が接続されていないときは「バックアップメディア消去」および「コピーメディア消去」は表示されません。

※3
 ③ データ消去実行中は「A」が点灯し、消去メニューからぬけることはできません。

※4

④ こんは設定もできます

・MODE OUT 設定項目
 ジョグを右に回すと下記のように切り替わりします。
 「記録中」->「再生中」->「録中」->「録中」

「記録中」:
 記録中に信号を出力します。

「再生中」:
 再生中に信号を出力します。

「録中」:
 本機に電源が入っているときに信号を出力します。

「残量少」:
 HDDまたはバックアップ機器記録容量が残りモード警告設定で指定された値に達すると、信号を出力します。

いろいろな設定 (つづき)

・残量モード警告設定
MODE OUT 設定で「残量少」を選択した場合、記録中にハードディスク (HDD) またはバックアップ機器の記録容量が少なくなったことを知らせる警告 (※1) を発します。そのときのデバイスの選択と、残量値を設定します。

例) 残量モード警告設定を「HDD-50%」に設定する (初期設定値は「HDD-10%」)。

- 1 <設定メニュー> を表示させ、**ジョグでカーソルを「I/O 端子設定」まで移動させる。**
シャトルを右に回して「<I/O 端子設定>」画面を表示させる。
- 2 **ジョグを回してカーソルを「残量モード警告設定」まで移動させ、シャトルを右に回して確認する。**
・最初にデバイス選択部分が点滅します。希望するデバイスをジョグとシャトルで設定してください。次に残量部分が点滅しますので、同時に設定してください。
- 3 **ジョグとシャトルで「HDD-50%」(※2) を表示させ、最後にシャトルを右に回して確認する。**
シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。
- 4 設定メニューを「10%」(※4) に設定する (初期設定は「フル」)。
- 5 上記ステップ1と2を行い、<I/O 端子設定>画面を表示させる。
- 6 **ジョグを回してカーソルを「CALL OUT 設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。**
・CALL OUT 設定画面を表示させる。
- 7 **カーソルが「メインHDD」にあることを確認し、シャトルを右に回す。**
・設定項目が点滅します。
- 8 **ジョグを回して「10%」を点滅させ、シャトルを右に回して確認する。**

※1
記録中に記録容量が少なくなったら・・・
・日付・時刻表示をモード3に設定しているときは、記録済み容量表示が点滅します。
・I/O 端子設定画面の「プザー設定」を「残量」に設定しているときは、プザーが鳴ります。

※2
こんな設定もできます

・残量モード警告設定項目
ジョグを右に回すと下記のようになり切りかわります。
↑「HDD」→「I/O」

※3
こんな設定もできます

・残量モード警告設定に関する警告は出力はされません。
↑「フル」→「残量」

※4
こんな設定もできます

・デバイスの残量設定項目
「フル」、「2%」、「4%」、「6%」、「8%」、「10%」、「15%」、「20%」、「30%」、「40%」、「50%」、「無」
「無」: 記録残量が0%になってもCALL OUT 信号を出力しない設定です。

5 **ジョグを回してカーソルを「バックアップメディア」まで移動させ、シャトルを右に回す。**
・設定項目が点滅します。

6 **ジョグを回して「20%」(※1) を点滅させ、シャトルを右に回して確認する。**
・点滅が止まります。

7 **シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。**

・プザー設定
HDD の記録残量が「残量モード警告設定」で設定した値になると、警告音を発するように設定することができます。このほか、設定した記録残量に達した時およびその他のエラー発生時にもプザーを鳴らす方法との選択が可能です。

・設定された記録残量およびその他のエラーを鳴らすには・・・

- 1 <I/O 端子設定>メニューの「プザー設定」で「残量」を選択する。
- 2 <I/O 端子設定>メニューの「残量モード警告設定」で対象デバイスの設定をする。

例) プザー設定を「残量」に設定する (初期設定は「ボタン」)。

<設定メニュー> を表示させ、**ジョグを回してカーソルを「I/O 端子設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。**
・<I/O 端子設定>画面が表示されます。

1 **ジョグを回してカーソルを「プザー設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。**
・設定項目が点滅します。

2 **ジョグを回して「残量」(※2) を点滅させ、シャトルを右に回す。**
・点滅が止まります。

3 **シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。**

・設定項目が点滅します。

4 **ジョグを回して「10%」を点滅させ、シャトルを右に回して確認する。**

※1
「CALL OUT 設定」画面を表示させ、シャトルを右に回して確認する。

※2
こんな設定もできます

・設定項目が点滅します。

・設定された記録残量およびその他のエラーを鳴らすには・・・

- 1 <I/O 端子設定>メニューの「プザー設定」で「残量」を選択する。
- 2 <I/O 端子設定>メニューの「残量モード警告設定」で対象デバイスの設定をする。

例) プザー設定を「残量」に設定する (初期設定は「ボタン」)。

<設定メニュー> を表示させ、**ジョグを回してカーソルを「I/O 端子設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。**
・<I/O 端子設定>画面が表示されます。

1 **ジョグを回してカーソルを「プザー設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。**
・設定項目が点滅します。

2 **ジョグを回して「残量」(※2) を点滅させ、シャトルを右に回す。**
・点滅が止まります。

3 **シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。**

・設定項目が点滅します。

4 **ジョグを回して「10%」を点滅させ、シャトルを右に回して確認する。**

はじめに

基本操作編

設置編

運用編

コマンドコード

記録時動作

故障かな?

用語集

さくいん

IV

いろいろな設定 (つづき)

◆ ユーザーボタン設定

ユーザーボタンAとBには次の機能の割り付けが可能です。このユーザーボタンを使用することによって一部の操作がワンタッチで可能になります。5種類のバターンの中から選択してください。

バターン	ユーザーボタンA	ユーザーボタンB	設定内容
(※1)	コピー開始点	コピー終了点	コピーを開始したい画面をAボタンで設定する。Bボタンでコピー終了点を設定する。
(※2)	動き検知機能禁止	リアアラーム記録禁止	Aボタンで動き検知の受け付けを「入」/「切」する。Bボタンでリアアラーム記録を「入」/「切」する。
(※3)	動き検知機能禁止	OSDクリア	Aボタンで動き検知の受け付けを「入」/「切」する。BボタンでOSDの画面表示を「入」/「切」する。
4	無し	OSDクリア	Aボタンはユーザーボタンの割り付け無し。BボタンでOSDの画面表示を「入」/「切」する。
5	無し	無し	ユーザーボタンの割り付け無し。

例) ユーザーボタンをバターン3に設定する(初期設定は「1」)。

1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「I/O端子設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・<I/O端子設定>画面が表示されます。

<I/O端子設定>
 >MODE OUT設定
 >動き検知機能禁止
 >OSDクリア
 >ユーザーボタン設定

2 ジョグを回してカーソルを「ユーザーボタン設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・<ユーザーボタン設定>画面が表示されます。

<ユーザーボタン設定>
 >レクタバターン

3 カーソルが「セレクトバターン」にあることを確認し、シャトルを右に回す。
・設定項目が点滅します。

<ユーザーボタン設定>
 >レクタバターン

4 ジョグを回して「3」を表示させ、シャトルを右に回して設定を確定する。
シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。
・<ユーザーボタン設定>画面が消えます。

<ユーザーボタン設定>
 >レクタバターン

※1

記録を再生中にAボタンを押し、コピー開始点を設定します。同じく終了点はBボタンで設定します。設定が終わると、画面は下記のようになります。

2000-10-28 土	28%	CO1
16:33:21 15F		
-A200005-08 16:33:21		
B200005-08 16:40:21		

終了点Bの時刻は開始点Aの時刻よりあとに設定してください(コピー実行時にコピーサイズエラーが表示されません)。コピーの実行については、19ページをご覧ください。

※2

動き検知機能が動作中にAボタンを押すことにより動き検出を一時的に受け付けなくすることが可能です。

Bボタンでは、リアアラーム記録の設定を「切」以外に設定した場合、リアアラーム記録の入/切ができます。

※3

OSDとは時刻表示等の画面の文字のことを指します。このバターン3では、Bボタンを押すことにより時刻・力メラ番号表示のみ、一時的に消すことが可能です。再びBボタン、または他の任意のボタンを押すことで表示を元に戻すことができます。

◆ <保守設定>

<保守設定>メニューでは、停電時の停電ログリストやすべてのメニューの初期化を行うことができます。

・停電ログリスト
停電すると、停電開始時刻が記録されるので停電開始時刻(※1)を確認することができます。

例) 停電ログリストを表示させる。

1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「保守設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・<保守設定>画面が表示されます。

<保守設定>
 >停電ログリスト
 >バックアップ開始位置リセット
 >メニュー初期化

2 カーソルが「停電ログリスト」にあることを確認し、シャトルを右に回す。
・停電した回数、発生日、時刻などの情報が表示されます(※2)。

<停電ログリスト>
 >停電日時 24 20:00 PW-L05
 >02 00-01-23 12:00 PW-L05
 >01

3 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<停電ログリスト>
 >バックアップ開始位置リセット
 >メニュー初期化

◆ バックアップ開始位置リセット

本機はバックアップが何らかの理由で停止したとき、次回バックアップ時に前回のバックアップ終了点から作業が進められるようバックアップポイント(画面)を記録させることができます。このバックアップポイントの位置をリセットしたいときは下記の操作を行ってください。

1 上記ステップ1を行い、<保守設定>画面を表示させる。

<保守設定>
 >停電ログリスト
 >バックアップ開始位置リセット
 >メニュー初期化

2 ジョグを回してカーソルを「バックアップ開始位置リセット」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・設定項目が点滅します。

<保守設定>
 >停電ログリスト
 >バックアップ開始位置リセット
 >メニュー初期化

3 ジョグを回して「A」を点滅させる。「シャトルを右」に回すと実行します。バックアップ開始位置がリセットされます。実行しない場合はジョグを回して設定項目を「切」にしてください。

<保守設定>
 >停電ログリスト
 >バックアップ開始位置リセット
 >メニュー初期化

4 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<保守設定>
 >停電ログリスト
 >バックアップ開始位置リセット
 >メニュー初期化

※1 停電開始時刻は50回まで表示できます。それ以上の場合は最後の50回の停電開始時刻が表示されます。

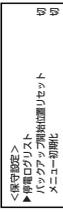
※2 停電開始時刻をリセットするには、停電開始時刻が表示されているときに警告消去ボタンを押してください。

IV いろいろなお設定 (つづき)

・メニュー初期化
 ・<保守設定>メニューの「メニュー初期化」設定を「入」にすると画面上的設定が初期化されます。
 例) メニュー初期化設定を「入」にする (初期設定は「切」)。

1

<設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「保守設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・<保守設定>画面が表示されます。



2

ジョグを回してカーソルを「メニュー初期化」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅します。



3

ジョグを回して「入」を点滅させる。「警告消去ボタン」を押すとメニュー初期化が実行されます」と表示されたら、警告消去ボタンを押す。
 ・初期化を裏行したくない場合は、設定を「切」に戻してシャトルを右に回す。



4

画面が16画面表示になり、すべてのメニューが初期化される。
 ・時刻表示、タイマー予約設定内容、カメラプレビュー設定、メニューの「タイトル入」上のカメラタイトル内容は初期化されません (57ページ参照)。
 ・<設定メニュー>の<タイマー予約設定>上の予約運用はP1に戻ります (64～65ページ参照)。

7000110	0	1	2	3	4
0	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21

◆ <時刻・初期設定> ————
 ・<時刻・初期設定>メニューでは時刻の設定およびHDDの記録容量がなくなつたときの動作、再生時の動作設定などを行うことができます。

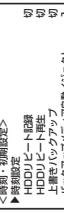
・時刻設定
 基本操作編、「日付、時刻の合わせかた」13ページをごらんください。

・HDDリブート記録
 記録中にハードディスク (HDD) の記録容量がなくなつたときの動作を設定します。

例) HDD リブート記録の設定を「記録待機」(※1) に設定する (初期設定値は「切」)。

1

<設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「時刻・初期設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・<時刻・初期設定>画面が表示されます。



2

ジョグを回してカーソルを「HDDリブート記録」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅します。



※1
 ◆ こんな設定もできます
 「リブート」：自動的にハードディスクの最初まで戻り、再び記録を始めます。

「切」：記録が停止し、モニターに「HDDフル」と表示されます。再び記録をるときは警告消去ボタンを押してHDDフルを解除してから、記録ボタンを押す。

「アラーム保護」：アラーム保護設定後にアラーム記録があつた場合は「切」設定と同じ動作をします。アラーム記録がなかった場合はディスクの最初まで戻り、再び記録を始めます。

「記録待機」：記録中にHDDの容量がなくなると、記録が停止し記録待機状態になります。その後REC端子が接地されるか、または記録ボタンを押すと再び記録を始めます。詳細は、72ページの「シリーズ記録」をごらんください。

3

ジョグを回して「記録待機」を点滅させ、シャトルを右に回して設定を確定する。
 ・点滅が止まります。

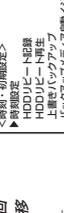
4

シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

・HDDリブート再生
 ・ハードディスク (HDD) に記録されている内容を繰り返して再生する機能です。
 例) HDDリブート再生の設定を「リブート」(※1) にする (初期設定は「切」)。

1

<設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「時刻・初期設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・<時刻・初期設定>画面が表示されます。



2

ジョグを回してカーソルを「HDDリブート再生」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅します。



3

ジョグを回して「リブート」を点滅させ、シャトルを右に回して設定を確定する。
 ・点滅が止まります。



4

シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

・上書きバックアップ設定
 ・上書きバックアップボタンを押して記録内容をメディアにバックアップさせる際、テープを上書きするかどうかを設定することができます。この機能は、ID4にバックアップ機器が接続されているときのみに設定項目がメニューに表示されます。また、タイマー記録時には機能しませんのでご注意ください。タイマー予約で上書きバックアップを設定する場合は、59ページ「※4 こんな設定もできます」をごらんください。

例) 上書きバックアップの設定を「入」(※2) にする (初期設定は「切」)。

1

<設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「時刻・初期設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・<時刻・初期設定>画面が表示されます。



2

ジョグを回してカーソルを「上書きバックアップ」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅します。



3

ジョグを回して「入」を点滅させ、シャトルを右に回して設定を確定する (※3)。
 ・点滅が止まります。



4

シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

※1
 ◆ こんな設定もできます
 ・HDDリブート再生設定項目「切」：HDDの終わりまで再生し、停止します。

※2
 ① 上書きバックアップ設定を「入」にしているとバックアップメディアのデータがバックアップ開始前にご確認ください。

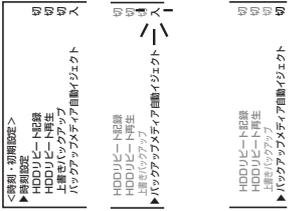
※3
 ◆ バックアップが一時的に断、または終了した場合、バックアップボタンを押すと、次のバックアップは前回のバックアップの終了点から開始することができます。

IV

いろいろなる設定 (つづき)

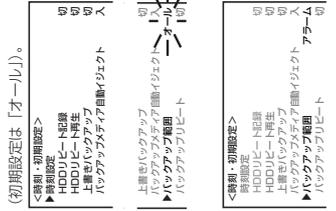
・バックアップメディア自動イジェクト
 バックアップ機器のメディアをイジェクトするための設定です。この設定を「入」にしておくと、バックアップ終了後、自動的にメディアをイジェクトします。この設定は、タイマー記録時には機能しませんのでご注意ください。タイマー予約でバックアップ後にメディアをイジェクトさせられる場合は、59ページ「※4.こんな設定もできます」をごらんください。
 例) バックアップメディア自動イジェクトの設定を「切」にする。(初期設定は「入」)。

- 1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「時刻・初期設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅します。
 ・<時刻・初期設定>画面が表示されます。
- 2 ジョグを回してカーソルを「バックアップメディア自動イジェクト」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅します。
- 3 ジョグを回して「切」を点滅させ、シャトルを右に回して設定を確定する。
 ・点滅が止まります。
- 4 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。



・バックアップ範囲
 バックアップメディアに記録内容をどこまでバックアップするか範囲を設定することができます。

- 例) バックアップ範囲の設定を「アラーム」(※1)にする。(初期設定は「オール」)。
- 1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「時刻・初期設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・<時刻・初期設定>画面が表示されます。
 - 2 ジョグを回してカーソルを「バックアップ範囲」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅します。
 - 3 ジョグを回して「アラーム」を点滅させ、シャトルを右に回して設定を確定する。
 ・点滅が止まります。
 - 4 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

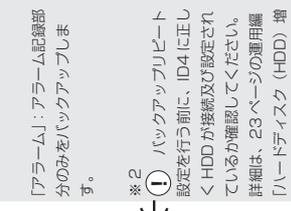


・バックアップリプレイ
 ID4に接続したHDD(※2)に繰り返しバックアップさせるための設定です。この機能は、ID4にHDDを接続したときのみ設定項目がメニューに表示されます。
 バックアップ中に停電が発生した際、バックアップ動作は自動復帰しません。バックアップを再開する場合は、バックアップボタンを押してください。(タイマー予約時は停電復帰後、自動的にバックアップを再開します。)この時、停電発生時までバックアップしていたデータは全て失われ、バックアップポイントも停電発生前のバックアップ開始地点で戻ります。ご注意ください。

※1
 こんな設定もできます
 ・バックアップ範囲の設定項目「オール」：全てをバックアップします。

「アラーム」：アラーム記録部分のみをバックアップします。
 ※2
 ① バックアップリプレイ設定を行う前に、ID4に正しくHDDが接続及び設定されているか確認してください。詳細は、23ページの運用編「ハードディスク(HDD)増設時およびID番号を変更したとき」をごらんください。

参考
 バックアップメモリーが解除された場合にもメディアをイジェクトすることができません。詳細は、83ページの「バックアップ完了時のメディア自動イジェクトについて」をごらんください。



例)

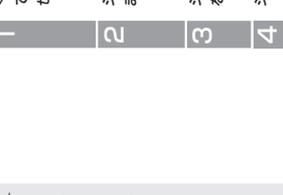
バックアップリプレイの設定を「入」にする。(初期設定は「切」)。

- 1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「時刻・初期設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・<時刻・初期設定>画面が表示されます。
 ・ジョグを回してカーソルを「バックアップリプレイ」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅します。
- 2 ジョグを回して「入」を点滅させ、シャトルを右に回して設定を確定する。
 ・点滅が止まります。
- 3 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。



・動き検知機能
 動き検知機能を使う場合は、先ず始めにこの設定を「入」にしてください。設定が「切」のままでは、<アラーム記録・動き検知設定>画面の<動き検知設定>メニューの設定項目を表示することはできません。
 例) 動き検知機能を「入」に設定する。(初期設定は「切」)。

- 1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「時刻・初期設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・<時刻・初期設定>画面が表示されます。
- 2 ジョグを回してカーソルを「動き検知機能」まで移動させ、シャトルを右に回す。
 ・設定項目が点滅します。
- 3 ジョグを回して「入」を点滅させ、シャトルを右に回して設定を確定する。
 ・点滅が止まります。
- 4 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。



<動き検知機能に関する注意事項>
 ・動き検知機能を動作させないときは、「切」に設定してください。
 ・<時刻・初期設定>メニューの「動き検知機能」設定を「入」に設定した場合、<アラーム記録・動き検知設定>メニューの「アラーム記録時間」設定の「接点」を選択することができません。既に「接点」に設定されている場合は、自動的に「2秒」へ変更されます。この場合、<動き検知機能>設定を「切」にしても「2秒」のまま元には戻りません。
 ・<時刻・初期設定>メニューの「動き検知機能」設定(※1)を「入」にすると、<記録設定> <アラーム記録・動き検知設定>メニューの「基本記録間隔」及び<タイム予約設定>メニューの「動作」の設定は下記へ自動的に変更され、「動き検知機能」設定を「切」にしても元には戻りません。
 動き検知機能
 例) : [30F] → [15F] → [10F] → [7.5F] → [5F] → [3F] → [1F] → [30F] → ...
 (30) (15) (10) (7.5) (6) (5) (3) (1) (30)
 [入] : [15F] → [7.5F] → [5F] → [3F] → [1F] → ...
 (15) (7.5) (5) (3) (1)

IV

いろいろな設定 (つづき)

・音声記録機能
本機は映像と共に音声記録を記録することができます。ここでは音声記録設定の入切切の方法について説明します。

例) 音声記録を「入」に設定する (初期設定は「切」)。

1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「時刻・初期設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・時刻・初期設定>画面が表示されます。

2 ジョグを回してカーソルを「音声記録機能」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・設定項目が点滅します。

3 ジョグを回して「入」を点滅させ、シャトルを右に回して設定を確定する。
・点滅が止まります。
・記録設定画面の「音声記録機能」を確認してください。音声記録設定が「入」の際は、<記録時間見取り>の横にスピーカーマークが表示されます。

4 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<音声記録機能に関する注意事項>

・<時刻・初期設定>メニューの「音声記録機能」設定を「入」に設定した場合、<記録設定>メニューの「画面」「基本記録範囲」の設定値を変更しても<記録時間見取り>ならびに実記録時間が変わらない組み合わせがあります。(「記録時間表」、104ページを参照)

◆ <情報表示>

本機は記録範囲の読み出しやSCSI機器IDなどの情報をメニュー上で確認することができます。

・記録範囲読み込み

メインHDD、バックアップ機器およびコピー機器に記録されている範囲を読み込むことができます。

1 <情報表示>画面が表示されます。
・<情報表示>画面が表示されます。

2 カーソルが「記録範囲読み込み」にあることを確認し、シャトルを右に回す。

3 「シャトルを右」に回すと読み込みを実行します」という表示が出たらシャトルを右に回して記録範囲読み込みを実行する。
・読み込み結果が表示されます。

4 シャトルを左に回す、または情報表示ボタンを押す。

・SCSI機器ID

接続されている、SCSI機器IDの確認をすることができます。

1 <情報表示>画面が表示されます。
・情報表示メニューが表示されます。

2 ジョグを回してカーソルを「SCSI機器ID」に移動し、シャトルを右に回す。
・<SCSI機器ID>画面が表示されます。

3 シャトルを左に回す、または情報表示ボタンを押す。

◆ <積算時間>

メインHDD (※1)、バックアップ機器 (※2) およびコピー機器 (※3) の使用経過時間を表示します。

1 <情報表示ボタンを押す>画面下部に<積算時間>が表示されます。
・画面下部に<積算時間>が表示されます。

2 <積算時間の確認をしたらシャトルを左に回す。>
・情報表示ボタンを押すと画面が消えます。
・外部記録機器の積算時間は、取り外されてもリセットされません。
・バックアップボタンが押された状態 (バックアップボタンが点灯中) では、HDDから転送するデータが無いとき (アラーム待機状態など) でも、データ転送の有無に関わらず、時間は加算されます。
・記録機器によっては、規定されている磨耗部品保守期間や保障寿命時間の定義とは一致しない場合があります。

はじめに

基本操作編
設定編
運用編
コマンドコード
記録時間表
故障かな?
用語集
さくしん

※1 <情報表示>画面下部に「メインHDDの積算時間」は、本機の電源ボタンが入っている間の時間の積算となります。

※2 <情報表示>画面下部に「外部記録機器の積算時間の条件は下記の通りです。」

- 1) バックアップボタン点灯中および点滅中の時間の積算
- 2) バックアップ機器を再生デバイスボタン (「基本的な再生のしかた」17ページ参照) で指定時の、再生・逆再生ボタン点滅および点灯中の時間の積算
- 3) バックアップ機器からHDDへ記録内容リストアップのインジケータ点灯中および点滅中の時間の積算

※3 <情報表示>画面下部に「外部記録機器の積算時間の条件は下記の通りです。」

- 1) コピー機器を再生デバイスボタン (「基本的な再生のしかた」17ページ参照) で指定時の、再生・逆再生ボタン点滅および点灯中の時間の積算
- 2) HDDからコピー機器へのコピー中のインジケータ点灯中および点滅中の時間の積算
- 3) コピー機器からHDDへ記録内容リストアップ中のインジケータ点灯中および点滅中の時間の積算

※参考 表示可能な最大積算時間は999999時間です。

IV

いろいろな記録設定

◆ 記録に関する設定

本機は記録に関する様々な設定を行うことができます。通常の記録時と、タイム予約時の記録画面、記録間隔、記録時間、記録カメラチャネルの設定は、記録の種類により、設定する画面が異なります。下図を参考に各設定を行ってください。また、接続されていないCH(チャネル)を記録専用カメラに指定し記録を実行した場合、「映像信号無し」のワーニング表示がでます。詳細は「ワーニング表示とCALL OUT出力」108ページをごらんください。

設定の種類	記録の種類	手動	タイマー	参照
記録画面質	通常記録	14ページ	14ページ	アラーム記録参照
	記録設定>メニューの「画面」設定	14ページ	14ページ	アラーム記録参照
記録間隔	通常記録	15ページ	64ページ	アラーム記録参照
	記録設定>メニューの「基本記録間隔」設定	15ページ	64ページ	アラーム記録参照
記録時間	通常記録	-	64ページ	アラーム記録参照
	記録設定>メニューの「カメラ運用選択」設定で指定されたカメラ運用パターン	15ページ	64ページ	アラーム記録参照

◆ <記録設定>

- ・画面設定
設定の詳細は基本操作編「画面を設定する」(14ページ)をごらんください。
- ・基本記録間隔
設定の詳細は基本操作編「基本記録間隔を設定する」(15ページ)をごらんください。
- ・記録時間予約
設定の詳細は基本操作編「基本記録間隔を設定する」のステップ4(15ページ)をごらんください。
- ・カメラ運用選択
設定の詳細は基本操作編「カメラ運用選択を設定する」(15ページ)をごらんください。
- ・カメラ運用設定
設定の詳細は基本操作編「カメラ運用設定を設定する」(16ページ)をごらんください。

はじめに

基本操作編

※1
① 通常記録時の記録画面の設定は「記録設定」>「メニューの「画面」設定」で行ってください。詳細は「画面を設定する」14ページをごらんください。

設置編

※2
② ここの設定もできます

・アラーム記録画面の設定項目ジョグを右に回すと下記のようになり切り替わります。
「[W]」<「[R]」>「[O]」<「[F]」>

運用編

コマンドコード

※3
③ ここの設定もできます

・基本記録間隔の設定項目
「[30 F]」「[15 F]」「[10 F]」「[7.5 F]」「[6 F]」「[5 F]」「[3 F]」「[1 F]」

記録時間表

※4
④ ここの設定もできます

・優先度設定項目
ジョグを回すと下記のようになり切り替わります。
「[1]」<「[2]」>「[3]」<「[4]」>

故障かな?

※5
⑤ ここの設定もできます

・アラーム記録、動き検知設定
「ハイ」<「ロー」>
「オン」<「オフ」>
「15F」<「15P」>

用語集

※6
⑥ ここの設定もできます

・アラーム記録カメラ設定
「アラームOH」の場合、優先度設定は、「1」または、「1」のどちらからしか選べません。その時、コマ/秒は表示されません。

さくいん

※7
⑦ ここの設定もできます

・アラーム記録の動作に関する詳細は、「アラーム記録の動作」68ページをごらんください。

◆ <アラーム記録、動き検知設定>

・画面・基本記録間隔・カメラ運用設定・アラーム記録時間の設定
動きの変化を検出または、アラームセンサーによってALARM IN端子が接地されると、あらかじめ設定しておいた記録間隔に切り換わり、通常の記録間隔と別の記録間隔で記録を実行することができます。また、ALARM IN端子が接地された後、その記録を実行する時間の設定および記録画面の設定もできます。

例) アラーム記録の画面を「ベシック」に設定する(初期設定は「ハイ」)。

基本記録間隔を「7.5 F」に設定する(初期設定は「15 F」)。
カメラ運用設定のCH①の優先度を「5」に、CH⑥の優先度を無効「-」に設定する(優先度の初期設定は全て「1」)。
アラーム記録時間を「5分」に設定する(初期設定は「15秒」)。

運用設定時、記録したいカメラの優先度は「-」以外に設定してください。「-」に設定された場合は記録されません。ご注意ください。
優先度を設定する場合は、まずアラーム記録カメラ設定(44ページ参照)を「運用設定OH」にしてください。優先度「2」～「5」が選択可能となります。

1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回し、カーソルを「アラーム記録、動き検知設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。

2 カーソルが「画面」(※1)にあることを確認し、シャトルを右に回す。

3 ジョグを回して「ベシック」(※2)を点滅させ、シャトルを右に回して確定する。

4 ジョグを回してカーソルを「基本記録間隔」まで移動させ、シャトルを右に回す。

5 ジョグを回して「7.5 F」(※3)を点滅させ、シャトルを右に回して確定する。

6 ジョグを回してカーソルを「カメラ運用設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。

7 カーソルがカメラCH①にあることを確認し、シャトルを右に回す。

8 ジョグを回して優先度設定「5」(※4)を点滅させ、シャトルを右に回して設定を確定する。

IV

いろいろな記録設定 (つづき)

9 ステップA、Bを繰り返しかメラCH⑤の優先度を「-」に設定しシャトルを右に回して確定する。

・点滅が止まります。

10 シャトルを左に回す。

・<アラーム記録・動き検知設定>画面が表示されます。

11 ジョグを回してカーソルを「アラーム記録時間」まで移動させ、シャトルを右に回す。

・設定項目が点滅します。

12 ジョグを回して「15分」(※1)を点滅させ、シャトルを右に回して確定する。

・点滅が止まります。

13 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

・アラーム記録カメラ

アラーム信号 (ALARM IN端子が接地または、動きの変化を検出) が入力されたとき、アラーム記録を行うカメラを設定します。この設定は、アラーム記録中のみ有効でアラーム記録終了後は、アラーム記録開始前の運用に長ります。

例) アラーム記録入力を「運用設定CH」にする (初期設定は「アラームCH」)。

アラーム記録カメラ毎運用設定			
CH	優先度	コマ/秒	コマ/秒
①	5	0.10	0.50
②	1	0.50	1.00
③	1	0.50	1.00
④	1	0.50	1.00
⑤	1	0.50	1.00
⑥	1	0.50	1.00

アラーム記録・動き検知設定	
優先度	ハイ
カメラ運用設定	15秒
アラーム記録カメラ	15秒
アラーム記録設定	15分
アラーム記録時間	15分

アラーム記録・動き検知設定	
優先度	ハイ
カメラ運用設定	15秒
アラーム記録カメラ	15秒
アラーム記録設定	10分
アラーム記録時間	5分

アラーム記録・動き検知設定	
優先度	ハイ
カメラ運用設定	15秒
アラーム記録カメラ	15秒
アラーム記録設定	7秒
アラーム記録時間	7分

アラーム記録・動き検知設定	
優先度	ハイ
カメラ運用設定	15秒
アラーム記録カメラ	15秒
アラーム記録設定	7分
アラーム記録時間	7分

アラーム記録・動き検知設定	
優先度	ハイ
カメラ運用設定	15秒
アラーム記録カメラ	15秒
アラーム記録設定	7分
アラーム記録時間	7分

※1 こんな設定もできます

・アラーム記録時間設定項目「2秒」、「5秒」、「10秒」、「15秒」、「30秒」、「45秒」、「1分」、「2分」、「5分」、「10分」、「接点」

「接点」: ALARM IN端子の接地が解除されるまでアラーム記録を続けます。

① <時刻・初期設定>メニューの「動き検知機能」設定を「-」に設定した場合、「アラーム記録時間」設定の「接点」は選択できません。ご注意ください。

※2 こんな設定もできます

ジョグを右に回すと下記のようになり切り換わります。

「運用設定CH」: カメラ運用時にアラーム信号が入力されたとき、カメラ運用設定で指定したすべてのカメラで、アラーム記録を始めます。

「アラームCH」: アラーム信号が入力されたカメラ番号のカメラのみ、アラーム記録を始めます。複数チャンネルにアラーム信号が入力されると、アラーム信号が入ったすべてのカメラでアラーム記録を行います。

① 設定についての注意

アラーム記録カメラ設定が「アラームCH」の場合、優先度設定は、「-」または、「-」のどちらかしか選べません。その時、コマ/秒は表示されません。

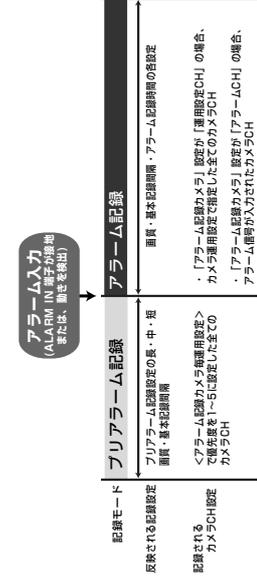
・プリアラーム記録設定 (※1)

アラーム記録時にALARM IN端子が接地または、動き検出される数秒前からの映像を記録させることができます。プリアラーム記録の動作については「プリアラーム記録」70ページをご覧ください。

例) プリアラーム記録設定を「長」に設定する (初期設定は「切」)。

- 43ページを参考に、画面、基本記録間隔、カメラ運用設定、アラーム記録時間を設定する。
- ジョグを回してカーソルを「プリアラーム記録設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・設定項目が点滅します。
- ジョグを回して「長」(※2)を点滅させ、シャトルを右に回してプリアラーム記録の待機状態にする。
・プリアラーム記録インジケータが点滅します。
- ALARM IN端子を接地または、動き検出する (※3)。
・アラーム記録を始めます。ALARM IN端子が接地されるまたは、動き検出される前からの映像が記録されます。

プリアラーム記録完了後のALARM IN信号入力後のアラーム記録時間の詳細は43、44ページ記載の画面、基本記録間隔およびアラーム記録時間で設定された値が反映されます。



注) ALARM IN番号でアラーム記録を行いときは、対象となるカメラCHを必ず「-」以外に設定してください。

はじめに

基本操作編
設置編
運用編
コマンドコード
記録時間表
故障かな?
用語集
さくいん

※1

プリアラーム記録の入切は、ユーザーボタンに設定することができ、詳細は34ページをごらんください。

※2

こんな設定もできます
・プリアラーム記録設定
ジョグを右に回すと下記のようになり切り換わります。



※3

ALARM IN端子が接地または、動き検出される前の映像が記録される時間は、アラーム記録の画質設定、基本記録間隔、およびプリアラーム記録設定によって決まります。詳細は105ページの「プリアラーム記録時間表」をごらんください。

参考

タイム運用でプリアラーム記録をほたらかせ
る設定については、「プリアラーム記録」70ページをごらんください。

① 「プリアラーム記録設定」メニューを「短」、「中」、「長」の何れかに設定すると

<記録設定>>メニュー及びプリアラーム記録・動き検知設定メニューは、それぞれ、設定変更を受け付けなくなりま

IV

いろいろな記録設定 (つづき)

◆ <動き検知設定>

この設定は、カメラから取り込んだ映像に対し、映像内での動きの変化をトリガーとしてアラーム記録を開始する動き検知機能を設定するためのものです。動き検知設定を行うためには、まず、<時刻・初期設定>メニューの「動き検知機能」設定を「入」にしてください(※1)。「切」のままでは、<動き検知設定>画面を表示することはできません。39ページの<時刻・初期設定>メニューの「動き検知機能」設定を参照してください。

・設定カメラ選択
ここでは、動き検知設定をするカメラを選択します。カメラ毎に設定が行なえるのでより細かい設定が可能となります。

例) 設定カメラ選択を⑤に設定する(初期設定は①)。



1 <設定メニュー>を基準させ、ジョグを回してカーソルを「アラーム記録・動き検知設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。

・<アラーム記録・動き検知設定>画面が表示されます。

2 ジョグを回してカーソルを「動き検知設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。

・<動き検知設定>画面が表示されます。

3 カーソルが「設定カメラ選択」にあることを確認し、シャトルを右に回す。

・設定項目が点滅します。

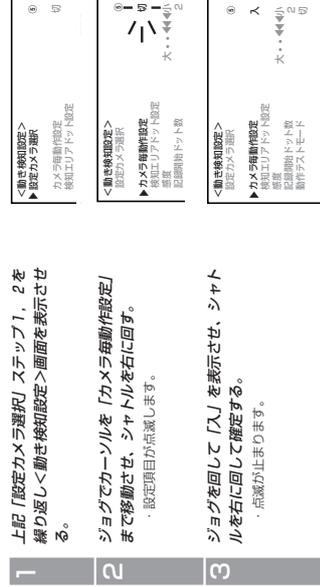
4 ジョグを回して「⑤」を点滅させ、シャトルを右に回して確定する(※2)。

・点滅が止まります。

・カメラ毎動作設定

ここでは、接続しているカメラ毎に個別に動き検知機能を有効にする、またはしないを選択し設定します。この設定を有効にして初めて動き検知機能を動作させることができます。

例) カメラ毎動作設定を「入」に設定する(初期設定は「切」)。



1 上記「設定カメラ選択」ステップ1, 2を繰り返し「動き検知設定」画面を表示させる。

2 ジョグでカーソルを「カメラ毎動作設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。

・設定項目が点滅します。

3 ジョグを回して「入」を表示させ、シャトルを右に回して確定する。

・点滅が止まります。

① 検知エリアドット設定
ここでは、動き検知機能の有効にするドットを設定します。接続しているカメラ毎に個別に、取り込んだ映像を12 X 10に均等分割しそれぞれをドット表示した120の検知エリアから任意に選択し、設定することができます。

例) 設定カメラ選択で設定したカメラCCHから取り込んだ映像に対し、画面右半分を検知エリアとして設定有効マーク「●」を表示させます。(画面左半分に対して設定無効マーク「・」を表示させます。)初期設定：全領域に於いて検知エリア設定が有効(「●」表示)。

「●」：設定有効マーク (動き検知機能が有効なエリア)
「・」：設定無効マーク (動き検知機能が無効なエリア)



1 46ページ、「設定カメラ選択」ステップ1, 2を繰り返し「動き検知設定」画面を表示させる。



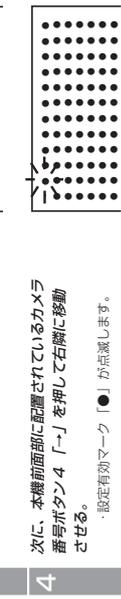
2 ジョグを回してカーソルを「検知エリアドット設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。

・<検知エリアドット設定>画面が表示されます。



3 画面、左上の設定有効マーク「●」が点滅しているのを確認し、ジョグを回して、設定無効マーク「・」を表示させる。

・設定無効マーク「・」が点滅します。



4 次に、本機前面部に配置されているカメラ番号ボタン4「-」を押して右隣に移動させる。

・設定有効マーク「●」が点滅します。



5 上記ステップ3, 4の操作を繰り返し画面左半分に対し設定無効マーク「・」を表示させる。

左へ移動させたい時は、カメラ番号ボタン3「-」、右へ移動させたい時は、カメラ番号ボタン4「-」、上へ移動させたい時は、カメラ番号ボタン5「↑」、下へ移動させたい時は、カメラ番号ボタン6「↓」をそれぞれ選択し押ししてください。画面全てを選択する時は、カメラ番号ボタン1「+」、画面全てを選択しない時は、カメラ番号ボタン2「-」を押してください。

シャトルを左に回して確定する。

IV マルチプレクサ機能

◆ マルチプレクサ機能
マルチプレクサ機能の操作方法は、基本操作編「マルチプレクサ機能」14ページをごらんください。

◆ マルチプレクサ機能関連ボタン
・分割/シーケンスボタンの動作 (※1)
分割/シーケンスボタンでは、マルチプレクサ設定の各分割表示位置設定で設定された16分割、2種類の9分割 (a, b) および4種類の4分割表示 (aからd)、1面シーケンス表示、4面シーケンス表示、9面シーケンス表示などを順番に表示することが出来ます (※2)。

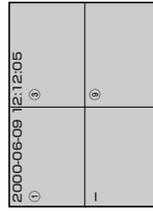
分割/シーケンスボタンを押すことにより、表示モードが次のように切り換わります (16分割表示から始まります)。

16分割→9分割表示モードa→4分割表示モードb→4分割表示モードc
9分割シーケンス表示→4分割シーケンス表示→1面シーケンス表示→4分割表示モードd
画面に表示させるカメラ映像のレイアウトは、<マルチプレクサ設定>メニューの<4分割表示位置>、<9分割表示位置>または、<16分割表示位置>で設定することが出来ます。詳細は53～55ページをごらんください。

また記録内容再生中にも分割/シーケンスボタンを押すことにより、表示モードが次のように切り換わります (16分割表示から始まります) (※3)。

16分割→9分割表示モードa→9分割表示モードb→4分割表示モードa
4分割表示モードd→4分割表示モードc→4分割表示モードb

4分割及び9分割シーケンス表示で非運用カメラに設定した画面が表示されているときは、カメラ番号の表示が「-」となります。



分割/シーケンスボタンを使用中でも、カメラ番号ボタンを押して見たいカメラの映像を1画表示出来ます (※4)。もう一度分割/シーケンスボタンを押すと、前の分割/シーケンス表示画面に戻ります。

※1
カメラ番号ボタン、分割/シーケンスボタンおよび拡大ボタンの動作は、52ページの「分割/シーケンスボタン、拡大ボタンおよびカメラ番号ボタンの動作表」をごらんください。

※2
表示モード切り換え数を減らしたい場合は、<マルチプレクサ設定>画面の「分割/シーケンスボタン」設定で「シヨート」を選択してください。

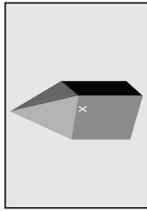
※3
カメラ映像の更改速度は、カメラ台数が多くなるほど遅くなります。<記録設定>および<アラーム記録・動き検知設定>メニューの<カメラ運用設定>で必要のないカメラは、カメラ運用からはずしておく、よりスムーズな映像を見ることが出来ます。

※4
<マルチプレクサ設定>メニューの「分割/シーケンスボタン」設定を「シヨート」に設定している場合、16分割または、1画表示しかできません。

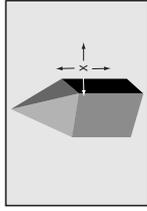
※5
1画表示は常にリアルタイムで表示されます。

・拡大ボタンの動作

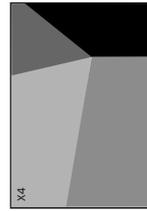
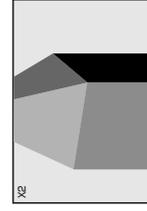
1 画面表示中に本体前面部の拡大ボタンを押すと、表示中の画面に「X」(ポイント)が表示されます。
・拡大表示機能は、1画表示中のみ設定が可能です。



2 ポイントはカメラ番号ボタン3から6に割り付けられている、矢印の方向に移動させることができます。



3 次にカメラ番号ボタン1を押すことにより、このポイントを中心とし、2倍(X2)、4倍(X4)に画面を拡大することができます (※1)。



・カメラ番号ボタン2を押すと、拡大表示されている映像の倍率を1段階下げることが出来ます。
・拡大画面表示中は、メニュー表示することはできません。

・カメラ番号ボタンの動作

カメラ番号ボタンを押すと、そのカメラ番号に接続されたカメラの映像が1画表示になります。<記録設定>メニューの「カメラ運用設定」で運用されていないカメラが表示された場合、非運用カメラ表示 (👁) が時刻表示の欄に表示されます (基本操作編「時刻表示画面」13ページ参照)。また、分割/シーケンス画面表示中でもカメラ番号を押すことにより、特定のカメラの映像を瞬時に1画表示することが出来ます。

※1
ポイントの位置は表示画面を変えたり電源を切っても記憶されていますので、拡大して見たい場所があらかじめ決まっている場合など便利です。また、この拡大ボタンでは記録内容の再生中にも使用することが出来ます。

※参考
複数のカメラの記録映像を1画面表示で再生中に、一時停止させ拡大操作を行うと、黒画面が表示されることがあります。この場合にはジョysticksでコマを送るにより拡大画面を表示させることができます。

※参考
本拡大表示機能は、電子拡大方式ですので、拡大時に画面細部がブロック状に見えることがあります。

※参考
拡大表示中に、アラーム記録が開始されると、拡大画面表示は解除されます。

IV

マルチプレクサ機能 (つづき)

- ◆ 分割/シーケンスボタン、拡大ボタンおよびカメラ番号ボタンは下記のように動作します。

画面表示	分割/シーケンスボタン	拡大ボタン	カメラ番号ボタンの動きと点灯、消灯	参照ページ
16分割表示 	消灯	消灯	運用カメラの映像を16分割表示します。カメラ番号の映像を順番に変更しながら表示します。<記録設定>または、<アラーム記録・動作検知設定>メニューの<カメラ運用設定>で設定してください。現在表示中のカメラ番号のうち、<カメラ運用設定>で記録するように設定したカメラ番号ボタンのみが点灯します。	54 55
9分割表示モ-1b (9a) 9分割表示モ-1b (9b) 	消灯	消灯	<マルチプレクサ設定>メニューの<9分割表示位置>設定の9分割または10で選択されているカメラ番号の映像を9分割表示します。選択したカメラ番号ボタンを点灯してほかから映像順番に取り換えて表示します。<記録設定>または、<アラーム記録・動作検知設定>メニューの<カメラ運用設定>で設定してください。現在表示中のカメラ番号のうち、<カメラ運用設定>で記録するように設定したカメラ番号ボタンのみが点灯します。	54
4分割表示モ-1b (4a) 4分割表示モ-1b (4b) 4分割表示モ-1b (4c) 4分割表示モ-1b (4d) 	消灯	消灯	<マルチプレクサ設定>メニューの<4分割表示位置>設定の4分割a,b,c,dまたは10で選択されているカメラ番号の映像を4分割表示します。選択したカメラ番号ボタンを点灯してほかから映像順番に取り換えて表示します。<記録設定>または、<アラーム記録・動作検知設定>メニューの<カメラ運用設定>で設定してください。現在表示中のカメラ番号のうち、<カメラ運用設定>で記録するように設定したカメラ番号ボタンのみが点灯します。	53 54
1画/シーケンス表示 	点灯	消灯	<マルチプレクサ設定>メニューの<自動切替設定>で設定されたカメラ番号の映像を、設定された切り換え順番で順番に表示します。現在表示中のカメラ番号ボタンが点灯します。非運用カメラから指定した画面が表示されることは、非運用カメラ表示 (M) が表示されません。	50
1画連続切替わり表示 	点灯	消灯	<マルチプレクサ設定>メニューの<自動切替設定>で設定された、4分割切り換え表示 (abcd, abc, ab または10)が設定された期間に表示されます。現在表示中のカメラ番号のうち、<カメラ運用設定>で記録するように設定したカメラ番号ボタンのみが点灯します。非運用カメラに指定した画面が表示されているときは、カメラ番号の表示が「-」と変わります。	53 54
4分割シーケンス表示 	点灯	消灯	<マルチプレクサ設定>メニューの<自動切替設定>で設定された、4分割切り換え表示 (ab または10)が設定された期間に表示されます。現在表示中のカメラ番号のうち、<カメラ運用設定>で記録するように設定したカメラ番号ボタンのみが点灯します。非運用カメラに指定した画面が表示されているときは、カメラ番号の表示が「-」と変わります。	54
9分割シーケンス表示 	点灯	消灯	<マルチプレクサ設定>メニューの<自動切替設定>で設定された、9分割切り換え表示 (9a または10)が設定された期間に表示されます。現在表示中のカメラ番号のうち、<カメラ運用設定>で記録するように設定したカメラ番号ボタンのみが点灯します。非運用カメラに指定した画面が表示されているときは、カメラ番号の表示が「-」と変わります。	54
1画表示 非表示モ-1b 7画 拡大モ-1b 7画 	消灯	消灯	現在表示中のカメラ番号ボタンが点灯します。	50
1画表示 アラーム記録中及びアラーム記録中にアラーム解除のとき 	点灯	点灯	現在1画、2画、4画で拡大表示中のカメラ番号ボタンが点灯します。	51
16分割、9分割、4分割または1画表示などの表示モードに問わず、アラーム記録中及びアラーム記録解除中のカメラ番号ボタンが点滅します。				70

- ◆ 分割/シーケンスボタン、拡大ボタンおよびカメラ番号ボタンの動作表

マルチプレクサ設定

- ◆ <マルチプレクサ設定> - 分割/シーケンスボタン設定

ここでは、分割/シーケンスボタンの設定を行います。

例) 分割/シーケンスボタンを「ショット」(※1)に設定する (初期設定は「オール」)。

1 <設定メニュー>

マルチプレクサ設定
タイムマー予約設定

2 <マルチプレクサ設定>

分割/シーケンスボタン
9分割表示位置
4分割表示位置
16分割表示位置
タイムリカバリ
アラームリカバリ

3 オール

ショット

4 ジョグを回して「ショット」を選択し、シャトルを右に回す。

5 シャトルを左に回すか、または設定ボタンを押す。

マルチプレクサ設定

分割/シーケンスボタン

9分割表示位置

4分割表示位置

16分割表示位置

タイムリカバリ

アラームリカバリ

オール

ショット

ジョグを回してカーソル (▶) を「マルチプレクサ設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。

<マルチプレクサ設定>画面が表示されます。

カーソルが「分割/シーケンスボタン」にあることを確認し、シャトルを右に回す。

ジョグを回して「ショット」を選択させ、シャトルを右に回して設定を確認する。

点滅が止まります。

シャトルを左に回すか、または設定ボタンを押す。

◆ 4分割表示位置設定

本機のマルチプレクサ機能は、接続されたカメラの映像を4分割、9分割、16分割にして画面に表示させることができます。また、表示するカメラ番号の順番を設定することができます。4分割表示位置設定ではaからdの4種類の分割表示モードを設定することができます。

例) 各カメラ番号の映像を希望のレイアウトを使い4分割表示で表示させる。

<設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「マルチプレクサ設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。

<マルチプレクサ設定>画面が表示されます。

1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「マルチプレクサ設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。

2 ジョグを回してカーソルを「4分割表示位置」まで移動させ、シャトルを右に回す。

3 カーソルが「4分割a」表示の左にあることを確認し、シャトルを右に回す。

4 4分割aの左端の一番上の数字 (初期設定では①) が点滅するのを確認したら、ジョグを回して希望するカメラ番号を表示させ、シャトルを右に回して確定する。

横に点滅が移動します。

4分割a

① ②

③ ④

4分割b

⑤ ⑥

⑦ ⑧

4分割c

⑨ ⑩

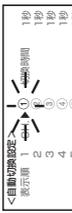
⑪ ⑫

4分割d

⑬ ⑭

⑮ ⑯

マルチプレクサ機能 (つづき)



3 カーンが「CH」の横にあるのを確認し、シャトルを右に回す(※1)。
・設定項目が点滅します。



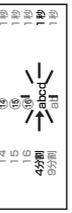
4 ジョグを回して希望するカメラ番号を表示させ、シャトルを右に回し設定を確定する。
・点滅が「切替時間」に移動します。



5 ジョグを回して希望する切替時間を表示させ、シャトルを右に回して確定する。
・切替時間は最長30秒まで設定できます。



6 ステップ3から5の操作を繰り返し、他の表示順の「CH」と「切替時間」を設定する。
(4分表示切替の設定を行う場合)カーンが「abcd」まで移動させ、シャトルを右に回す。



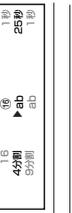
7 シャトルを右に回す。
・設定項目が点滅します。



8 希望する4分表示モード(※2)をジョグを回して選択し、シャトルを右に回す。
・点滅が「切替時間」に移動します。



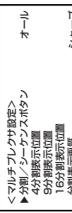
9 ジョグを回して希望する切替時間を表示させ、シャトルを右に回す。
・点滅が止まります。



10 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。
・タイトル表示
・タイトル入力>設定で各カメラに割り当てられたタイトルを画面に表示したり、CH番号のみを表示するなど選択することができます。



例) タイトル表示設定を「タイトル」に設定する(初期設定は「CH番号」)。



1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーンが「マルチプレクサ設定」に移動させ、シャトルを右に回す。
・<マルチプレクサ設定>画面が表示されます。



2 ジョグを回してカーンが「タイトル表示」に移動させ、シャトルを右に回す。
・設定項目が点滅します。

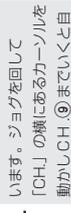


3 ジョグを回して「タイトル」を点滅させ、シャトルを右に回して設定を確定する(※3)。
・点滅が止まります。



4 シャトルを左に回す、または設定メニューを押す。

※1 <自動切替設定>メニューは2画面構成になっています。ジョグを回して「CH」の横にあるカーンが動かしCH④までいくと自動的に次画面へスクロールされます。



※2 4分表示切替モードは「abcd」または「a」より選択可能です。9分表示切替モードは「ab」または「a」より選択可能です。自動切替9分表示および、4分表示で表示されるカメラの映像は、<マルチプレクサ設定>メニューの「9分表示位置」に設定されたカメラの映像位置で設定されたカメラの映像です。また、「a」を選択することによりランゲンス表示のカメラ切り換えを固定することが可能です。



※3 <タイトル入力>画面が表示されます。



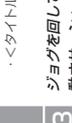
※4 カタカナ、ひらがな、漢字20文字、半濁音5文字、促音7文字が表示できます。また記号は、/ > < > < > ~ ↑ ↓ → ← ・ ・ ・ ・ ・ % ' (ハーフスペースを表す) の21文字です。

・タイトル入力
接続しているカメラ毎に個別に運用タイトルを設定することができます。タイトル表示設定で「タイトル」を選択した場合、画面にタイトルが表示されよりわかりやすい監視シームを構築することができます(※1)。

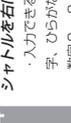
例) CH⑤のカメラに「ひじょうぐち」タイトルをつける。
<設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーンが「マルチプレクサ設定」に移動させ、シャトルを右に回す。
・<マルチプレクサ設定>画面が表示されます。



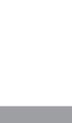
1 ジョグを回してカーンが「タイトル入力」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・<タイトル入力>画面が表示されます。



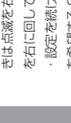
2 ジョグを回して「ひ」を表示させ、シャトルを右に回す(※2)。
・運用タイトルの1文字目「」が点滅します。



3 ジョグを回して「じ」を表示させ、シャトルを右に回して移動する。
・入力できる文字は、カタカナ78文字、ひらがな78文字、数字0~9、アルファベットは本文26文字です。カタカナの「ア」を起点に切り換わります。(※3)運用タイトルは本体側でカメラ番号に対応して記録され、データとしては記録されません。



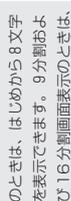
4 ステップ4を繰り返し、「ひじょうぐち」を入力する。
・シャトルを右に回すと、入力した文字が消去されます。タイトル行から抜けるときは点滅を右端まで移動させ、シャトルを右に回して入力を確認してください。
・設定を続ける場合は、ジョグでカーンが希望するCHまで移動させてください。



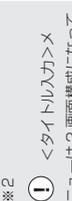
5 設定を止めるときはシャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。
・タイトル入力を確認しないと、メニューから抜けられません。



※1 <タイトル入力>メニューは2画面構成になっています。ジョグを回してカメラ番号の横にあるカーンが動かしCH⑤までいくと自動的に次画面へスクロールされます。



※2 <タイトル入力>メニューは2画面構成になっています。ジョグを回してカメラ番号の横にあるカーンが動かしCH⑤までいくと自動的に次画面へスクロールされます。



※3 カタカナ、ひらがな、漢字20文字、半濁音5文字、促音7文字が表示できます。また記号は、/ > < > < > ~ ↑ ↓ → ← ・ ・ ・ ・ ・ % ' (ハーフスペースを表す) の21文字です。



※4 カタカナ、ひらがな、漢字20文字、半濁音5文字、促音7文字が表示できます。また記号は、/ > < > < > ~ ↑ ↓ → ← ・ ・ ・ ・ ・ % ' (ハーフスペースを表す) の21文字です。



※5 カタカナ、ひらがな、漢字20文字、半濁音5文字、促音7文字が表示できます。また記号は、/ > < > < > ~ ↑ ↓ → ← ・ ・ ・ ・ ・ % ' (ハーフスペースを表す) の21文字です。



※6 カタカナ、ひらがな、漢字20文字、半濁音5文字、促音7文字が表示できます。また記号は、/ > < > < > ~ ↑ ↓ → ← ・ ・ ・ ・ ・ % ' (ハーフスペースを表す) の21文字です。



IV

マルチプレクサ機能 (つづき) / 運用例

・アラーム入力1画表示

アラーム番号入力時に、通常画面、分割画面等からアラーム入力された映像に切り換わります。アラーム記録中に別のアラーム記録が入った場合、最新アラーム入力CHの映像を1画面表示します。アラーム記録終了後には、元の画面に戻ります。

例) アラーム入力1画表示を「切」に設定する (初期設定は「入」)。

※1

1 <記録メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「マルチプレクサ設定」に移動させ、シャトルを右に戻す。

- ・記録メニュー
- ・マルチプレクサ設定画面が表示されます。

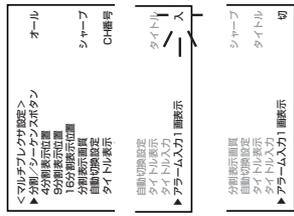
2 ジョグを回してカーソルを「アラーム入力1画表示」まで移動させ、シャトルを右に戻す。

- ・設定項目が点滅します。

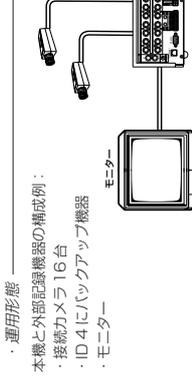
3 ジョグを回して「切」を点滅させ、シャトルを右に戻して設定を確定する。

- ・点滅が止まります。

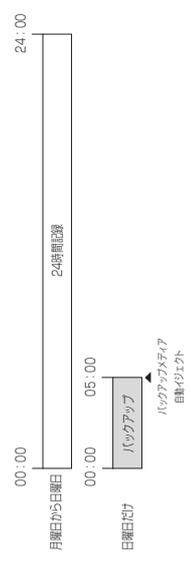
4 シャトルを左に戻す、または設定ボタンを押す。



◆ 運用例1 タイマー予約での同時バックアップ
一週間連続して記録を行い、週に一度バックアップをタイマー管理で行う運用例です。バックアップ完了後、新しいメディアを入れ換えやすいようにバックアップメディアを自動的にイジェクトさせることができます。 (※1)



接続されたすべてのカメラの映像を、毎日24時間記録し、一週間の記録内容を選択中の記録と同時にバックアップさせます。記録画面を「ベータシグ」で、1秒1コマで記録し、カメラ一台あたり16秒に1コマ記録します。実際の記録およびバックアップは下図のように行われます。



・設定のしかた

1) 記録に関する設定を下記のように行ってください。

- ・画面を「ベータシグ」に設定 (14ページ)。
- ・基本記録間隔を「1F」に設定 (15ページ) (※1)。
- ・HDDリピート記録を「リピート」に設定 (36ページ)。
- ・音声記録機能を「切」に設定 (40ページ)。

2) カメラ運用に関する設定を下記のように行ってください。

- ・<記録設定>メニューの「カメラ運用選択」設定で運用Aを選択し、「カメラ運用設定」のカメラ毎運用設定>メニューで運用Aに接続された16台のカメラを設定する (16ページ) (※2)。

・<マルチプレクサ設定>メニューの「タイトル入力」設定でタイトルの入力をを行います。

3) <タイマー予約設定>メニューのP1に、下記の設定を行ってください。

- ・タイマー予約番号1に毎日 00:00から次の日の00:00まで「A-1」(運用Aで運用されている全カメラの映像を1F間隔で記録) に設定。
- ・タイマー予約番号2に、日曜日の開始時刻00:00から、終了時刻05:00に動作を「上書き」(※4) で設定。

上記の設定がすべて完了したら5タイマーボタンを押してください。タイマー記録状態になります。

◆ こんな設定もできます

※4 「スキップ」：一時的にタイマー記録を休止したいときに設定すると、電源が切れそのプログラム番号の指定時間帯の記録は行われません。

「逆順」：指定時間中は電源が「入」の状態を停止しています。タイマー予約でアラーム記録を行う場合に利用します。

「上書き」：HDDの記録内容をバックアップ機器に上書きしてバックアップさせます。

「追記B」：HDDの記録内容をバックアップ機器に追記してバックアップさせます。

「上書きB→E」：HDDの記録内容をバックアップ機器に上書きしてバックアップした後、自動的にメディアをイジェクトします。

「追記B→E」：HDDの記録内容をバックアップ機器に追記してバックアップした後、自動的にメディアをイジェクトします。

「上書きB→E」または、「追記B→E」に設定した場合、<時刻・初期設定>メニューの「バックアップメディア自動イジェクト」の設定に関わらずバックアップ後イジェクトします。

はじめに

基本操作編

設置編

運用編

メンテナンス

記録時間表

故障かな?

用語集

さくひん

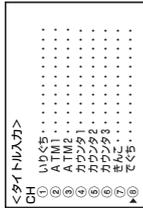
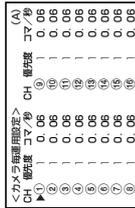
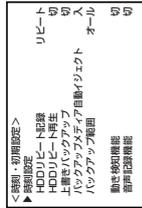
※1 設定した基本記録間隔と画面によっては一週間連続で記録できない場合がありますのでご注意ください。記録間隔と記録画面の関係については104ページをごらんください。

※2 本機は運用設定A、B、Cごとに記録するカメラ台数を設定することができます。詳細は16ページをごらんください。

※3 カメラ映像の更改時間はカメラ台数が多くなるほど長くなります。

※4 このとき開始時刻と終了時刻の間に「●」が表示されます。これは記録が翌日まで及びことを示しています。

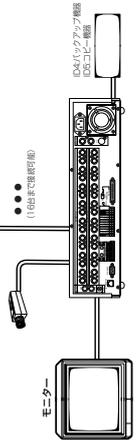
※5 不定期な運用停止



IV

運用例 (つづき)

- ◆ **運用例2 エンドレスリピータ記録**
24時間連続して記録を行い、3日分の記録データを部分的にコピー (80ページ参照) やバックアップする運用例です。
 - ・運用形態
 - ・本機と外部記録機器の構成例:
 - ・接続カメラ 16台
 - ・ID 4にバックアップ機器またはID5にコピー機器
 - ・モニター



接続されたすべてのカメラの映像を24時間記録します。

- ・設定のしかた
 - 1) 記録に関する設定を下記のように行ってください。
 - ・画面を「スタンダード」に設定 (14ページ)。
 - ・基本記録間隔を「3 F」に設定 (15ページ)。

設定項目	
基本記録間隔	スタンダード
カメラ運用選択	1 F (A)
カメラ運用設定	

設定項目	
HDDリピータ記録	リピータ
HDDリピータモード	切
バックアップメディア自動イジェクト	切
バックアップ機器	オール
動き検知機能	切
音声記録機能	入

- 上記の設定がすべて完了したら**記録ボタン**を押してください。連続記録状態になります。
 - ・必要に合わせコピーを行いたいとき
 - 連続記録中に部分的に記録内容をコピーしたいときには下記のような設定をしてください。
 - ・コピー範囲自動読み込みの設定を「手動」にして希望するコピー開始時刻と終了時刻を設定する (80ページ参照)。
 - ・必要に合わせバックアップを行いたいとき
 - 連続記録中に部分的にHDDに残っているすべての記録内容をバックアップしたいときはバックアップ機器にバックアップメディアをセットし、バックアップボタンを押してください。

- ◆ **運用例3**
カメラ運用設定AとBに異なるカメラ台数を設定し、時間帯や曜日によって運用するカメラの切り替えを行う運用例です。設定されたカメラ台数が多いときは記録間隔を短めに設定し、カメラ台数が少ないときは記録間隔を長めに設定します。
 - ・運用形態
 - ・バックアップは毎週月曜日の00:00から月曜日の05:00に行い、朝にはバックアップが終了しバックアップしたメディアをイジェクトしている状態に設定します。(※1)
 - ・月曜日から金曜日の08:00から15:00にカメラ運用Aを設定します。
 - 15:00以降、20:00まではカメラ運用Bを設定します。

※1
タイム予約設定時には、<時刻・初期設定>>メニューの「上書きバックアップ」、「バックアップメディア自動イジェクト」は機能しませんのでご注意ください。それぞれの設定については「上書きバックアップ設定」37ページ、「バックアップメディア自動イジェクト」38ページをご覧ください。

設定のしかた

- 1) 記録に関する設定を下記のように行ってください。
 - ・画面を「スタンダード」に設定 (14ページ)。
 - ・基本記録間隔を「1 F」に設定 (15ページ)。
 - ・HDDリピータ記録を「リピータ」に設定 (36ページ)。
 - ・音声記録機能を「入」に設定 (40ページ)。

設定項目	
基本記録間隔	スタンダード
カメラ運用選択	1 F (A)
カメラ運用設定	

設定項目	
HDDリピータ記録	リピータ
HDDリピータモード	切
バックアップメディア自動イジェクト	切
バックアップ機器	オール
動き検知機能	切
音声記録機能	入

- 2) カメラ運用に関する設定を下記のように行ってください (16ページ)。
 - ・<記録設定>>メニューの「カメラ運用設定」のカメラ運用Aにカメラ番号①から⑤を設定します。

設定項目	
カメラ運用設定A	CH 1 0.05
カメラ運用設定B	CH 2 0.07
カメラ運用設定C	CH 3 0.14
カメラ運用設定D	CH 4 0.14
カメラ運用設定E	CH 5 0.14
カメラ運用設定F	CH 6 0.14
カメラ運用設定G	CH 7 0.14
カメラ運用設定H	CH 8 0.14
カメラ運用設定I	CH 9 0.14
カメラ運用設定J	CH 10 0.14
カメラ運用設定K	CH 11 0.14
カメラ運用設定L	CH 12 0.14
カメラ運用設定M	CH 13 0.14
カメラ運用設定N	CH 14 0.14
カメラ運用設定O	CH 15 0.14
カメラ運用設定P	CH 16 0.14

- ・<カメラ毎運用設定>>画面の運用Aにカメラ番号①、②、③、④、⑤を設定します。
- ・<マルチプレキサ設定>メニューの「タイトル入力」設定でタイトルの入力をを行います。

タイトル入力	
CH 1	01
CH 2	02
CH 3	03
CH 4	04
CH 5	05
CH 6	06
CH 7	07
CH 8	08
CH 9	09
CH 10	10
CH 11	11
CH 12	12
CH 13	13
CH 14	14
CH 15	15
CH 16	16

週末の土曜日、日曜日にはカメラ運用Bを08:00から17:00まで設定します。実際の記録は下図を参考にしてください。

運用編

61

IV

運用例 (つづき)

3) <タイマー予約設定>に関する設定を下記のように行ってください。

- ・指定曜日に月曜日から金曜日を設定し、プログラム番号 1 に指定曜日の 08:00 から 15:00 に動作「A-1」で設定する。
- ・プログラム番号 2 に指定曜日の 15:00 から 20:00 に動作「B-1」で設定する。
- ・プログラム番号 3 に土曜日の 08:00 から 17:00 に動作「B-1」で設定する。
- ・プログラム番号 4 に日曜日の 08:00 から 17:00 に動作「B-1」で設定する。
- ・プログラム番号 5 に月曜日の 00:00 から 05:00 まで「上書きE」を設定する。

上記の設定がすべて完了したらタイマーボタンを押してください。タイマー記録待機状態になります。

◆ 運用例 4

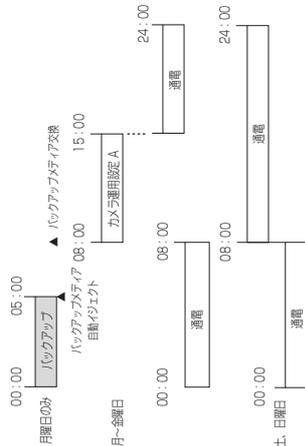
通常記録と動き検知機能を用いたアラーム記録を併用した予約設定の運用例です。

・運用形態

・バックアップは毎週月曜日の 00:00 から月曜日の 05:00 に行い、朝にはバックアップが終了しバックアップしたメディアをイジェクトしている状態に設定します。(※1)

・月曜日から金曜の 08:00 から 15:00 にカメラ運用 A を設定します。
15:00 以降、翌朝の 08:00 までは通電に設定します。

・週末の土曜日、日曜日にはカメラ運用 B を 08:00 から翌朝 08:00 まで設定します。実際の記録は下図を参考にしてください。



設定のしかた

1) カメラ運用設定 A に関しては、運用例 3 と同様に <記録設定>メニューの「カメラ運用設定」、<マルチプレックス>メニューの「タイトル入力」設定、記録条件の設定を行ってください。動き検知機能を用いた通電設定に関する設定を次のように行ってください。

※ 1

タイマー予約設定時には、<時刻・初期設定>メニューの「上書きバックアップ」、バックアップメディアの自動イジェクト」は機能しませんのでご注意ください。それぞれの設定については「上書きバックアップ設定」37 ページ、「バックアップメディア自動イジェクト」38 ページをごらんください。

※ 1

動き検知設定を行うためには、先ず、<時刻・初期設定>メニューの「動き検知機能」設定を「入」にしてください。

項目	設定
<アラーム記録・動き検知設定>	入
基本記録間隔	15分
アラーム記録時間	5分
アラーム記録カメラ	運用設定CH
アラーム記録設定	中

項目	設定
<アラーム記録毎カメラ運用設定>	画面カメラ番号
CH	2
動作	1. 07
①	2. 14
②	1. 14
③	2. 14
④	1. 14
⑤	2. 14
⑥	1. 14
⑦	2. 14
⑧	1. 14
⑨	2. 14
⑩	1. 14
⑪	2. 14
⑫	1. 07

項目	設定
<動き検知設定>	入
設定カメラ選択	入
カメラ毎動作設定	入
録画エリアドット設定	入
記録開始ドット数	大
動作テストモード	切

2) <動き検知設定>メニューの設定を行います (※1)。

- ・設定カメラ選択「それぞれカメラ番号①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧」に対して次の設定を行ってください。
- ・「カメラ毎動作設定」を「入」に設定 (46 ページ)。
- ・「録画エリアドット設定」、「感度」、「記録開始ドット数」を設定してください (47~48 ページ)。

3) <タイマー予約設定>に関する設定を下記のように行ってください。

・<タイマー予約設定>メニューの「予約運用」設定で「P1」を、<カメラ運用動き検知設定>メニューの「運用 通電」設定を「入」にそれぞれ選択してください。

項目	設定
<タイマー予約設定>	P1
予約運用	入
運用 P1	切
運用 P2	切
運用 P3	切
<カメラ運用動き検知設定>	入
運用 A	切
運用 B	切
運用 C	切
運用 通電	入

- ・指定曜日に月曜日から金曜日を設定し、プログラム番号 1 に指定曜日の 08:00 から 15:00 に動作「A-1」で設定する。
- ・プログラム番号 2 に指定曜日の 15:00 から翌朝 08:00 に動作「通電」で設定する。
- ・プログラム番号 3 に土曜日の 08:00 から翌朝 08:00 に動作「通電」で設定する。
- ・プログラム番号 4 に日曜日の 08:00 から翌朝 08:00 に動作「通電」で設定する。
- ・プログラム番号 5 に月曜日の 00:00 から月曜日の 05:00 まで「上書きE」を設定する。

項目	設定
<カメラ予約設定>	選択プログラムメニュー P1
曜日	月
1 指定	08:00 15:00 A-1
2 指定	15:00 08:00 通電
3 指定	08:00 17:00 B-1
4 日	08:00 08:00 通電
5 日	08:00 05:00 上書きE
6	---
7	---
8	---
9	---
10	---
指定曜日	月 一 金

上記の設定がすべて完了したらタイマーボタンを押してください。タイマー記録待機状態になります。

IV タイマー予約のしかた

◆ <タイマー予約設定 (※1)> ———— 予約運用を選択し、希望する予約運用設定でタイマー記録をするには、「運用 P1」、「運用 P2」および「運用 P3」のいずれかによく使用する運用/ボタンを設定しておく必要があります。運用/ボタンはその都度切り換えることができるので便利です。

例) 運用 P2のプログラム番号1に、毎日12:00から13:00まで、カメラ運用Aを30F間隔でタイマー記録する設定。

- 1 設定ボタンを押し、<設定メニュー>を表示させる。
- 2 ジョグを回してカーソルを「タイマー予約設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・<タイマー予約設定>画面が表示されます。
- 3 カーソルが「予約運用」にあることを確認し、シャトルを右に回す。
・設定項目が点滅します。
- 4 ジョグを右に回して「P2」を点滅させ、シャトルを右に回して確定する。
・予約運用P2が選択されました。

- <タイマー予約設定>画面の構成
- 1 一つの画面で最高8つのプログラム設定を行うことができます。
 - 2 曜日表示は：
 - ・日～土で曜日指定。
 - ・毎日 (毎日同じ時刻に記録するとき)
 - ・指定 (前下段の「指定曜日」で設定した間に記録するとき) などがあります。
 - 3 時刻は24時間表示になっています。
 - ・予約時刻が重なってしまったりは、プログラム番号の大きい方のプログラムが優先されます。
 - 4 記録が翌日まで及ぶ場合にこのマークが表示されます。開始と終了時刻を同時に時刻に設定し、曜日を毎日を設定すると連続記録状態になります。
 - 5 記録終了時刻を表示します。
 - 6 いろいろな記録間隔の設定をしています。
 - 7 開始曜日から終了曜日を指定します。2)の曜日表示で「指定」を選択した場合は、上記開始曜日から終了曜日までが期間が採用されます。

- 5 カーソルがプログラム番号「1」にあることを確認し、シャトルを右に回して曜日を点滅させる。

※1
① 記録する前に、あらかじめ日付と現在時刻を正確に合わせおきます。時刻の合わせ方は「日付・時刻の合わせかた (13ページ)」をご覧ください。

6

ジョグを回して「毎日」を点滅させ、シャトルを右に回して確定する (※1)。
・開始時刻が点滅します。



7

ジョグで「12」を表示させ、シャトルを右に回して確定する。
・点滅が「分の10の位」の位に移動します。



8

ジョグで「00」を表示させ、シャトルを右に回して確定する。
・点滅が「分の1の位」に移動します。同じ要領で終了時刻も設定します。



9

動作設定をする (※2)。
・最初にカメラ運用の項目が点滅します。ジョグで「A」(※3)を表示させ、シャトルを右に回して設定します。
・次に記録間隔の項目が点滅します。ジョグで希望する記録間隔を表示させ、シャトルを右に回して設定する (※4)。



10

連続してタイマープログラムを入力する場合は、ステップ5から9を繰り返してください。
・ジョグを回してカーソルを希望するプログラム番号まで移動させ、シャトルを右に回してください。
・1画面で最高8プログラムが可能です。
・プログラム内容を消去したいときは、プログラム中に警告消去ボタンを押してください。



11

シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。
・シャトルを左に回すとカーソルが一つ前の動作に戻り、設定ボタンを押すとタイマー予約設定画面が消えます。



12

タイマー記録ボタンを押す。
・タイマーボタンが点灯します。
・現在時刻がタイマー予約設定時刻内であれば、タイマー記録が開始されます。
・現在時刻がタイマー予約設定時刻外であれば、電源が切れて記録待機状態になります。
・もう一度タイマーボタンを押すとタイマー記録/タイマー記録待機状態は解除されます。



※1
① まちがった曜日を選択してしまったりした場合、シャトルを左に回してジョグで正しい曜日を選択し直した後、シャトルをもう一度右に回してください。

※2
② <タイマー予約設定>の動作設定については、59ページ「※4 こんな設定もできます」をごらんください。また、タイマー予約設定時には、<時刻・初期設定>メニューの「上書きバックアップ」(37ページ参照)、「バックアップメディア」(38ページ参照)は機能しませんのでご注意ください。

※3
③ 動作項目では、記録設定の<カメラ運用設定>に利用の有効にした、カメラ運用の種類と記録間隔の選択をすることが出来ます。詳細は、カメラ運用設定16ページをごらんください。

※4
④ プログラム内に未設定の項目が一つ以上ある場合、「曜日」のところが点滅し確定できません。その場合は、未設定の項目をすべて設定し、再び確定を行ってください。

※5
⑤ 記録間隔設定が記録設定メニュー<タイマー予約設定>メニューで異なる場合、<記録設定>メニューの<記録時間見直し>表示と実際の記録可能時間が異なる場合がありますのでご注意ください。

<タイマー予約設定> 選択プログラム → P2

▶ 毎日	開始時刻	終了時刻	動作
1	---	---	---
2	---	---	---
3	---	---	---
4	---	---	---

<タイマー予約設定> 選択プログラム → P2

▶ 毎日	開始時刻	終了時刻	動作
1	---	---	---
2	---	---	---
3	---	---	---
4	---	---	---

<タイマー予約設定> 選択プログラム → P2

▶ 毎日	開始時刻	終了時刻	動作
1	---	---	---
2	---	---	---
3	---	---	---
4	---	---	---

<タイマー予約設定> 選択プログラム → P2

▶ 毎日	開始時刻	終了時刻	動作
1	12:00	13:00	A
2	---	---	---
3	---	---	---
4	---	---	---

(※6)

▶ 毎日	開始時刻	終了時刻	動作
1	12:00	13:00	A
2	---	---	---
3	16:00	22:00	A
4	---	---	---

<タイマー予約における記録可能時間の見直しについて>
タイマー予約を行う場合、画面・基本記録間隔・音声記録の有設定条件によってはHDDの記録容量が不足し予約したプログラム内容の全てを記録できない場合がありますのでご注意ください (※5)。
複数のプログラムによるタイマー予約設定時は、104ページ「記録時間表」を参考にあらかじめ設定条件に対する記録時間が全HDDの記録容量をどの程度占めるか確認してください。
(※6)のタイマー予約を例に実際に記録可能時間を算出すると下表のとおり第8日目は全て記録され、第9日目はプログラム2の内容が約2%程度HDDに記録されます。(各設定条件は記録画面「11」、音声記録「11」、HDDは内部HDD「120GB」です。)

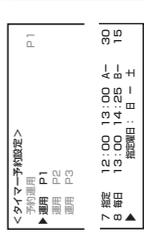
	1日分の記録時間(A)	連続記録可能時間(B)	HDD記録容量(A/B)
プログラム1	1時間 (60分)	約38時間 (2280分)	約2.6%
プログラム2	7時間 (420分)	約76時間 (4560分)	約9.2%

IV

タイマー予約のしかた (つづき)

・指定曜日設定
1 週のうちの何日か連続して同じ時間帯にタイマー記録を行う場合は、開始曜日と終了曜日を指定曜日に設定します。曜日表示に「指定」を選択したプログラム番号のタイマー予約は指定曜日に設定された開始曜日から終了曜日までの期間に実行されます。
例) 予約運用 P1 に指定曜日「月一金」の設定をする (※1)。

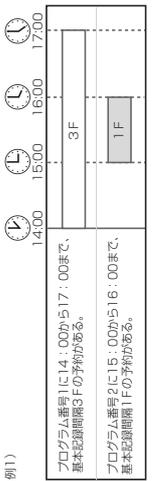
- 1 <設定メニュー> を表示させ、**ジョグを回してタイマー予約設定** に移動させ、**シャトルを右に回す**。
・<タイマー予約設定> 画面が表示されます。
- 2 **ジョグを回してカーソルを「運用 P1」に移動させ、シャトルを右に回す**。
・<タイマー予約設定> P1 が表示されます。
- 3 **ジョグを回して「指定曜日」を選び、シャトルを右に回す**。
・開始曜日が点滅します。
- 4 **ジョグを回して「月」を表示させ、シャトルを右に回す**。
・開始曜日が確定され、点滅が終了曜日に移動します。
- 5 **ジョグを回して「金」を表示させ、シャトルを右に回す**。
・点滅が止まります。
- 6 **タイマーボタンを押す**。
・現在時刻がタイマー予約設定時刻内であれば、タイマー記録が開始されます。
・現在時刻がタイマー予約設定時刻外であれば、電源が切れて記録待機状態になります。
・もう一度タイマーボタンを押すとタイマー記録/タイマー記録待機状態は解除されます。



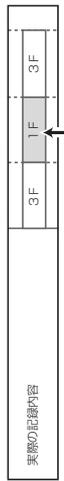
設定ミスがあると記録は行われません。タイマー記録のミスを防ぐために、本機は下記のような方法でミスを防止しやすくなるので適切な処置をお取りください。

本機の状態	エラーの内容	処置	ページ
タイマーボタンが点滅する。設定している場合ブザーが鳴る。	①日付・時刻またはタイマーが未設定である。 ②タイマー予約した運用が予約運用設定されていない。 ③メニューの設定中である。	①日付・時刻を設定する。 ②正しい予約運用を設定する。 ③設定を確認する。	13 64
タイマー記録に設定した時間なのにタイマー記録の状態にならない。	①HDDリブート記録の設定を「リブート」にする。	①HDDリブート記録の設定を「リブート」にする。	36
タイマー記録に設定した時間なのにタイマーバックアップの状態にならずに、警告音が鳴る。	①新しいメディアを入れ、警告音が鳴るまでエラーを消去する。タイマーボタンを押してタイマーを解除し、再度タイマーボタンを押す。	①新しいメディアを入れ、警告音が鳴るまでエラーを消去する。タイマーボタンを押してタイマーを解除し、再度タイマーボタンを押す。	82

・予約時刻が重なってしまったりは、プログラム番号の大きい方のプログラムが優先されます。
下の例1) では
・プログラム番号1に14:00から17:00までの映像が基本記録間隔3F。
・プログラム番号2に15:00から16:00までの映像が基本記録間隔1F。
この二つの設定がされています。これらの設定では15:00から16:00の1時間に二つの記録予約が重なっているために、その時間内はプログラム番号2の予約が優先され、実際の記録は下図例1) のようになります。



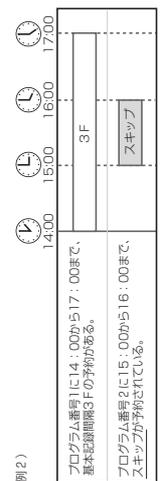
この場合、プログラム番号が大きいプログラム2の予約内容が優先されるため、実際の記録は



優先されたプログラム番号2の予約内容

下の例2) では
・プログラム番号1に14:00から17:00までの記録が基本記録間隔3F。
・プログラム番号2に15:00から16:00までのスキップが設定されている。

この設定では15:00から16:00の一時間に二つの記録予約設定が重なっているために、その時間内はプログラム番号2の予約が優先され、実際の記録は下図例2) のように15:00から16:00までスキップされます。



この場合、プログラム番号が大きいプログラム2の予約内容が優先されるため、実際の記録は



優先されたプログラム番号2の予約内容

IV

タイマー予約のしかた (つづき) / アラーム記録のしかた

・カメラ運用動き検知設定
動き検知機能が有効設定されている状態でタイマー予約を行う場合、タイマー予約実行中の動き検知機能の動作をカメラ運用別および通電状態(※1)で個別に設定することができます。

例) カメラ運用Aに対し、動き検知設定を有効(「入」)にする(初期設定「切」)。

1

<設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「タイマー予約設定」に移動させ、シャトルを右に回す。
・<タイマー予約設定>画面が表示されます。

<タイマー予約設定>	
▶ 予約設定	P1
運用 P1	切
運用 P2	切
運用 P3	切
<カメラ運用動き検知設定>	
運用 A	切
運用 B	切
運用 C	切
運用 通電	切

2

ジョグを回してカーソルをカメラ運用動き検知設定の「運用 A」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・設定項目が点滅します。

<カメラ運用動き検知設定>	
▶ 運用 A	入
運用 B	切
運用 C	切
運用 通電	切

3

ジョグを回して「入」を選び、シャトルを右に回す。
・点滅が止まります。

<タイマー予約設定>	
▶ 予約設定	P1
運用 P1	入
運用 P2	切
運用 P3	切

4

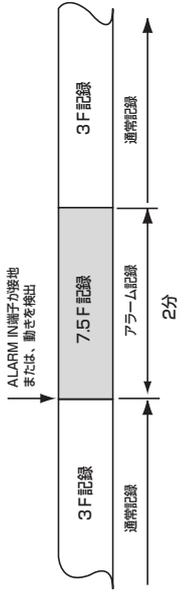
シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<カメラ運用動き検知設定>	
▶ 運用 A	入
運用 B	切
運用 C	切
運用 通電	切

◆ **アラーム記録**
アラームセンサーによってALARMIN端子が接地されたり、動きを検出するとあらかじめ設定しておいた記録間隔に切り換わり(<アラーム記録・動き検知設定>メニューの「基本記録間隔」の設定は43ページ参照)状況が克明に記録することができます(※2)。

・アラーム記録の動作
通常記録中にALARMIN端子が接地されたり、動きを検出すると下図のような動作をします。

例) 通常記録の基本記録間隔を3F、アラーム記録の基本記録間隔を7.5F、アラーム記録時間を2分に設定したとき。



・アラーム記録の設定
アラーム記録の設定については、「画質・基本記録間隔・カメラ運用設定・アラーム記録時間の設定」(43ページ)をごらんください。

・アラーム記録中の動作について
1) アラーム記録が始まると、画面上にアラーム記録番号が表示され、インテックス信号が自動的に記録されます。



2) アラーム記録中に新しいALARMIN端子が接地されたり、動きを検出するとその時より記録時間が延長されます。
3) メニュー画面での設定中にALARMIN端子が接地されると、メニュー画面が消えアラーム記録を始めます。動き検知は、メニュー画面表示中は動作しません。

・アラーム記録時刻表示
アラーム記録が始まるとアラーム信号の入力時刻が記録され、アラーム記録開始時刻を確認することができます。サーチボタンを押して<カー選択>メニューを表示させ、「アラームリストサーチ」を選択するとアラーム記録開始時刻リスト(※1)が表示されます。ジョグを回してカーソルを希望するアラーム記録開始時刻に合わせてシャトルを右に回すと、希望するアラーム記録が頭出しされます(アラームリストサーチ78ページ参照)。

- 1) アラーム記録開始時刻は800回分まで表示できます。それ以上の場合は1番のアラーム記録開始時刻が消え、801番目が追加されます。
- 2) アラーム記録が始まると、自動的にインテックス信号も記録されますので、インテックスサーチで頭出しすることもできます。(インテックスサーチ76ページ参照)
- ・アラーム記録中の表示
1) アラーム記録中は、表示設定(29ページ参照)を「5」と「6」以外に設定していても、自動的にアラーム記録回数がモニターに表示されます。
2) アラーム記録中はアラーム記録インジケータ(※2)が点滅し、アラーム記録が終わると点灯に変わります。
3) アラーム記録回数は9999回まで記録されます。それ以上になると、再び「0001」よりカウントされます。

・通常記録中にアラーム記録が始まり、終了した後の動作
1) アラーム記録終了後は、アラーム記録開始前の記録間隔に戻ります。

・アラーム記録時のインテックス信号の書き込みについて
<アラーム記録・動き検知設定>メニューのアラーム記録カメラを「運用設定CH」に設定しているときは、指定したカメラのうちCH番号の1番小さい番号の先頭部分にインテックス信号が書き込まれます。

・アラーム記録されるカメラ
アラーム記録されるカメラについては、「アラーム記録カメラ」44ページをごらんください。

※1
● アラームリストへの登録は、動き検知機能入力時は記録開始時のみ登録され、記録中の再検出時には登録されません。

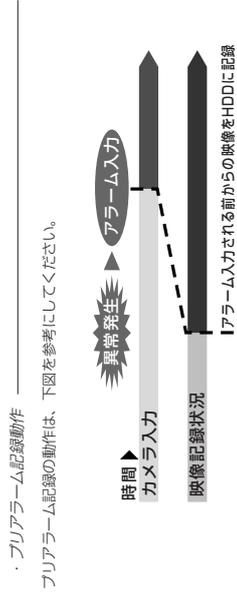
● 「アラーム記録時間設定」が「接点」の場合は、入力角にアラームリストへ登録されます。

※2
● 一回でもアラーム記録が行われると、アラーム記録インジケータの点灯が保持されます。

IV

いろいろな記録

- ◆ 基本的な記録のしかた
基本的な記録のしかたは基本操作編 14 ページをごらんください。
- ◆ プリアラーム記録
アラーム記録時に ALARM IN 端子が接地されたり、動きを検出する数秒前からの映像を記録させることができます。プリアラーム記録の動作については、下図を参考にしてください。プリアラーム記録に関する設定については、「プリアラーム記録設定」45 ページをごらんください。



- プリアラーム記録では・・・
- 1) ALARM IN 端子が接地されたり、動きを検出する前からの映像が記録されます (※1)。
 - 2) <アラーム記録・動き検知設定>メニューの「カメラ運用設定」(43 ページ参照) にて運用指定された全カメラでプリアラーム記録を実行します。アラーム信号入力後の記録チャンネルは、「アラーム記録カメラ」に指定されたカメラにのみ実行されます。これにより「アラーム記録カメラ」の設定を「アラーム OFF」に設定しているときは、プリアラーム記録部分とアラーム入力後の記録カメラ数が異なるため、再生時にアラーム入力前後のカメラ毎の再生間隔が変わります。

タイマー運用でプリアラーム記録機能をはたからせることができます。

- 1 <タイマー予約設定>で動作を「通電」に設定する。
- 2 45 ページの「プリアラーム記録設定」を参考にして、プリアラーム記録を行うために必要な設定を完了させる。
- 3 タイマーボタンを押す。
・設定した時間になると本機の電源が入り、プリアラーム記録待機状態になります。
- 4 ALARM IN 端子を接地させる、または動き検出する。
・自動的にプリアラーム記録が始まります。

- ※1
- ① プリアラーム記録される時間は記録する映像の内容によって異なります。映像の内容やアラーム信号が入力されるタイミングによっては記録される時間が変わることがあります。

その他

- ① プリアラームインジケータータ点灯中は記録や再生ができません。このときは、ユーザボタンで解除すると便利です。ユーザボタンの設定に関しては、34 ページをごらんください。

◆ リピート記録

本機は<時刻・初期設定>メニューの「HDD リピート記録」設定で、HDD の記録容量がなくなるときの動作を設定することができます。「HDD リピート記録」の設定を「リピート」にしておくと HDD の記録容量がなくなるときの自動的にディスクの最初から上書きして再び記録を続けることができます。

例) HDD リピート記録の設定を「リピート」にする。

- 1 <設定メニュー>を表示させ、**ジョグを回してカーソルを「時刻・初期設定」まで移動させる。**
- 2 **シャトルを右に回して<時刻・初期設定>画面を表示させる。**
- 3 **ジョグを回してカーソルを「HDD リピート記録」まで移動させ、シャトルを右に回す。**
・設定項目が点滅します。
- 4 **ジョグを回して「リピート」を点滅させ、シャトルを右に回して確定させる (※1)。**
・点滅が消えます。
- 5 **シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。**

・HDD の記録容量がなくなるときの動作について
「記録待機」：記録中に HDD の記録容量がなくなった時点で記録を停止し記録待機状態になります。停止後にアラーム信号の入力があったとき、REC 端子に信号が入力されたとき、または記録ボタンを押したときにハードディスクの最初から上書きして記録を始めます。

「リピート」：自動的にディスクの最初まで戻り、再び記録を始めます。

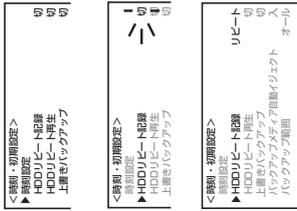
「アラーム保護」：記録の途中に一度でもアラーム記録があれば HDD の記録容量がなくなった時点で記録を停止し、画面に「HDD フル」と表示します。< I/O 端子設定 >メニューの「アラーム設定」が「警告」に設定されているときは、プザーが鳴ります。< I/O 端子設定 >メニューの「CALL OUT 設定」が「入」に設定されているときは、CALL OUT 端子から CALL OUT 信号を出力します。記録の途中に一度でもアラーム記録がなければ、自動的にハードディスクの最初から上書きして記録を続けます。

「切」：記録中、HDD の記録容量がなくなるときの時点で記録を停止し、モニターに「HDD フル」と表示します。< I/O 端子設定 >メニューの「アラーム設定」が「警告」に設定されているときはプザーが鳴ります。記録容量がなくなるときは記録を停止します。< I/O 端子設定 >メニューの「CALL OUT 設定」が「入」に設定されているときは、CALL OUT 端子から CALL OUT 信号を出力します。再びハードディスクの最初から上書き記録するときには、警告消去ボタンを押して HDD フルを解除してから記録ボタンを押してください。

※1

こんな設定もできます
・HDD リピート記録設定項目
ジョグを右に回すと下記のよう
に切り換わります。

「切」→「監視編」→「リピート」
「アラーム保護」

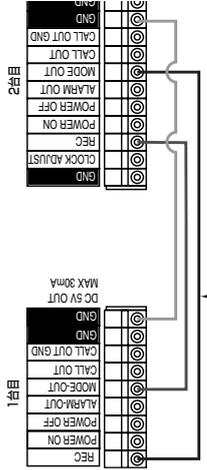


IV

いろいろな記録 (つづき)

◆ シリーズ記録
本機を複数台使用して下図のように接続を行いHDDリピータ記録の設定を「記録待機」にすると、1台目のデジタルビデオレコーダーが記録中にHDDの記録容量がなくなると自動的に次のデジタルビデオレコーダーが記録を始めるシリーズ記録をすることができます。

・接続のしかた (2台の場合)



・シリーズ記録の設定のしかた (2台とも設定します)

- 1 <設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「I/O端子設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・設定項目が点滅します。
- 2 ジョグを回してカーソルを「残量モード警告設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・設定項目が点滅します。
- 3 「HDD」の点滅を確認し、シャトルを右に回す。
・HDDの記録容量が少なくなると次に次のレコーダーに記録を始めるためのHDDを選択します。
・点滅が残量設定項目に移動します。
- 4 ジョグを回して希望する残量設定値を表示させ、シャトルを右に回す。
・点滅が止まります。
- 5 ジョグを回して、カーソルを「MODE OUT 設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・設定項目が点滅します。
- 6 ジョグを回して「残量少」を点滅させ、シャトルを右に回して「記録待機」に設定させます。
・設定ボタンを押し、ジョグを回してカーソルを「時刻・初期設定」まで移動させます。
・シャトルを右に回して「時刻・初期設定」画面を表示させます。

参考 左記の例では1台目のレコーダーのHDDの記録容量がなくなると自動的に2台目のレコーダーが自動的に記録を開始し、その後、2台目のレコーダーのHDDの記録容量が少なくなった場合、1台目のレコーダーがハードディスクの最初から書き込んで記録を行います。1台目のレコーダーに書き込みを行わせたくない場合は図の①の接続を行わないでください。

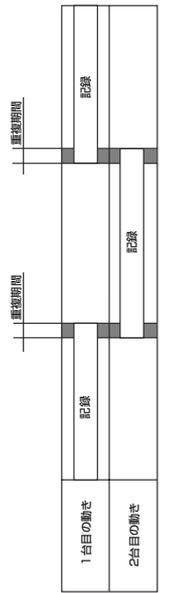
8 ジョグを回してカーソルを「HDDリピータ記録」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・設定項目が点滅します。

9 ジョグを回して「記録待機」を点滅させ、シャトルを右に回して設定を確認する。
・点滅が止まります。

10 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

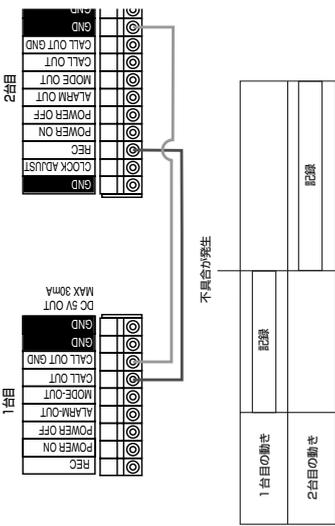
・シリーズ記録中の動作

1台目のレコーダーの記録容量の設定した値に達すると2台目が自動的に記録を始めます。2台目のレコーダーの記録容量の残量が設定した値に達すると1台目が自動的に記録を始めます。以降、交互に記録を続けます。



参考

下図のようにCALL OUT端子を使用することで、1台目のレコーダーに不具合が発生し記録が継続できない場合でも、2台目のレコーダーが記録を開始するよう設定することができます。

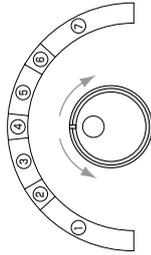


IV

いろいろな再生

- ◆ **静止画再生**
 - 再生中に一時停止ボタンを押す。
 - ・静止画再生となります。もう一度押すと元の再生に戻ります。
 - ・1画の静止画表示中にカメラボタンを押すと、押したチャンネルの映像を順方向に検索し、即座に表示させることができます。

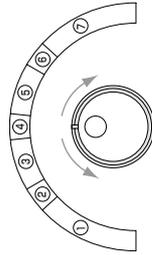
- ◆ **シャトル再生**
 - シャトルを使って可変速に再生の速さの調整ができます。
 - 再生中に一時停止ボタンを押して静止画にしてからシャトルを回す (※1)。
 - ・再生の速さはシャトルを回す角度により異なります。



- ◆ **シャトルホールド**
 - 再生中 (または逆再生中) に一時停止ボタンを押して、静止画再生にします。次に任意の検索方向にシャトルを回し、希望する早送り (早戻し) をします。早送り (早戻し) の動作を確認したら、シャトルをその角度で保持したまま、一時停止ボタンを押してください。シャトルを元に戻しても、サーチ速度を保持することができます。

- ◆ **ダイレクトシャトル再生**
 - 再生中または逆再生中にシャトルを回すとダイレクトシャトル再生になります。
 - 再生中にシャトルを回す (※2)。

- ① 逆方向のスピードサーチ (1MB単位)
- ② 逆方向のスピードサーチ (5コマ飛ばし)
- ③ 逆方向のスピードサーチ (3コマ飛ばし)
- ④ 静止画再生
- ⑤ 順方向のスピードサーチ (3コマ飛ばし)
- ⑥ 順方向のスピードサーチ (5コマ飛ばし)
- ⑦ 順方向のスピードサーチ (1MB単位)



- ※1
 - ◆ シャトルを元に戻すと静止画再生になります。
 - ◆ シャトルを元に戻すと通常再生になります。

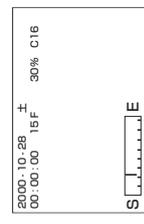
参考 異なる記録時間隔が混在した映像を再生すると、通常再生に戻ったとき、記録した時間隔と異なる早さの再生になることがあります。

- ◆ **コマ送り再生**
 - 静止画再生中にジョグを右または左に回す。
 - ・右に回すと順方向のコマ送り再生となり、左に回すと逆方向のコマ送り再生となります。右に回し続けると順方向の連続コマ送り再生となり、左に回し続けると逆方向の連続コマ送り再生となります。回すのを止めると静止画再生になります。
 - ・1画表示のコマ送りのとき、表示しているチャンネルの映像を検索しながらコマ送りするため、ジョグを早く回した場合、コマ送り動作が遅いつかなくなることがあります。

- ◆ **逆再生**
 - 停止中に逆再生ボタンを押す (※1)。
 - ・逆方向の再生になります。

- ◆ **再生間隔の変更 (※2)**
 - 停止中に再生ボタン (逆再生ボタン) を押すと、記録時に設定した基本記録間隔と同じ間隔で再生されますが、再生中 (逆再生中) に、再生または逆再生ボタンを押すと、再生する間隔を変更することができます (再生間隔を変更すると音声は再生されません (※3))。
 - ・再生ボタンを押すと、基本記録間隔の設定項目の順方向に、逆再生ボタンを押すと逆方向に切り換わります。
 - ・動きの早い記録をゆっくりと連続再生したいとき、長い記録間隔で記録した映像を早く再生したいときに便利です。

- ◆ **高速早送り / 早戻し再生**
 - 停止中にシャトルを右または左に1秒以上回すと、高速早送り、または早戻し再生になり、画面左下にインジケータが表示されます。S (スタート) と E (エンド) が HDD の容量の初端と終端を表し、現在位置が「|」で表示されます。



- ◆ **画面表示設定と再生動作の関係**
 - ・1画表示
 - 記録時の記録間隔に有効カメラ台数をかけた間隔で画面が更新されます。
 - ・4画表示
 - 分割表示された一つの子画面ごとに、記録時の記録間隔に有効カメラ台数をかけた間隔で画面が更新されます。表示していないカメラの映像を再生しているときには、画面表示は静止します。
 - ・9画面表示
 - 記録時の記録間隔で各子画面が1コマずつ更新されます。表示していないカメラの映像を再生しているときには、画面表示は静止します。
 - ・16画面表示
 - 記録時の記録間隔で各子画面が1コマずつ更新されます。

- ※1
 - ◆ 電源を入れた後または記録した直後、最初に逆再生をした場合は記録したもっとも新しい映像から再生を始めています。

- ※2
 - ◆ <表示設定>メニューの「表示形式」設定を2または3にし、1画面表示にするると、再生間隔が画面上で確認できます。

- ※3
 - ① 一度再生間隔を変更すると、元の再生間隔に戻しても音声は再生されなくなり、再度再生してください。元の再生モードに戻り、音声も再生されます。

IV

いろいろなサーチ

◆ <タイムデットサーチ> — タイムデットサーチの方法は、基本操作編 17 ページをごらんください。

◆ <インデックスサーチ> — アラーム記録 (68 ページ参照) をとると、自動的にインデックス信号が HDD に書き込まれます。カメラ番号に対し、このインデックス信号を検知して、その信号のあるところで静止画再生して頭出しをします (※1)。

例) カメラ番号 ⑥ に対し、インデックス数 10 を入力してサーチをする。

1	<p>サーチボタンを押して <サーチ選択> × を表示させる。</p> 
2	<p>カーソルが「表示カメラ番号選択」にあることを確認し、シャトルを右に回す。 ・設定項目が点滅します。</p>
3	<p>ジョグを回して、「⑥」を表示させ、シャトルを右に回す。 ・点滅が止まります。</p>
4	<p>ジョグを回してカーソルを「インデックスサーチ」まで移動させ、シャトルを右に回す。 ・インデックスサーチが表示されます。</p>
5	<p>ジョグを回して、希望するインデックス数を表示させ、シャトルをサーチする方向 (順方向は右 / 逆方向は左) に回す (※2)。 ・インデックスサーチが始まり、設定したインデックス数の映像が「表示カメラ運用選択」で「オール」を選択した場合 16 画面静止画表示され (※3)、カメラ番号を個別に選択した場合 1 画面静止画表示されます。 ・インデックス信号が記録されていないときはインデックス数がただただ点滅します (サーチを裏行しません)。通常画面に戻るときはサーチボタンを押してください。</p> 
6	<p>サーチ結果を再生する (※4)。 ・サーチ結果が表示された後、再生ボタン、または一時停止ボタンを押してください。</p>
7	<p>再生、静止画再生を止めるときは、停止ボタンを押す。 ・通常画面に戻るときはサーチボタンを押してください。</p>

※1 希望するインデックス数を 99 まで指定することができます。

※2 DDS テープの場合、順方向のみインデックスサーチができます。

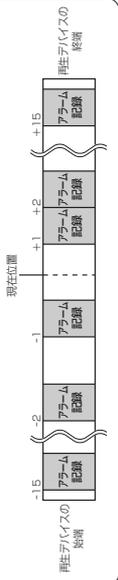
※3 「表示カメラ番号選択」設定で「オール」を選択した場合、サーチ結果を 16 画面表示から希望するカメラ番号の映像を選んで 1 画面表示させるには、先ずサーチボタンを押してサーチ設定画面を消してください。

※4 サーチ結果が表示中は、画面切り換えができません。

※5 サーチ結果が表示されるまでは本体操作を行わないでください。再生については、運用編「いろいろな再生」74、75 ページを参照してください。

※6 サーチをせずにサーチ画面から抜けたいときは、サーチボタンを押してください。

現在位置は再生中または再生を行って停止している位置を表しています。「+」記号のアラーム記録部分を頭出しするときは、シャトルを右に回して順方向へのインデックスサーチを行い、「-」記号のアラーム記録部分を頭出しするときは、シャトルを左に回して逆方向へのインデックスサーチを行います。



◆ <スキップサーチ> — 自動的に書き込まれたインデックス信号を検知して、指定したカメラ番号に対しその信号のあるところで映像を 5 秒ずつ再生して希望する映像を探し出す方法です (※1)。

1	<p>サーチボタンを押して <サーチ選択> × を表示させ、インデックスサーチのステップ 2、3 の操作を繰り返して、「表示カメラ番号選択」を設定する。</p> 
2	<p>ジョグを回してカーソルを「スキップサーチ」まで移動させ、シャトルを右に回す。 ・スキップサーチ画面が表示されます。</p> 
3	<p>シャトルをサーチする方向 (順方向は右 / 逆方向は左) に回す。 ・インデックス信号が始まり (※2)、インデックス信号があるところの映像を 5 秒ずつ再生します (※3)。「表示カメラ番号選択」設定で「オール」を選択した場合 16 画面表示再生し、カメラ番号を個別に選択した場合は 1 画面表示再生します。</p> 
4	<p>スキップサーチを止めるときは、停止ボタンを押す。</p>

※1 サーチ結果を再生するには、希望する映像で再生ボタンを押してください。

※2 「表示カメラ番号選択」設定で「オール」を選択した場合、スキップサーチ中は、1 画面切り換えはできません。

※3 インデックス番号の記録状態によっては、スキップサーチできないことがあります。

※4 スキップサーチについての注意
5 秒以下のアラーム記録を含む記録内容を逆方向スキップサーチした場合、その 5 秒以下のアラーム記録部分を繰り返し再生する場合があります。その場合、停止ボタンを押して一度スキップサーチを止め、該当部分を逆再生等で越えてから再度逆方向スキップサーチを行ってください。

※5 スキップサーチを再生するときは、停止ボタンを押す。

※6 スキップサーチを再生するときは、停止ボタンを押す。

IV

いろいろなるサーチ (つづき)

◆ <アラームリストサーチ>

アラーム記録 (68ページ参照) が始まるとアラーム記録開始時刻がアラームリストに登録されます (※1)。アラームリストに登録されたアラーム記録開始時刻の中から、指定したカメラ番号の希望する映像を選択し静止画再生する方法です。

1

サーチボタンを押して<サーチ選択>メニューを表示させ、インデックスサーチのステップ2、3の操作を繰り返して、「表示カメラ番号選択」を既定する。

<サーチ選択>

- ▶表示カメラ番号選択
- ▶タイムスタートサーチ
- ▶インデックスサーチ
- ▶スキップサーチ

2

ジョグを回してカーソルを「アラームリストサーチ」まで移動させ、シャトルを右に回す。

- ・表示カメラ番号選択で選んだカメラCHが表示されます。「ALL」を選択した場合、全てのカメラCHでリストアップされます。
- ・<アラームリストサーチ>画面が表示されます。

<サーチ選択>

- ▶表示カメラ番号選択
- ▶タイムスタートサーチ
- ▶インデックスサーチ
- ▶アラームリストサーチ

3

ジョグを回して希望するアラームリスト番号にカーソルを合わせ (※2)、シャトルを右に回す。

- ・アラームリストサーチが始まり、選択した時刻 (またはその時刻に一番近い記録) の映像が静止画再生されます (※3)。「表示カメラ番号選択」設定で「オール」を選択した場合16画面表示再生し、カメラ番号を個別に選択した場合は1画面表示再生します。

<アラームリストサーチ>

No.	DATE	TIME
0003	01-01-26	18:54:25
0002	01-01-26	18:56:40
0001	01-01-26	18:20:00

4

1画面表示切り換え、再生を止むときは、インデックスサーチのステップ6、7を行ってください。

5

再生、静止画再生を止むときは、停止ボタンを押す。

- ・通常画面に戻るときはサーチボタンを押してください。

いろいろなるサーチ (つづき)

◆ <先頭サーチ>

記録の開始部分を知り、静止画再生して頭出しする方法です (※1)。

1

サーチボタンを押して<サーチ選択>メニューを表示させる。

<サーチ選択>

- ▶表示カメラ番号選択
- ▶タイムスタートサーチ
- ▶インデックスサーチ
- ▶スキップサーチ

2

ジョグでカーソルを「先頭サーチ」まで移動させ、シャトルを右に回す。

- ・<先頭サーチ>画面が表示されます。

3

<先頭サーチ>画面が表示されたら、シャトルを右に回す。

- ・先頭サーチが始まり記録の開始部分の静止画を1画面で表示します。
- ・サーチ結果が表示されるまでは本体操作を行わないでください。

4

停止ボタンを押す。

- ・通常画面が表示されます。

◆ SCSI ID 番号の割り当て

ID0からID3にメインHDDを割り当てます。ID4にはバックアップ機器を割り当て、ID5にはコピー機器を割り当てます。

◆ 再生デバイスの選択

本体前面部にある再生デバイスボタンを使って、再生するデバイスを選択することができます。選択されたデバイスの再生デバイスインジケータが点灯していることを確認してください。

1

電源ボタンを押して本体の電源を入れる。

2

コピー機器またはバックアップ機器のメディアを入れる (※2)。

3

本体前面部の再生デバイスボタンを押し、再生デバイスを選択し、再生デバイスインジケータを点灯させる (※3)。

4

再生ボタンを押す。

- ・静止画面が表示されたあと再生が始まります (※4)。

5

再生を止むときは停止ボタンを押す。



※1

サーチ結果を再生するには、再生ボタン、または一時停止ボタンを押してください。

※2

コピー機器またはバックアップ機器のメディアの再生中に再生ボタンまたは逆再生ボタンを押して、記録時間間隔と異なる間隔で再生することができません。ただし、再生メディアの転送速度によってはスムーズに再生できない場合があります。

※3

接続したデバイスのアクセスランプが消えていることを確認してください。

※4

① コピー機器メディアの再生中も、シャトルによるいろいろなる再生やスキップサーチはできますが、再生画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。

② DDS等テープメディア系を外部記録機器として接続した場合、メディアの記録状態によっては、再生、取出しなどに数分かかることがあります。

IV

コピーのしかた

- ◆ HDD からコピー機器へ記録内容をコピーする
本機はコピー機器（※1）の指定をして、HDDの記録内容をコピーすることができます。また、コピー範囲の設定もできます。
- ・<コピー>>メニューの「コピー先指定」設定を「HDD→コピー機器」にしてください。
- ・<コピー>>メニューの「上書きコピー」設定を「切」（※2）に設定します。コピー画面の設定のしかたは、19ページをごらんください。
- ◆ コピー機器からHDDへ記録内容をリストアする
本機はコピー機器から記録内容をHDDにリストアすることができます。また、リストア範囲の設定もできます。
- ・<コピー>>メニューの「コピー先指定」設定を「コピー機器→HDD」にしてください。
- ・<コピー>>メニューの「上書きコピー」設定は「入」のみ選択可能です。
- ◆ バックアップ機器からHDDへ記録内容をリストアする
本機はバックアップ機器（※3）から記録内容をHDDにリストアすることができます。また、リストア範囲の設定もできます。このリストアでは「入」のみ選択可能です。
- ◆ コピー範囲の設定
・コピー範囲の自動調整
・コピー範囲の手動設定のしかた

1 **コピー範囲の設定**
 ・<コピー>>画面が表示されます。
 ・ジョグとシャトルでコピー先を指定する。

2 **ジョグを回してカーソルを<コピー範囲自動調整>まで移動させ、シャトルを右に回して「手動」を点滅させる。**

3 **シャトルを右に回して「手動」を確認し、ジョグでカーソルを開始時刻まで移動させ、シャトルを右に戻す。**

4 **ジョグとシャトルで希望する開始・終了時刻を設定する。**

5 **ジョグを回してカーソルを「実行」まで移動させ、シャトルを右に戻し、「入」を点滅させる。**

6 **シャトルを右に回してコピーまたはリストアを実行する（※4）。**

コピー範囲の設定時に全くデータの無い日を含んで設定すると警告表示「コピーサイズエラー」が表示されます。必ず、データのある日時を指定してください。

※1
! 記録内容をコピーする際は、コピー機器がID5に接続されている必要があります。ID番号については22ページをごらんください。

※2
! 「切」を設定するとすでに記録されているデータのあるところからコピーを行います。「入」を選択すると、前に記録している情報をすべて消去の上、指定範囲のコピーを行います。

※3
! 記録内容をバックアップする際は、バックアップ機器がID4に接続されている必要があります。ID番号については22ページをごらんください。

※4
! コピー範囲が、接続されている機器のメディア空き容量を上回るときはコピー実行時に警告表示のサイズエラーが表示されます。そのときはコピー範囲を狭めて再設定するか、新しいメディアを投入してください。ワーニング表示に付随しては108ページをごらんください。また、コピー範囲が「オール」に設定されているときコピーボタンを押すと、自動的にコピー範囲を読み込みますが、これはコピーが開始されたということではありません。

多量 本機はコピー動作中にHDDへの記録が可能です。

! コピー中にコピー設定した範囲が、上書き記録されそうなときは、警告および障害表示がでます。追い越されたときはCALL OUT端子からCALL OUT信号を出し、コピーを停止します。

・コピー範囲の自動調整

「コピー範囲自動調整」の設定を「オール」または「A/B」または「A/B」にするとコピー範囲設定を簡略化することができます。設定方法は80ページのステップ1から3をごらんください。

「オール」を選択すると、選択時点でのHDDの記録内容の開始時刻と終了時刻が表示されます。「オール」は80ページのステップ2で選択したあとステップ5および6を行い設定してください。（「オール」選択時、外部記録機器によってはコピーの開始・終了時刻の取得に時間がかかる場合があります。）

「A/B」を選択するとユーザーボタンで設定された開始時刻と終了時刻を表示します。ユーザーボタン設定は34ページをごらんください。「A/B」は80ページのステップ2で選択したあとステップ5および6を行い設定してください。

上記自動調整で開始時刻と終了時刻を自動設定した上で80ページのコピー範囲の手動設定を行うことにより、範囲の限定を行うことができます。

・データ再生中に本機前面部の一時停止ボタンを押して静止画面再生させコピーボタンを押すと静止させた時刻が<コピー>>メニューの開始と終了時刻に設定されます。

・コピー範囲の自動調整

このコピー方法ではコピー範囲の片側を基準に、コピー先メディアの空き容量に合わせてコピーサイズを自動調整することが可能です。

- a) 開始点指定（※1）
 - ・コピー開始時刻を手動設定し、終了時刻をコピー先メディアの空き容量にあわせ自動調整する。
 - ・開始時刻を指定してください。
 - ・終了時刻を「* * * * *」に設定してください。
- b) HDDの最新映像からコピー可能なだけコピーする（※2）
 HDD記録の終わりから、コピー先メディアの空き容量分を自動調整します。
 - ・開始・終了時刻を「* * * * *」に設定してください。

・「* * *」の設定方法

1 80ページ、「コピー範囲の手動設定のしかた」のステップ1から3を行う。

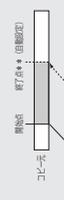
2 シャトルを右に回してコピー開始・終了時刻表示の「年」表示を点滅させ、ジョグで「* * *」を表示させる。

a)の開始点指定をする場合は、終了点の年の位で、b)の方法でコピーする場合は開始点の年の位を「* * *」表示にします。開始点の年の位を「* * *」に設定すると、自動的に終了時刻表示も「* * *」表示になります。

3 80ページ、「コピー範囲の手動設定のしかた」のステップ5と6を行い、コピーを実行する。

※1
! コピー開始点の自動調整をしたとき、実際のコピーは下記のように行われます。

1) コピー元のデータがコピー先のデータより大きい場合。



2) コピー元のデータがコピー先のデータより小さい場合。

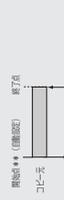


※2
! HDDの最新映像からコピー可能なだけコピーする設定をしたとき、実際のコピーは下記のように行われます。

1) コピー元のデータがコピー先のデータより大きい場合。



2) コピー元のデータがコピー先のデータより小さい場合。



IV

バックアップのしかた

◆ **バックアップ動作**——本機前面部のバックアップボタンを押すことにより、HDDの未バックアップ部分の記録をバックアップ機器へ記録することができます。実際のバックアップは下図のように行われます。



このようなバックアップ動作は記録中にも実行できますが、下記の制約事項がありますのでご注意ください。

記録中のバックアップ制約事項

1. **同時バックアップが可能な記録モード**
記録中に同時バックアップが可能な記録モードは外部記録機器の性能（データ書き込み速度）によって左右されます。同時バックアップが可能な記録モードについては下記に参考値として、HP社 C1556A ドライブ（ODS3）を接続した場合の、同時バックアップが可能なモードの範囲（メインHDDを接続した時にもモードは同じ）を示します。

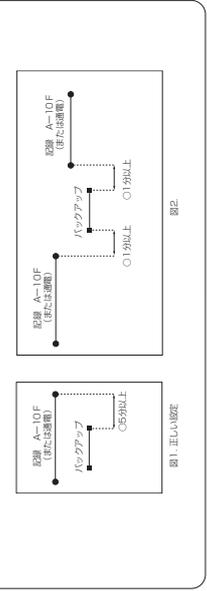
モード	30F	15F	10F	7.5F
スーパー	不可	不可	不可	不可
ハイ	不可	不可	不可	不可
スタンダード	不可	不可	不可	不可
ベータブック	不可	不可	不可	不可
ロー	不可	不可	不可	不可

このように、同時バックアップ可能な範囲は記録機器固有の書き込み速度により決まりますので、記録機器の種類・性能により変わりの可能性があります。

■：音声無しで同時バックアップ可能な範囲
□：音声有りでも同時バックアップ可能な範囲

2. **タイマー同時バックアップ指定時の注意事項**
本機はバックアッププログラムの指定は再知動作として指定するほかに、「記録」・「連電」プログラムの重ねての指定を行うことができます。この際のプログラム設定時の注意事項を示します。

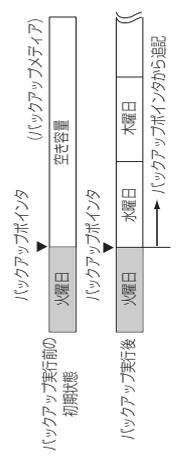
- 1) タイマーバックアップ設定にて「上書B」、「上書B→EJ」、「追記B→EJ」設定を同じ日時に重複して指定しないでください。
 - 2) 使用する記録機器により制約事項が発生する場合がありますので、運用前にプログラムを作成の上、テスト動作を十分に行うことをおすすめします。
- ※）バックアップ機器にテープ記録機器など、起動後に時間を要する機器を接続時の注意（図1）のようにしてください。
・バックアップ指定の記録時間+5分（外部記録機器の起動停止時間）を自己モード変更を行わない
・バックアップ毎指定時間+1分以上を空け、他の動作プログラムを設定するようしてください。



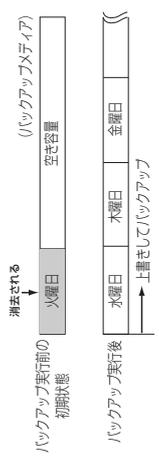
・バックアップの中断
バックアップ中にバックアップボタンを押してください。バックアップを中断します。このときバックアップポイントはバックアップを中断した点まで移動しますので、次回バックアップ開始時はそこからバックアップ動作が始まります。バックアップボタンが点滅中は中断を受け付けません。ボタンが点滅するまでお待ちください。

◆ **バックアップ実施時の各設定**——
・バックアップ形態の選択
＜時刻・初期設定＞メニューの「上書きバックアップ」設定で「入」か「切」の設定ができます。初期設定は「切」に設定されています。ジョグ・シャトルを使って希望する設定を確定してください（37ページ参照）。また、タイマー予約で上書きバックアップを設定する場合は、59ページ「※4」の注意事項もご確認ください。

a) 切：以前途中でバックアップメディアに書き込まれた映像の後の空部分に追記してバックアップさせる。



b) 入：以前バックアップメディアに書き込まれた映像を消去の上、すべて上書きしてバックアップさせる。



・バックアップ完了時のバックアップメディア自動イジェクトについて
バックアップ終了後にバックアップメディアを自動的にイジェクトする設定を行うことができます。設定の方法は38ページをごらんください。また、タイマー予約でバックアップ終了後にメディアを自動的にイジェクトさせる場合は、59ページ「※4」の注意事項もご確認ください。

＜時刻・初期設定＞メニューの「バックアップメディア自動イジェクト」を「入」に設定すると、メディアが自動的にイジェクトされます。条件は下記のとおりです。

- 1) バックアップボタンを押してバックアップをしているときにバックアップメディアの記録容量が無くなったとき。
- 2) バックアップボタン操作によりバックアップを開始したあと、再び押して解除したとき。
- 3) バックアップ中に記録動作障害や、メディアエラー、システムエラーが発生したとき。

IV

バックアップのしかた (つづき)

◆ **タイマー/バックアップ**
 タイマー/バックアップはメインHDDの記録内容のうち、未バックアップ部分のバックアップをタイマー管理で実行する方法です。タイマー記録中の時間帯でも同時にバックアップを行うことができます (※1)。

例) タイマー予約運用P2のプログラム番号5番に、毎日00:00から05:00の間、追記バックアップを行う (一回のバックアップで全記録をバックアップする)。(※2)

P1	
＜タイマー予約設定＞	
▶ 予約運用	
1 運用	P1
2 運用	P2
3 運用	P3

1 **設定メニュー**を表示させ、**ジョグ**を回して**カーソル**を「**タイマー予約設定**」まで移動させ、**シャトル**を右に回す。
 ・<>タイマー予約設定>画面が表示されます。

P1	
＜タイマー予約設定＞	
▶ 予約運用	
1 運用	P1
2 運用	P2

2 **カーソル**が「**予約運用**」にあることを確認し、**シャトル**を右に回す。
 ・設定項目が点滅します。

P2	
＜タイマー予約設定＞	
▶ 予約運用	
1 運用	P1
2 運用	P2

3 **ジョグ**を回して「**P2**」を点滅させ、**シャトル**を右に回す。
 ・点滅が止まります。

P2	
＜タイマー予約設定＞	
▶ 予約運用	
1 運用	P1
2 運用	P2
3 運用	P3
4 運用	P4
5 運用	P5

4 **ジョグ**を回して**カーソル**を「**運用 P2**」まで移動させ、**シャトル**を右に回す。
 ・<>タイマー予約設定>P2画面が表示されます。

P2	
＜タイマー予約設定＞	
▶ 予約運用	
1 運用	P1
2 運用	P2
3 運用	P3
4 運用	P4
5 運用	P5

5 **ジョグ**で**カーソル**を**プログラム番号5**まで移動させ、**シャトル**を右に回し**曜日**の項目を点滅させる。
 ・バックアッププログラムは、最も大きいプログラム番号に組んでください。
 ・ジョグを回して「**毎日**」を点滅させ、**シャトル**を右に回して確認してください。
 ・タイマー予約設定メニューを戻すまで、上記作業を繰り返し、終了時刻を設定してください。

P2	
＜タイマー予約設定＞	
▶ 予約運用	
1 運用	P1
2 運用	P2
3 運用	P3
4 運用	P4
5 運用	P5
6 運用	連日B
7 運用	
8 運用	

6 **動作**の項目が点滅したら、**ジョグ**を回して「**連日B**」を点滅させ、**シャトル**を右に回して確認する (※3)。
 ・タイマー/バックアップは右図のように組まれます。

P2	
＜タイマー予約設定＞	
▶ 予約運用	
1 運用	P1
2 運用	P2
3 運用	P3
4 運用	P4
5 運用	P5
6 運用	連日B
7 運用	
8 運用	

7 **シャトル**を左に回す、または**設定ボタン**を押す。

便利な機能について

◆ **停電復帰記録 (※1)**
 記録中に停電しても、停電復帰後再び記録モードになります。タイマー記録中あるいはアラーム記録中 (アラーム記録時間が接点のときを除く) に停電すると、設定時間内であれば停電復帰後に記録モードになります。停電復帰後、モニターの時刻表示の右に「X」が表示され警告消去ボタンを押すことにより消去されます。

◆ **停電時刻表示 (※2)**
 記録中に停電すると、停電開始時刻が記録されるので停電開始時刻を確認することが出来ます (電源が切れてしまったときの停電は記録されません)。詳細は運用編35ページ、「停電ログリスト」をごらんください。

◆ **停電準備回路**
 本機は停電準備回路を内蔵していますので、48時間以上の充電で (フル充電) 日付・時刻の設定は1カ月間保たれます。また、タイマー記録やメニューの設定も保たれます。長い期間電源プラグがコンセントから外れていると時刻精度が多少悪くなります。このような状態が続いた場合は、現在時刻設定を確認することをおすすめします。

◆ **リセットボタン**
 本体後面部にあるリセットボタンを (ポールの先などで) 押し、現在時刻が取り消され、初期状態となり電源が切れます。

◆ **簡易ロック機能**
 電源が入った状態でロックボタンを (つまようじの先などで) 押し、ボタンやジョグおよびシャトルの操作ができなくなり、現在の設定状態に固定されます。ロック状態を解除するには、もう一度ロックボタンを押し、ロック中にはロックインジケータが点灯します。電源が切れている状態では機能しません。また、この機能はパスワードロック機能を設定するまで有効で、以降パスワードロックを1度設定すると簡易ロック機能は無効となります。

◆ **パスワードロック機能**
 ロックボタンを (ポールの先などで) 5秒以上押すことによって、パスワードの登録をすることが出来ます。この登録を済ませ本機にロックをかけた後、正しいパスワードを入力しない限りカメラ切り換え部以外の操作をすることはできません (※3)。電源が切れている状態では機能しません。

例) パスワードをはじめ登録するとき。

1 **ロックボタンを5秒以上押しして<パスワード設定>メニューを表示させる。**
 ・<パスワード設定>画面が表示され1に数字4桁を入力し (※4) シャトルを右に回す。

2 **カーソルが2に移動し1で入力したパスワードを再入力してください。**
 ・正しくパスワードが入力されると通常画面に戻ります。
 ・違うパスワードを入力した場合、「パスワードエラー」が表示されます。警告消去ボタンを押し警告を消去し、再度パスワードを入力してください。

※1	記録中に停電があったときは、再生映像が一部乱れたり、サーチャ機能が正常に動かないことがあります。
※2	最大50回の停電まで表示することができます。
※3	設定したパスワードを忘れてしまった場合は、サービスセンターへご相談ください。
※4	パスワードの入力は、カメラCH番号1～9までの数字と拡大ボタンに0が割り当てられています。入力途中でパスワードを変更する場合は、入力間違いをした場合は、警告消去ボタンでクリアできます。

IV

便利な機能について (つづき)

パスワードロックを設定する場合は、ロックボタンを押してください。
例) パスワードロック機能を解除する。

1 バスワードロック機能中に、ロックボタンを押して<パスワードロック>メニューを表示させる。

- ・<パスワードロック>画面が表示されパスワードを入力しシャトルを右に回す。
- ・正しくパスワードが入力されると電源画面に戻ります。
- ・違うパスワードを入力した場合、「パスワードエラー」が表示されます。警告消去ボタンを押して警告を消去し、再度パスワードを入力してください。

・メニューアイコン設定

本機は必要に応じて複雑化したメニュー設定をID5に接続したRDDメディアのまま保存することができます。また、必要に応じてRDDからメニュー設定を読み込むこともできます。メニュー設定保存は、RDDメディア1枚に1セット行えます。同一RDDメディアに対しメニュー設定の保存を繰り返した場合は、すべて上書きされたメニュー設定が1セットのみ残ります。また、RDDメディアから本機へメニュー設定を読み込む場合もすべて上書きされます。

例) RDDからメニュー設定を読み出し、設定変更する。

1 **バックアップボタンを押しながら電源ボタンを押し、本機を起動させる** (※1)。
・<メニューアイコン 設定>画面が表示されます。

2 **カーソルが「RDDからメニュー設定を読み出し、設定変更」にあることを確認し、シャトルを右に回す**。

- ・シャトルを右▶▶▶に回すと実行します。

3 **シャトルを2回右に回す**。

- ・「退出し中...」を表示し読み込みを開始し、完了すると「完了しました」と表示します。

4 **「完了しました」と表示されたらシャトルを左に回す**。

- ・「完了しました」が消えます。

5 **ジョグを回してカーソルを「電源オフ」まで移動させ、シャトルを右に回す**。

- ・本機の電源が切れます。

※1 **電源オフ**のみ表示されます。
ID5に外部接続機器が接続されていない場合は、電源オフのみ表示されます。

1 設定中は電源ボタンが点滅し、他の操作は一切受け付けません。

1 **バスワードロック画面中に、ロックボタンを押して<パスワードロック>メニューを表示させる**。

- ・<パスワードロック>画面が表示されパスワードを入力しシャトルを右に回す。
- ・正しくパスワードが入力されると電源画面に戻ります。
- ・違うパスワードを入力した場合、「パスワードエラー」が表示されます。警告消去ボタンを押して警告を消去し、再度パスワードを入力してください。

・メニューアイコン設定

本機は必要に応じて複雑化したメニュー設定をID5に接続したRDDメディアのまま保存することができます。また、必要に応じてRDDからメニュー設定を読み込むこともできます。メニュー設定保存は、RDDメディア1枚に1セット行えます。同一RDDメディアに対しメニュー設定の保存を繰り返した場合は、すべて上書きされたメニュー設定が1セットのみ残ります。また、RDDメディアから本機へメニュー設定を読み込む場合もすべて上書きされます。

例) RDDからメニュー設定を読み出し、設定変更する。

1 **バックアップボタンを押しながら電源ボタンを押し、本機を起動させる** (※1)。
・<メニューアイコン 設定>画面が表示されます。

2 **カーソルが「RDDからメニュー設定を読み出し、設定変更」にあることを確認し、シャトルを右に回す**。

- ・シャトルを右▶▶▶に回すと実行します。

3 **シャトルを2回右に回す**。

- ・「退出し中...」を表示し読み込みを開始し、完了すると「完了しました」と表示します。

4 **「完了しました」と表示されたらシャトルを左に回す**。

- ・「完了しました」が消えます。

5 **ジョグを回してカーソルを「電源オフ」まで移動させ、シャトルを右に回す**。

- ・本機の電源が切れます。

通信設定

◆ <通信設定> 通信機能選択では本機に接続する通信機器の設定をすることができます。
・RS-232C 設定
本機はRS-232C端子のついたパーソナルコンピュータと接続することにより、パーソナルコンピュータによる遠隔操作や付加情報の重量記録 (※1) ができます。
・転送速度

例) 転送速度を4800BPSに設定する。
<設定メニュー>を表示させ、ジョグを回してカーソルを「通信設定」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・<通信設定>画面が表示されます。

2 **カーソルが「RS-232C 設定」にあることを確認し、シャトルを右に回す**。
・<RS-232C 設定>画面が表示されます。

3 **カーソルが「転送速度」にあることを確認し、シャトルを右に回す**。
・設定項目が点滅します。

4 **ジョグを回して「4800」を点滅させ、シャトルを右に回して確定する**。
・点滅が止まります。

5 **設定ボタンを押す**。
・<RS-232C 設定>画面が消えます。

・TCP/IP 設定

ここでは、接続先のIPアドレスを特定させるためのIPアドレス、サブネット・マスクの設定やMACアドレスの参照ができます (※2)。

1 **転送速度設定ステップ1を行い、<通信設定>画面を表示させる**。

2 **ジョグでカーソルを「TCP/IP 接続設定」まで移動させ、シャトルを右に回す**。

- ・<TCP/IP 接続設定>画面が表示されます。

3 **カーソルが「IPアドレス」にあることを確認し、シャトルを右に回す**。
・設定項目を点滅させアドレスを入力しシャトルを右に回して確定する。

4 **シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す**。

はじめに

基本操作編

設置編

運用編

コマンドコード

記録時間表

故障かな?

用語集

さくいん

※1 **キャラクター** (文字列) 情報を映像とともに記録することが可能です。

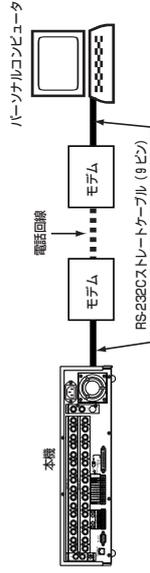
※2 **TCP/IP 通信機能**を有効にする場合は、本機前面部の通信ボタンを押してください。

IV

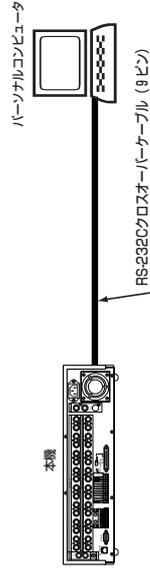
パーソナルコンピュータとの接続

◆ パーソナルコンピュータとの接続 (※1) ————
 本機はRS-232C端子のついたパーソナルコンピュータを接続することにより、パーソナルコンピュータによる遠隔操作および追加情報の重量記録ができます。

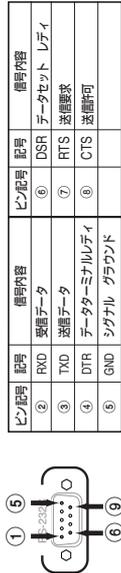
・接続 (モデムを介しての接続)



・ダイレクト接続 (※2)

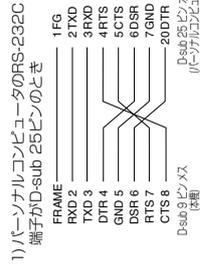


・RS-232C端子

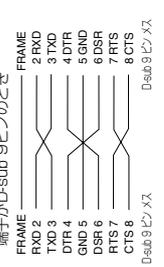


・RS-232Cケーブル

本機のRS-232C端子とパーソナルコンピュータのRS-232C端子を接続するときは、下記のRS-232Cクロスオーバーケーブルをご使用ください。



2) パーソナルコンピュータのRS-232C端子がD-sub 9ピンのとき



コマンドコード表について

・通信モードの設定

通信モードの設定は「通信設定」>「メニューの [RS-232C 設定]」で設定します (※1)。接続するモデムやパーソナルコンピュータの設定が同じになるように設定してください。なお、本機が設定可能な値は下図を参考にしてください。

項目	画面表示	設定可能値
① 送受データの通信速度	転送速度	1200/2400/4800/9600
② データビット長	データビット	8ビット/7ビット
③ パリティ処理	パリティ	無/奇数/偶数
④ ストップビット長	ストップビット	1ビット/2ビット
⑤ ラインフィード処理	CR/CR-LF	CR/CR-LF

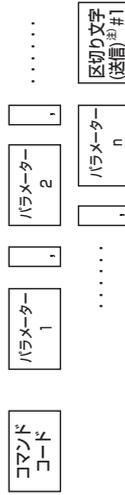
※その他の設定項目はパーソナルコンピュータの設定を下記のようにしてください。

項目	画面表示
① Xコントロール	なし
② S/ラメーター	なし
③ CS-RS/ハンドシェイク	あり

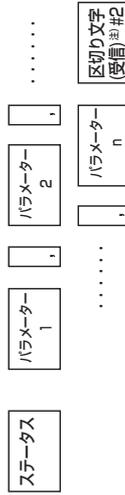
◆ コマンドコードおよびステータスの様式

パーソナルコンピュータによる本機の操作 (コマンド) および本機の設定状況のステータスは、コマンドコード表およびエラーコード表により行われます (※2)。

1) コマンド: パーソナルコンピュータから本機への命令



2) ステータス: 本機からの返答 (パーソナルコンピュータ上での表示)



注) #1 RS-232C設定画面のCR・LFの設定を「CR」に設定したときは、キャリッジリターンコード (ODH) を入力します。RS-232C設定画面のCR・LFの設定を「CR-LF」に設定したときは、キャリッジリターンコード (ODH) とライフラインコード (OAH) を入力します。

注) #2 RS-232C設定画面のCR・LFの設定を「CR」に設定したときは、キャリッジリターンコード (ODH) を出力します。RS-232C設定画面のCR・LFの設定を「CR-LF」に設定したときは、キャリッジリターンコード (ODH) とライフラインコード (OAH) を出力します。

一つのコマンドを送出したあとに80.1秒以上間を空けてから、次のコマンドを送出してください。

・実施例

例1) 本機の電源を入れる。(RS-232C設定画面のCR/CR-LFの設定を「CR」に設定したとき)

パーソナルコンピュータから送信するコマンド	パーソナルコンピュータから受信するコマンド	意味
PW [CR]	電源を入にするコマンド送出	
RC [CR]	デジタルビデオレコーダーがコマンドを受け取った	
EX [CR]	デジタルビデオレコーダーがコマンドを実行した	

IV

コマンドコード表

記号の説明

#1: RS-232C 設定(RS-232C SETTING)画面の CR/OR・LF の設定を「CR」に設定したときは、キャリッジリターンコード(ODH)を入力します。「CR・LF」に設定したときは、キャリッジリターンコード(ODH)とラインフィードコード(OAH)を入力します。
#2: RS-232C 設定(RS-232C SETTING)画面の CR/OR・LF の設定を「OR」に設定したときは、キャリッジリターンコード(ODH)が出力されます。「CR・LF」に設定したときは、キャリッジリターンコード(ODH)とラインフィードコード(OAH)が出力されます。
*1 個につき 1 つの数字 (または文字) が入ります。
注 1) キャラクターサーチに関するコマンドは 102 ページをご覧ください。

Table with columns: 分類 (Classification), コマンド (Command), 機能 (Function), ステータス (Status). Rows include commands like VC? (Vertical Cursor), SA (Serial Access), PW (Power), SP (Stop), PB (Play), RC (Record), PU (Pause), FA (Fast Advance), RA (Reverse Advance), PF (Play/Fast), PR (Play/Record), RW (Reverse Write), TR (Time Return), LO (Lock), LM (Lock Memory), PO (Play/Record), PO? (Play/Record), MB (Memory Buffer), FD (Field), PS (Play/Record), LC (Lock).

Table with columns: 分類 (Classification), コマンド (Command), 機能 (Function), ステータス (Status). Rows include commands like DP00 (Display Power Off), STO (Store), SD (Serial Data), SC (Serial Control), DT (Data Transfer), TM (Time Measurement), PI (Position Indicator).

基本動作

IV

コマンドコード表 (つづき)

分類	コマンド	機能	ステータス
PG*(1),*(2),*(3),*(4),*(5),*(6),*(7),*(8),*(9),*(10)	RC(2)EX(2)	タイマー予約の設定 *(1): 予約運用 (1~3) 1: P1 2: P2 3: P3 *(2): プログラム番号 (1~8) *(3): 曜日 (0~6) 0: 日 1: 月 2: 火 3: 水 4: 木 5: 金 6: 土 7: 日 8: 指定 *(4): 開始時 (00~23) *(5): 開始分 (00~59) *(6): 終了時 (00~23) *(7): 終了分 (00~59) *(8): マルチプレグサ設定 (0~2) 0: A 1: B 2: C *(9): 記録開始 *(10): 記録終了 (001~008, SKP, PWR, CBU, OBU, CBE, OBE) 001: 30F 002: 15F 003: 10F 004: 7.5F 005: 6F 006: 5F 007: 3F 008: 1F SKP: スキップ PWR: 通電 CBU: 通電バックアップ OBU: 上書きバックアップ CBE: 通電バックアップ後イジェクト OBE: 上書きバックアップ後イジェクト (SKP, PWR, CBU, OBU, CBE, OBEに設定する 場合は、*(9)を0~2のいずれかに設定する)	RC(2)EX(2)
DW*(1),*(2),*(3),*(4)	RC(2)EX(2)	指定曜日設定 *(1): 予約運用 (1~3) 1: P1 2: P2 3: P3 *(2): ON曜日 (0~6) 0: 日~6: 土 *(3): OFF曜日 (0~6) 0: 日~6: 土 指定曜日設定の問い合わせ	RC(2)DW*(1),*(2),*(3),*(4)
DW?*(4)	RC(2)EX(2)	*(1): 予約運用 (1~3) 1: P1 2: P2 3: P3 *(2): ON曜日 (0~6) 0: 日~6: 土 *(3): OFF曜日 (0~6) 0: 日~6: 土	RC(2)DW*(1),*(2),*(3),*(4)
CA*(1),*(2),*(3)	RC(2)EX(2)	タイマー予約設定クリア *(1): 予約運用 (1~3) 1: P1 2: P2 3: P3 *(2): プログラム番号 (1~8)	RC(2)CA*(1),*(2),*(3)
PM*(1),*(2),*(3)	RC(2)MP*(1),*(2),*(3),*(4),*(5),*(6),*(7),*(8),*(9),*(10)	タイマー予約設定クリア *(1): 予約運用 (1~3) 1: P1 2: P2 3: P3 *(2): プログラム番号 (1~8) *(3): 曜日 (0~6) 0: 日 1: 月 2: 火 3: 水 4: 木 5: 金 6: 土 7: 日 8: 指定 *(4): 開始時 (00~23, --) *(5): 開始分 (00~59, --) *(6): 終了時 (00~23, --) *(7): 終了分 (00~59, --) *(8): マルチプレグサ設定 (0~2, --) 0: A 1: B 2: C *(9): 記録開始 (001~008, SKP, PWR, CBU, OBU, CBE, OBE, --) 001: 30F 002: 15F 003: 10F 004: 7.5F 005: 6F 006: 5F 007: 3F 008: 1F SKP: スキップ PWR: 通電 CBU: 通電バックアップ OBU: 上書きバックアップ CBE: 通電バックアップ後イジェクト OBE: 上書きバックアップ後イジェクト (プログラムが未設定の場合に、*(9)~*(10)に、 --、--が出力される)	RC(2)MP*(1),*(2),*(3),*(4),*(5),*(6),*(7),*(8),*(9),*(10)
PP*(1),*(2),*(3)	RC(2)EX(2)	予約運用選択設定 *(1): P1 2: P2 3: P3 予約運用選択設定の問い合わせ	RC(2)PP*(1),*(2),*(3)
PP?*(4)	RC(2)EX(2)	*(1): P1 2: P2 3: P3	RC(2)PP*(1),*(2),*(3)

タイマー予約設定画面

分類	コマンド	機能	ステータス
MC*(1),*(2),*(3),*(4)	RC(2)EX(2)	基本記録間隔の設定 *(1): 時間モード (001~008) 001: 30F 002: 15F 003: 10F 004: 7.5F 005: 6F 006: 5F 007: 3F 008: 1F (停止中のみ有効) 基本記録間隔設定種の問い合わせ	RC(2)EX(2)
MD(2)	RC(2)MD*(1),*(2)	*(1): 時間モード (001~008) 001: 30F 002: 15F 003: 10F 004: 7.5F 005: 6F 006: 5F 007: 3F 008: 1F	RC(2)MD*(1),*(2)
QR*(2)	RC(2)EX(2)	車庫の設定 *: 1~5 1: ロー 2: ベーンシク 3: スタンダード 4: ハイ 5: スーパー	RC(2)QR*(2)
QR?(2)	RC(2)QR*(2)	*: 1~5 1: ロー 2: ベーンシク 3: スタンダード 4: ハイ 5: スーパー	RC(2)QR*(2)
AM*(1),*(2),*(3),*(4)	RC(2)EX(2)	アラーム記録間隔の設定 *(1): 001~008 001: 30F 002: 15F 003: 10F 004: 7.5F 005: 6F 006: 5F 007: 3F 008: 1F アラーム記録間隔設定種の問い合わせ	RC(2)AM*(1),*(2),*(3),*(4)
AS1(2)	RC(2)EX(2)	アラーム記録間隔の設定 *: 01~11 01: 接続 02: 2秒 03: 5秒 04: 10秒 05: 15秒 06: 30秒 07: 45秒 08: 1分 09: 2分 10: 5分 11: 10分	RC(2)AS1*(2)
AD*(1),*(2)	RC(2)EX(2)	アラーム記録間隔の設定 *: 01~11 01: 接続 02: 2秒 03: 5秒 04: 10秒 05: 15秒 06: 30秒 07: 45秒 08: 1分 09: 2分 10: 5分 11: 10分	RC(2)AD*(1),*(2)
AS0(2)	RC(2)EX(2)	アラーム記録間隔の設定 *: 01~11 01: 接続 02: 2秒 03: 5秒 04: 10秒 05: 15秒 06: 30秒 07: 45秒 08: 1分 09: 2分 10: 5分 11: 10分	RC(2)AS0*(2)
QA*(2)	RC(2)EX(2)	アラーム記録間隔の設定 *: 1~5 1: ロー 2: ベーンシク 3: スタンダード 4: ハイ 5: スーパー	RC(2)QA*(2)
QA?(2)	RC(2)QA*(2)	*: 1~5 1: ロー 2: ベーンシク 3: スタンダード 4: ハイ 5: スーパー	RC(2)QA*(2)
AL*(2)	RC(2)EX(2)	アラーム記録間隔の設定 *: 0~3 0: 切 1: 短 2: 中 3: 長 (1~3は停止中のみ有効) アラーム記録間隔設定種の問い合わせ	RC(2)AL*(2)
AL?(2)	RC(2)EX(2)	*: 0~3 0: 切 1: 短 2: 中 3: 長 (1~3は停止中のみ有効)	RC(2)AL*(2)
AR*(2)	RC(2)EX(2)	音声記録機種の設定 *: 0~1 0: 切 1: 入	RC(2)AR*(2)
AR?(2)	RC(2)EX(2)	*: 0~1 0: 切 1: 入	RC(2)AR*(2)
ES?(2)	RC(2)ES*(1),*(2),*(3),*(4),*(5),*(6),*(7),*(8),*(9),*(10)	記録時間関係情報の問い合わせ	RC(2)ES*(1),*(2),*(3),*(4),*(5),*(6),*(7),*(8),*(9),*(10)

記録設定画面

IV

コマンドコード表 (つづき)

分類	コマンド	機能	ステータス
	DB***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]	コピー/リストアの設定、実行 *(1): 0~3 0: メイン→コピー機器 (コピー、上書き) 1: メイン→コピー機器→メイン (コピー、追加) 2: バックアップ機器→メイン (リストア、上書き) 3: コピー機器→メイン (リストア、上書き) *(4): 開始年 *(5): 開始月 *(6): 開始日 *(7): 開始時 *(8): 開始分 *(9): 開始秒 *(10): 終了年 *(11): 終了月 *(12): 終了日 *(13): 終了時 *(14): 終了分 *(15): 終了秒 <メタデータ>に入れるだけコピーする指定 00, 12, 31, 10, 10, 10 (開始時刻) FF, FF, FF, FF, FF (終了時刻) <コピー容量分の最新データをコピーする指定> FF, FF, FF, FF, FF, F1 (開始時刻) FF, FF, FF, FF, F1 (終了時刻)	RC [E] EX2 [E] (サーチ終了時に返答)
	TF***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]	タイムアウトサーチ *(1): 年 *(2): 月 *(3): 日 *(4): 時 *(5): 分 *(6): 秒	RC [E] AN***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	IF***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]	インテックスサーチ(逆方向)	RC [E] AT***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	IR***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]	インテックスサーチ(逆方向) ↑	RC [E] EX5 [E] (サーチ終了時に返答)
	SF [E]	スキップサーチ(前方向)	RC [E] EX [E]
	SR [E]	スキップサーチ(逆方向)	RC [E] AN***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	AN [E]	現在のアラーム記録番号の問い合わせ	RC [E] AN***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	AT***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]	アラーム記録リスト情報の問い合わせ *(1): リスト中の***(2)番目のアラームの情報 (001~800)	RC [E] AT***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	AF***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]	指定されたアラームリスト番号のサーチ *(1): ***(2)~***(3) *(4): ***(5)~***(6)	RC [E] A Q***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	AQ ? [E]	現在のアラーム記録登録番号の問い合わせ	RC [E] A Q***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	AO ?***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]	指定したアラーム記録登録番号のアラームNo. の問い合わせ *(1): ***(2)~***(3)	RC [E] A O***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	AB***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]	指定したアラーム記録登録番号のアラームリストサーチ *(1): ***(2)~***(3)	RC [E] EX5 [E]
	JS [E]	先戻りサーチ	RC [E] EX6 [E]
	CF***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]	検索時の表示カメラ番号選択 *(1): 01~16 (カメラ番号)、00: オール	RC [E] EX [E]
	CF ? [E]	検索時の表示カメラ番号選択の問い合わせ	RC [E] CF***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]

分類	コマンド	機能	ステータス
	WN [E]	ワーニング情報の問い合わせ	RC [E] WN***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	CAQ [E]	ワーニングのクリア	RC [E] CA***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	VSP [E]	ビデオ入カステータス情報の問い合わせ(記録中のみ有効) ワーニング表示をリセットした場合VSDを出力します	RC [E] VS***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	VNP [E]	ビデオ入カステータス情報でビデオ番号が無しCHを問い合わせる (記録中のみ有効) (ワーニング表示リセットした場合VNのみ出力します)	RC [E] VN***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	DC* [E]	ディスプレイ点検画面での動作 *(1): 0~1 0: 電源オフ 1: 運用変更/初回化	RC [E] DC***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	BT***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]	起動ディスプレイ時間設定 *(1): 秒 (00~99)	RC [E] BT***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	BT ? [E]	起動ディスプレイ時間設定の問い合わせ	RC [E] BT***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
その他	SS [E] (メイン・HDD)	状態の問い合わせ	RC [E] SS***(1),(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8),(9),(10),(11),(12),(13) [E]
	RC [E] ST00 [E]	電源切	RC [E] ST00 [E]
	RC [E] ST01 [E]	セットアップ中	RC [E] ST01 [E]
	RC [E] ST02 [E]	電源入・待機モード	RC [E] ST02 [E]
	RC [E] ST03 [E]	早戻し再生モード	RC [E] ST03 [E]
	RC [E] ST04 [E]	早送り再生モード	RC [E] ST04 [E]
	RC [E] ST05 [E]	再生モード	RC [E] ST05 [E]
	RC [E] ST06 [E]	順再生・一時停止モード	RC [E] ST06 [E]
	RC [E] ST07 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST07 [E]
	RC [E] ST08 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST08 [E]
	RC [E] ST09 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST09 [E]
	RC [E] ST10 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST10 [E]
	RC [E] ST11 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST11 [E]
	RC [E] ST12 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST12 [E]
	RC [E] ST13 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST13 [E]
	RC [E] ST14 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST14 [E]
	RC [E] ST15 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST15 [E]
	RC [E] ST16 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST16 [E]
	RC [E] ST17 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST17 [E]
	RC [E] ST18 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST18 [E]
	RC [E] ST19 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST19 [E]
	RC [E] ST20 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST20 [E]
	RC [E] ST21 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST21 [E]
	RC [E] ST22 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST22 [E]
	RC [E] ST23 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST23 [E]
	RC [E] ST24 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST24 [E]
	RC [E] ST25 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST25 [E]
	RC [E] ST26 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST26 [E]
	RC [E] ST27 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST27 [E]
	RC [E] ST28 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST28 [E]
	RC [E] ST29 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST29 [E]
	RC [E] ST30 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST30 [E]
	RC [E] ST31 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST31 [E]
	RC [E] ST32 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST32 [E]
	RC [E] ST33 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST33 [E]
	RC [E] ST34 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST34 [E]
	RC [E] ST35 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST35 [E]
	RC [E] ST36 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST36 [E]
	RC [E] ST37 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST37 [E]
	RC [E] ST38 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST38 [E]
	RC [E] ST39 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST39 [E]
	RC [E] ST40 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST40 [E]
	RC [E] ST41 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST41 [E]
	RC [E] ST42 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST42 [E]
	RC [E] ST43 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST43 [E]
	RC [E] ST44 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST44 [E]
	RC [E] ST45 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST45 [E]
	RC [E] ST46 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST46 [E]
	RC [E] ST47 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST47 [E]
	RC [E] ST48 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST48 [E]
	RC [E] ST49 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST49 [E]
	RC [E] ST50 [E]	逆再生・一時停止モード	RC [E] ST50 [E]

基本操作編

設置編

運用編

メンテナンス

記録時間表

故障かな?

用語集

さくいん

コマンドコード表 (つづき)

分類	コマンド	機能	ステータス
その他	SS1? (バックアップ機器)	状態の問い合わせ	RC [] SS1.00 [] 電源切 RC [] SS1.01 [] セットアップ中 RC [] SS1.02 [] 電源入、待機モード RC [] SS1.03 [] 電源入、待機モード (RDDのみ) RC [] SS1.04 [] 早送り再生モード (RDDのみ) RC [] SS1.05 [] 再生モード RC [] SS1.06 [] 順再生、一時停止モード RC [] SS1.09 [] 逆再生モード RC [] SS1.10 [] 逆再生、一時停止モード RC [] SS1.17 [] タイムタイムアウト RC [] SS1.19 [] 順方向、インテリクササーチ RC [] SS1.20 [] 逆方向、インテリクササーチ RC [] SS1.21 [] 順方向、スキップサーチ (RDDのみ) RC [] SS1.22 [] 逆方向、スキップサーチ (RDDのみ) RC [] SS1.25 [] 順方向、キャラクタサーチ RC [] SS1.26 [] 逆方向、キャラクタサーチ RC [] SS1.27 [] アラームサーチ RC [] SS1.28 [] 先頭サーチ RC [] SS1.29 [] タイマー記録モード RC [] SS1.30 [] タイマー記録待機中 RC [] SS1.31 [] タイマー記録待機エラー RC [] SS1.34 [] バックアップ中 RC [] SS1.36 [] リストア中 RC [] SS1.46 [] 巻き戻し中 (DDSのみ)
	SS2? (コピー機器)	状態の問い合わせ	RC [] SS2.00 [] 電源切 RC [] SS2.01 [] セットアップ中 RC [] SS2.02 [] 電源入、待機モード RC [] SS2.03 [] 早送り再生モード (RDDのみ) RC [] SS2.04 [] 早送り再生モード (RDDのみ) RC [] SS2.05 [] 再生モード RC [] SS2.06 [] 順再生、一時停止モード RC [] SS2.09 [] 逆再生モード RC [] SS2.10 [] 逆再生、一時停止モード RC [] SS2.17 [] タイムタイムアウト RC [] SS2.19 [] 順方向、インテリクササーチ RC [] SS2.20 [] 逆方向、インテリクササーチ RC [] SS2.21 [] 順方向、スキップサーチ (RDDのみ) RC [] SS2.22 [] 逆方向、スキップサーチ (RDDのみ) RC [] SS2.25 [] 順方向、キャラクタサーチ RC [] SS2.26 [] 逆方向、キャラクタサーチ RC [] SS2.27 [] アラームサーチ RC [] SS2.28 [] 先頭サーチ RC [] SS2.29 [] タイマー記録モード RC [] SS2.30 [] タイマー記録待機中 RC [] SS2.31 [] タイマー記録待機エラー RC [] SS2.34 [] コピー中 RC [] SS2.36 [] リストア中 RC [] SS2.46 [] 巻き戻し中 (DDSのみ)

エラーコード表

エラーコード	意味
ER00 []	電源が入っていない
ER01 []	-
ER02 []	-
ER03 []	-
ER04 []	-
ER05 []	警告がでています
ER06 []	現在待機またはタイムアッププログラムが未設定
ER07 []	アラーム記録中
ER08 []	実行不可 (NAK)
ER09 []	-
ER10 []	コマンドが正しく無い
ER11 []	パラメータが正しく無い
ER12 []	変種バックアップエラー
ER13 []	データを正しく読み取れなかった
ER14 []	-
ER15 []	データ消去実行中 (コマンド受付禁止)
ER16 []	バックアップエラー (ハードウェアエラー)
ER17 []	バックアップエラー (ハードウェアエラー) が二回連続した場合は強制リロード中に、通常のロック解除のコマンドを送った

ステータス通知コード表

ステータス	意味
CE** []	コピー/リストアのエラー発生時に通知 ** : エラーコード (02~04) 02 : コピー・バックアップ・リストア チェックステータスエラー 03 : コピー・バックアップ・リストア/RAWエラー 04 : コピー・バックアップ・リストア/サイズエラー
DC* []	デバイス検出時に通知 * : 0~2 0 : 電源オフ、運用変更選択 1 : 電源オフ、初期化選択 2 : 電源オフのみ

はしる

基本操作編

設置編

運用編

メンテナンス

記録時間表

故障かな?

用語集

索引

IV

キャラクターサーチ

◆ **キャラクターサーチ**
 本機はRS-232C接続したパーソナルコンピュータから入力されたキャラクター（文字列）を映像・音声と共に記録することができます。記録されたキャラクターは再生時に画面に表示させることができます（表示させないことも可能です）。また、キャラクター記録した場面を探することもできます。これが、キャラクターサーチです。記録したキャラクターを指定して、そのキャラクターが記録されている場面を探し出します。

- ・キャラクターサーチに関するコマンド
- キャラクターサーチに関するコマンド

コマンド	機能	ステータス
OR0 [E1]	キャラクターを画面に表示しない(再生中のみ)	RC [E2] EX [E3]
OR1 [E1]	キャラクターを画面に表示する(再生中のみ)	↑
CR?	キャラクター表示設定情報の問い合わせ	RC [E2] CR (*:0-1) 0:OFF 1:ON
CM? [E1]	読み出されたキャラクターの問い合わせ(再生中のみ)	RC [E2] CM ** 文字データ列 [E3] ** : 文字データ数 (01~48) (文字データ列は48文字以下)
CC [E1]	キャラクター表示のクリア	RC [E2] EX [E3]
OW** 文字データ列 [E1] (48文字以下)	キャラクター書き込みデータをセットする ** : 文字データ数 (01~48)	↑
OW? [E1]	セットされたキャラクター書き込みデータの問い合わせ	RC [E2] OW** 文字データ列 [E3] ** : 文字データ数 (01~48) (文字データ列は48文字以下)
CM** [E1]	コマンド書き込みデータを記録する ** : コマンド番号 (01~16) カメラ1~16)	RC [E2] EX [E3]
LF** 文字データ列 [E1] (48文字以下)	順方向のキャラクターサーチ(休止中、再生一時停止中、再生中)	RC [E2] EX4 [E3] (サーチ終了時に返答)
LR** 文字データ列 [E1] (48文字以下)	逆方向のキャラクターサーチ(休止中、再生一時停止中、再生中)	↑

・使用できる文字
 キャラクターサーチでコメントとして使用できる文字は下記のとおりです。

アルファベット	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
ASCIIコード	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
記号	%	()	-	.	/	:	<	>																	
ASCIIコード	32	37	40	41	45	46	47	58	60	62																
数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																
ASCIIコード	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57																

※注 1スペースを表しています。

はじめに

・実施例
 1) キャラクター「ABCDEFF」を映像の記録と共に記録する。(RS-232Cの設定画面のCR/OR・LFの設定を「OR」にしたとき) キャラクターの記録は：
 ①記録するキャラクター（文字列）をセットする
 ②セットしたキャラクターを記録する

の2つの手順で行います。一度セットしたキャラクターはCMコマンドにより何度でも記録することが可能です。別のキャラクターを記録するためには再度OWコマンドによりキャラクターをセットしなおします。

コマンド	意味
RC [E2] EX [E3]	デジタルビデオレコーダーからパソコンへ返すステータスコード
RC [E2] EX [E3]	キャラクター「ABCDEFF」をセットするコマンドを送出
RC [E2] EX [E3]	デジタルビデオレコーダーがコマンドを受け取り実行した
RC [E2] EX [E3]	セットされたキャラクターを記録するコマンドを送出 (記録は書き込みが有効)
RC [E2] EX [E3]	デジタルビデオレコーダーがコマンドを実行した

CR はキャラリッジリターンコード (ODH) を意味します。

▶ 分割表示中にキャラクター表示させるときは、「タイトル表示」設定を「無」に設定してください

2) キャラクターサーチでキャラクター「ABCDEFF」が記録されている場面を探す (RS-232Cの設定画面のCR/OR・LFの設定を「OR」にしたとき)

コマンド	意味
RC [E2] EX [E3]	パソコンから送信するコマンド
RC [E2] EX [E3]	デジタルビデオレコーダーからパソコンへ返すステータスコード
RC [E2] EX [E3]	順方向のキャラクターサーチでキャラクター「ABCDEFF」の検索を開始するコマンドを送出
RC [E2] EX [E3]	デジタルビデオレコーダーがコマンドを受け取り実行した

CR はキャラリッジリターンコード (ODH) を意味します。

- ① キャラクターサーチは停止中、再生一時停止中、または再生中のみ実行が可能です。
- ① 同じキャラクターが複数あり、希望の画面が表示されなかったときは、再び同じ操作を行います。
- ① キャラクターサーチはすべてのデータを検索するためかかなり時間がかかることがあります。
- ▶ 入力したキャラクターを検知するまで早送り、または巻き戻し、検知すると停止画再生になります。
- ▶ 入力したキャラクターを検知できないときは自動的に停止します。
- ▶ 再生デバイスがDDSの場合は順方向のみはたばらきます。

基本操作編

設定編

運用編

コメント

記録時間表

故障かな？

用語集

索引

記録時間表

◆ 連続記録可能時間表

おおよその記録時間（内蔵の120GBハードディスクに記録する場合）を表示しています。この記録時間表は、「カメラ運用設定」の優先度がすべてのカメラ番号に対し、「1」を選択した場合のみ有効です。

・音声記録無し

画質	間隔	30F*	15F	10F*	7.5F	6F*	5F	3F	1F	記録枚数
スーパースロー	24時間	48時間	73時間	97時間	121時間	146時間	243時間	730時間	262万枚	
ハイ	38時間	76時間	114時間	152時間	190時間	228時間	380時間	1143時間	411万枚	
スタンダード	53時間	107時間	161時間	215時間	269時間	323時間	539時間	1619時間	582万枚	
ベーシック	70時間	141時間	212時間	283時間	354時間	425時間	709時間	2127時間	765万枚	
□ー	88時間	177時間	266時間	355時間	444時間	533時間	888時間	2667時間	960万枚	

・音声記録あり
PCM方式 12.8kHz サンプリングで音声記録が可能です。

画質	間隔	30F* ^{#2}	15F	10F*	7.5F	6F* ^{#1}	5F	3F	1F	記録枚数* ^{#2}
スーパースロー	19時間	38時間	57時間	76時間	95時間	114時間	190時間	571時間	205万枚	
ハイ	28時間	57時間	85時間	114時間	142時間	171時間	285時間	871時間	308万枚	
スタンダード	42時間	84時間	127時間	169時間	211時間	254時間	423時間	1371時間	457万枚	
ベーシック	54時間	109時間	165時間	220時間	275時間	330時間	550時間	1711時間	594万枚	
□ー	68時間	137時間	206時間	275時間	343時間	412時間	688時間	2161時間	742万枚	

*1：動き検知機能が有効設定されているとき、30F、10F、6Fの記録間隔は使用できません。詳細は、「39ページ＜動き検知機能に関する注意事項＞」をご覧ください。

*2：□内の記録モード時の記録枚数を記載しています。

はじめに

基本操作編

設定編

運用編

コマンドメニュー

記録時間表

故障かな？

用語集

さくいん

◆ プリアーム記録時間差
この記録時間表は、「カメラ運用設定」の優先度設定が全てのカメラ番号に対し、「1」を選択した場合の時間です。

・音声記録無し・記録時間 [長]

画質	間隔	30F	15F	10F	7.5F	6F	5F	3F	1F	記録枚数
スーパースロー	23秒	46秒	69秒	92秒	115秒	138秒	229秒	688秒	2054秒	68K
ハイ	35秒	70秒	105秒	140秒	175秒	210秒	350秒	1050秒	3150秒	102K
スタンダード	51秒	102秒	153秒	204秒	255秒	306秒	510秒	1530秒	4590秒	153K
ベーシック	67秒	134秒	201秒	268秒	335秒	402秒	670秒	2010秒	6030秒	201K
□ー	83秒	166秒	249秒	332秒	415秒	498秒	830秒	2490秒	7470秒	249K

・音声記録無し・記録時間 [中]

画質	間隔	30F	15F	10F	7.5F	6F	5F	3F	1F	記録枚数
スーパースロー	15秒	30秒	45秒	60秒	75秒	90秒	150秒	450秒	1350秒	45K
ハイ	23秒	46秒	69秒	92秒	115秒	138秒	229秒	688秒	2054秒	68K
スタンダード	34秒	68秒	102秒	136秒	170秒	204秒	340秒	1020秒	3060秒	102K
ベーシック	45秒	90秒	135秒	180秒	225秒	270秒	450秒	1350秒	4050秒	135K
□ー	56秒	112秒	168秒	224秒	280秒	336秒	560秒	1680秒	5040秒	168K

・音声記録無し・記録時間 [短]

画質	間隔	30F	15F	10F	7.5F	6F	5F	3F	1F	記録枚数
スーパースロー	0.8秒	1.6秒	2.4秒	3.2秒	4.0秒	4.8秒	8.0秒	24.0秒	72.0秒	23K
ハイ	1.2秒	2.4秒	3.6秒	4.8秒	6.0秒	7.2秒	12.0秒	36.0秒	108.0秒	36K
スタンダード	1.7秒	3.4秒	5.1秒	6.8秒	8.5秒	10.2秒	17.0秒	51.0秒	153.0秒	51K
ベーシック	2.2秒	4.5秒	6.7秒	8.9秒	11.1秒	13.3秒	22.0秒	66.0秒	198.0秒	66K
□ー	2.8秒	5.6秒	8.4秒	11.2秒	14.0秒	16.8秒	28.0秒	84.0秒	252.0秒	84K

・音声記録あり・記録時間 [長]

画質	間隔	30F	15F	10F	7.5F	6F	5F	3F	1F	記録枚数
スーパースロー	1.8秒	3.6秒	5.4秒	7.2秒	9.0秒	10.8秒	18.0秒	54.0秒	162.0秒	54K
ハイ	2.7秒	5.4秒	8.1秒	10.8秒	13.5秒	16.2秒	27.0秒	81.0秒	243.0秒	81K
スタンダード	4.0秒	8.0秒	12.0秒	16.0秒	20.0秒	24.0秒	40.0秒	120.0秒	360.0秒	120K
ベーシック	5.2秒	10.4秒	15.6秒	20.8秒	26.0秒	31.2秒	52.0秒	156.0秒	468.0秒	156K
□ー	6.5秒	13.0秒	19.5秒	26.0秒	32.5秒	39.0秒	65.0秒	195.0秒	585.0秒	195K

・音声記録あり・記録時間 [中]

画質	間隔	30F	15F	10F	7.5F	6F	5F	3F	1F	記録枚数
スーパースロー	1.2秒	2.4秒	3.6秒	4.8秒	6.0秒	7.2秒	12.0秒	36.0秒	108.0秒	36K
ハイ	1.8秒	3.6秒	5.4秒	7.2秒	9.0秒	10.8秒	18.0秒	54.0秒	162.0秒	54K
スタンダード	2.7秒	5.4秒	8.1秒	10.8秒	13.5秒	16.2秒	27.0秒	81.0秒	243.0秒	81K
ベーシック	3.6秒	7.2秒	10.8秒	14.4秒	18.0秒	21.6秒	36.0秒	108.0秒	324.0秒	108K
□ー	4.5秒	9.0秒	13.5秒	18.0秒	22.5秒	27.0秒	45.0秒	135.0秒	405.0秒	135K

・音声記録あり・記録時間 [短]

画質	間隔	30F	15F	10F	7.5F	6F	5F	3F	1F	記録枚数
スーパースロー	0.6秒	1.2秒	1.8秒	2.4秒	3.0秒	3.6秒	6.0秒	18.0秒	54.0秒	18K
ハイ	0.9秒	1.8秒	2.7秒	3.6秒	4.5秒	5.4秒	9.0秒	27.0秒	81.0秒	27K
スタンダード	1.3秒	2.6秒	3.9秒	5.2秒	6.5秒	7.8秒	13.0秒	39.0秒	117.0秒	39K
ベーシック	1.7秒	3.4秒	5.1秒	6.8秒	8.5秒	10.2秒	17.0秒	51.0秒	153.0秒	51K
□ー	2.2秒	4.4秒	6.6秒	8.8秒	11.0秒	13.2秒	22.0秒	66.0秒	198.0秒	66K

V 「故障かな」と思う前に

◆ 故障かなと思ったら
 下記の内容をお調べになって、それでも不都合がある場合は使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買いあげの販売店にご連絡ください。

Q	こんな症状がでたら	A	ここをお調べください	P	参照ページ
設置	本機の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントからはずれていませんか？ ロックインジケータが点灯していませんか？ タイマー記録インジケータが点灯していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントからはずれていませんか？ ロックインジケータが点灯していませんか？ タイマー記録インジケータが点灯していませんか？ 	—	8,85 8
	電源が入っているのに動かない	<ul style="list-style-type: none"> ロックインジケータが点灯していませんか？ 電源ボタンが点滅していませんか？ 安全装置が働いている可能性があります。後面のリセットボタンをボールペンなどで押してから電源を入れ直してください。 通信インジケータが点灯していませんか？通信ボタンを押して解除してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ロックインジケータが点灯していませんか？ 電源ボタンが点滅していませんか？ 安全装置が働いている可能性があります。後面のリセットボタンをボールペンなどで押してから電源を入れ直してください。 通信インジケータが点灯していませんか？通信ボタンを押して解除してください。 	8,85	8
	モニターに映像がない	<ul style="list-style-type: none"> モニターやカメラが正しく接続されていますか？ 選択されたカメラ番号にカメラ番号が入力されていますか？16画面表示にして確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> モニターやカメラが正しく接続されていますか？ 選択されたカメラ番号にカメラ番号が入力されていますか？16画面表示にして確認してください。 	20	52
	モニターの映像が不鮮明である	<ul style="list-style-type: none"> 接続コードの接続不良はありませんか？ カメラのピントは正しく調整されていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 接続コードの接続不良はありませんか？ カメラのピントは正しく調整されていますか？ 	—	—
	記録			—	—
	記録ができない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクの空きがなくなっていますか？ 記録は設定した記録時間の時間が経過したあとに始まりませんか？設定した記録時間以内に停止させませんか？ プリアラームインジケータが点灯していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクの空きがなくなっていますか？ 記録は設定した記録時間の時間が経過したあとに始まりませんか？設定した記録時間以内に停止させませんか？ プリアラームインジケータが点灯していませんか？ 	15	8
	記録を停止することができない	<ul style="list-style-type: none"> ロックインジケータが点灯していませんか？ タイマー記録モードになっていませんか？タイマー記録を解除したい時は、もう一度タイマーボタンを押してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ロックインジケータが点灯していませんか？ タイマー記録モードになっていませんか？タイマー記録を解除したい時は、もう一度タイマーボタンを押してください。 	8,85	8
	リポート記録ができない	<ul style="list-style-type: none"> リポート記録モードになっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> リポート記録モードになっていませんか？ 	71	—
	タイマー記録ができない	<ul style="list-style-type: none"> 日付、現在時刻は正確に設定しましたか？ 記録開始時刻と終了時刻および記録間隔を正しく設定しましたか？ 時間間隔をバックアップにした設定があるのに、メディアが入っていない、あるいはメディアのプロテクトがかかっていますか？ HDDリポート記録の設定が「切」または、「アラーム保護」になっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 日付、現在時刻は正確に設定しましたか？ 記録開始時刻と終了時刻および記録間隔を正しく設定しましたか？ 時間間隔をバックアップにした設定があるのに、メディアが入っていない、あるいはメディアのプロテクトがかかっていますか？ HDDリポート記録の設定が「切」または、「アラーム保護」になっていませんか？ 	13	15,64,65
	アラーム記録ができない	<ul style="list-style-type: none"> タイマー予約待機中になっていませんか？ (タイマーボタンが点灯していませんか？) 外部のスイッチなどが正しく接続されていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> タイマー予約待機中になっていませんか？ (タイマーボタンが点灯していませんか？) 外部のスイッチなどが正しく接続されていますか？ 	8	20-22

Q	こんな症状がでたら	A	ここをお調べください	P	参照ページ
再生	再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> 外部記録機器 コピー機器 / バックアップ機器の操作ができない 電源を入れたとき「セットアップ中...」の表示から進まない 	<ul style="list-style-type: none"> 外部記録機器 コピー機器 / バックアップ機器の操作ができない 電源を入れたとき「セットアップ中...」の表示から進まない 	—	—
	再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> メディアが正しく挿入されていますか？ メディアがローディング動作中ではないですか？ 再生デバイスの選択はあっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> メディアが正しく挿入されていますか？ メディアがローディング動作中ではないですか？ 再生デバイスの選択はあっていますか？ 	—	79
	外部記録機器	<ul style="list-style-type: none"> 外部記録機器が正しく接続されていますか？ 外部記録機器のSCSI ID番号が正しく設定されていますか？ SCSI端子ターミネータースイッチがオフになっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 外部記録機器が正しく接続されていますか？ 外部記録機器のSCSI ID番号が正しく設定されていますか？ SCSI端子ターミネータースイッチがオフになっていますか？ 	22	22 11
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <時刻・初期設定>メニューの「動き検知機能」が「入」になっていますか？ 「記録開始ドット数」で設定した数値が「検知エリアドット設定」で設定した数値より大きくありませんか？ 設定メニューが開いた状態では動き検知機能は働きます。 	<ul style="list-style-type: none"> <時刻・初期設定>メニューの「動き検知機能」が「入」になっていますか？ 「記録開始ドット数」で設定した数値が「検知エリアドット設定」で設定した数値より大きくありませんか？ 設定メニューが開いた状態では動き検知機能は働きます。 	39	47 49
	動き検知機能が働かない	<ul style="list-style-type: none"> RS-232C設定は正しくされていますか？ 正しく接続されていますか？ 接続コードの接続不良はありませんか？ 接続コードはあっていますか？ 通信インジケータが点灯していませんか？通信ボタンを押して解除してください。 	<ul style="list-style-type: none"> RS-232C設定は正しくされていますか？ 正しく接続されていますか？ 接続コードの接続不良はありませんか？ 接続コードはあっていますか？ 通信インジケータが点灯していませんか？通信ボタンを押して解除してください。 	10,87	88 88 8
	パーソナルコンピュータで制御できない	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れたとき「デバイス点検」画面が表示される 	<ul style="list-style-type: none"> 外部記録機器のSCSI ID番号が正しく設定されていますか？ ケーブルの確認をしてください。 	22	—
	外部記録機器が認識されない	<ul style="list-style-type: none"> SCSI 端子ターミネータースイッチがONに設定されていませんか？ 外部記録機器がはずれていませんか？ 推奨外部記録機器を使用していますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> SCSI 端子ターミネータースイッチがONに設定されていませんか？ 外部記録機器がはずれていませんか？ 推奨外部記録機器を使用していますか？ 	11	—
	分割表示の時、青い画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ボタン操作ができない 	<ul style="list-style-type: none"> <記録設定>または、<アラーム記録・動き検知設定>メニューの<カメラ運用設定>画面で運用設定されているが、映像番号のないICHは青く表示されます。 	16,43	—
	カメラ番号ボタン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> メニュー画面が表示されていませんか？メニュー画面表示中は、カメラ番号ボタンは使用できません。 外部記録機器へのアクセス中ではありませんか？アクセスインジケータの確認をしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> メニュー画面が表示されていませんか？メニュー画面表示中は、カメラ番号ボタンは使用できません。 外部記録機器へのアクセス中ではありませんか？アクセスインジケータの確認をしてください。 	9	14 8

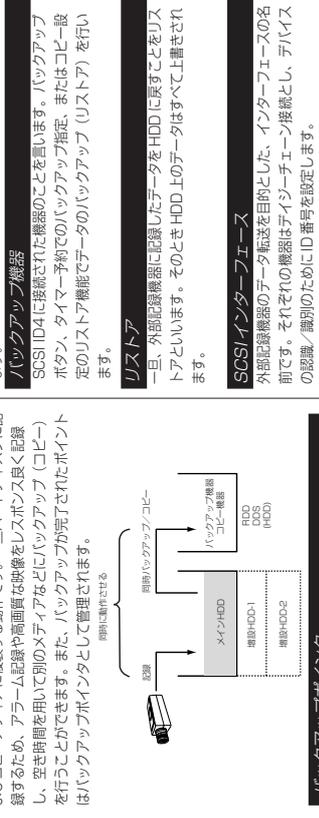
V ワーニング表示と CALL OUT 出力

◆ エラー表示と対応
CALL OUT の出力について
選択：メニュー上で CALL OUT 出力の入・切が設定できる。
共通：メニュー上の設定無しに CALL OUT 出力から CALL OUT 信号を出力する。

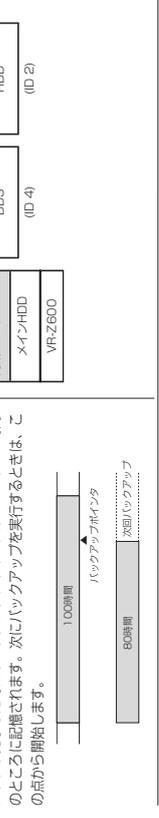
ワーニング表示	表示の意味	対応	ワーニング解除	CALL OUT の出力	参照ページ
HDD フル	内蔵HDDのリベリ記録の設定が「切」または「アラーム保護」選択時に内蔵HDDの記録容量がなくなった。	ワーニングを解除することにより、最も古い記録の部分から上書き記録に移行する。 必要に応じてバックアップやコピーを行う。	警告消去ボタンを押す。	選択	71
HDD残量警告	内蔵HDDの記録容量が残量モード警告設定面に近づいている。	必要に応じてバックアップやコピーを行う。	警告消去ボタンを押す。	選択	32.33
メディアフル	バックアップ機器のメディアの記録残量がなくなつた。	新しいバックアップメディアを、バックアップ機器に入れる。	警告消去ボタンを押す。	選択	32.33
メディア残量警告	バックアップ機器のメディアの記録残量が残り少ない。	新しいバックアップメディアを、バックアップ機器に入れる。	警告消去ボタンを押す。	選択	32.33
コピー・記録動作警告 バックアップ・記録動作警告	HDD記録をリベリモードに設定時、バックアップ未完了部分が上書きされてしまつた。	上書き記録したくない場合は、記録を止める。 記録間隔と記録画面の設定を変更する（記録間隔を長くし、記録画面を低くする）。	警告消去ボタンを押す。	共通	80-83
コピー・記録動作警告 バックアップ・記録動作警告	HDD記録をリベリモードに設定時、バックアップ未完了部分が上書きされてしまつた。	上書き記録したくない場合は、記録を止める。 記録間隔と記録画面の設定を変更する（記録間隔を長くし、記録画面を低くする）。	警告消去ボタンを押す。	共通	80-83
コピーサイズエラー バックアップサイズエラー リストアサイズエラー	HDDからコピー、およびリストアするときに、データが容量を上回っている、またはコピー元のデータがない。	バックアップおよびコピーする間隔を再設定する。 新しいバックアップメディアまたはコピーメディアを、各機器に入れる。	警告消去ボタンを押す。	共通	80-83
コピーメディアエラー1 バックアップメディアエラー1 リストアメディアエラー1	RDDデバイスまたはDDSデバイスが認識できない。	RDDデバイスおよびDDSデバイスのメディアをチェックする。 メディアが入っていないときはメディアを入れる。ソムの折れたメディアおよび上書き保護してあるメディアの場合は保護を解除するか、新しいメディアを入れる。）	警告消去ボタンを押す。	共通	80-83
映像信号無し ①②③④⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ (映像信号のないカメラ番号が表示される)	記録中に映像信号が5秒以上継続して交差した。	本機とカメラが正しく接続されているか、電源が入っているか確認する。 カメラから所定の映像信号が出力されているか確認する。 メニューにおいて、カメラ番号設定>メニューにおいて映像信号のないチャンネルを設定してないか確認する。	記録状態を停止させるか、映像信号が復帰された場合、解除される。 警告消去ボタンを押す。	共通	20 15, 16, 43
システムエラー 記録システムエラー コピーシステムエラー バックアップシステムエラー リストアシステムエラー	SCSI接続エラーおよびシステムに異常が発生した。	SCSIケーブルがはずれていないか確認する。 再起動する。 HDD、バックアップおよびコピー機器の再接続をする。	警告消去ボタンを押す。	共通	21, 22
コピー・R/Wエラー バックアップ・R/Wエラー リストア・R/Wエラー	バックアップまたはコピー中のデータ読み書きで障害が発生している。	バックアップおよびコピー機器ならびにメディアの確認をする。	警告消去ボタンを押す。	共通	21, 22

用語集 / 設定カメラ数および記録間隔設定と記録動作の関係

◆ 同時バックアップ（コピー）のしくみ
カメラの映像を一旦ハードディスクに書き込み、同時にメインHDDからデータを読み出し、別の取り出し可能なバックアップおよびコピーメディアに複製する動作です。一旦ハードディスクに記録するため、アラーム記録や高画質映像をレスポンス良く記録し、空き時間を用いて別のメディアなどにバックアップ（コピー）を行うことができます。また、バックアップが完了されたポイントはバックアップポイントとして管理されます。



◆ バックアップポイント
バックアップ機器のメディアに、バックアップを完了した点を指します。たとえば100時間記録したHDDの記録データを、80時間バックアップ可能なメディアにバックアップを実行します。バックアップが完了した時にはバックアップポイントはHDDの80時間のところから記録されます。次にバックアップを実行するときは、この点から開始します。

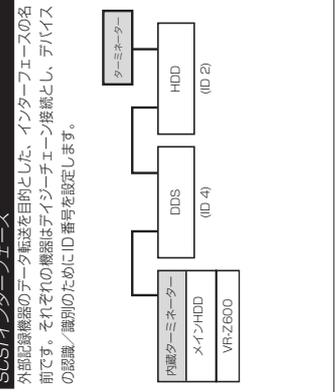


◆ コピー機器
SCSI ID5に接続された機器のことを言います。コピーボタンで指定範囲の記録データをコピー（リストア）することによって、バックアップ機器

◆ バックアップ機器
SCSI ID4に接続された機器のことを言います。バックアップボタン、タイム予約でのバックアップ指定、またはコピー設定のリストア機能でデータのバックアップ（リストア）を行います。

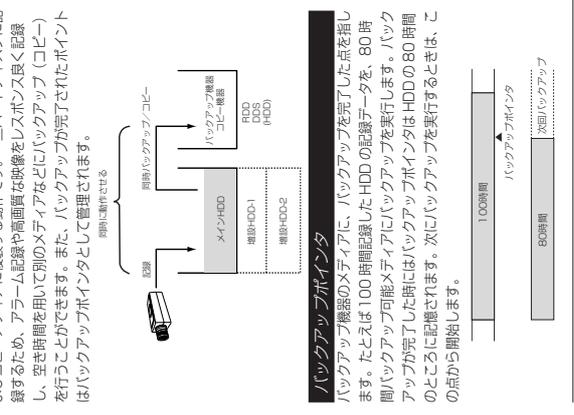
◆ リストア
一旦、外部記録機器に記録したデータをHDDに戻すことをリストアと言います。そのときHDD上のデータはすべて上書きされます。

◆ SCSIインターフェース
外部記録機器のデータ転送を目的とした、インターフェースの名前です。それぞれの機器はデジリザーブ接続とし、デバイスの認識/識別のためにID番号を設定します。



用語集 / 設定カメラ数および記録間隔設定と記録動作の関係

◆ 設定カメラ数および記録間隔設定と記録動作の関係
このデジタルビデオレコーダーでの映像の取り込み（記録）は、下図の様なタイミングで行われます。映像は、カメラ奇数×記録間隔の時間毎に、設定された全カメラから連続して（通常記録で30F間隔、動き検知設定有効時で15F間隔）取り込まれます。
たとえば、カメラ4台を記録間隔1秒で記録した場合、4秒間（1秒×4カメラ）ごとに4台すべてのカメラの映像を連続で取り込みます。この映像を1画面表示で再生すると、4秒毎に画面が更新されます。



V

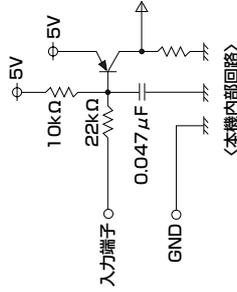
さくしん

記号	1 画顯示	11, 20	外部記録機器の確認	24	サ	サーチのしかた	17	タイマー予約での同時バックアップ	58	ホ	通称画面に属するには	12	タイマー予約での同時バックアップ	58	マ	マルチプレクサ機能	14, 50	ウ	ウェディング表示	108
	1画顯示	11, 20	外部記録機器の確認	24		サーチボタン	17	タイレト接続	88		通信画面に属するには	12	タイレト接続	88		マルチプレクサ設定	14, 50			
	4画顯示	50, 51	拡張ポインタ(X)	51		サーチメニュー	28	タイレト接続	88		通信画面に属するには	12	タイレト接続	88		マルチプレクサ設定	14, 50			
	4桁番号表示	13	拡張ポインタ(X)	51		再生間隔の変更	29	タイレト接続	88		通信画面に属するには	12	タイレト接続	88		マルチプレクサ設定	14, 50			
	4分割表示位置	53	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	9分割表示位置	54	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	16分割表示位置	54	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	[*]の設定	81	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
A	ALARIN IN 端子	10	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	ALARIN OUT 端子	11	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	AUDIO IN 端子	10	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	AUDIO OUT 端子	10	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
C	CALL OUT 端子	11	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	CALL OUT GND 端子	11	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	CALL OUT 出力	108	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	CALL OUT 設定	32	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	CAMERA IN 端子	10	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	CAMERA OUT 端子	10	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	CCTV カメラとの接続	20	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	CLOCK ADJ 端子	11, 13	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
D	DC 5V OUT 端子	11, 20	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	DDS ドライブ	22	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
E	ETHERNET 端子	10	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	アクセイスインジケター	8	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	アラーム記録	68	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	アラーム記録・動き検知設定	43	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	アラーム記録インジケター	8	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	アラーム記録カメラ	44	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	アラーム記録時間	43	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	アラーム記録の接続方法	21	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	アラームカ1画表示	58	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	アラームリストサチ	78	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
I	HDD からコピ機能へコピ	80	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	HDD の増設	23	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	HDD リバート記録	36	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	HDD リバート再生	37	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
I	I/O 端子	11, 20	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	I/O 端子設定	31	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	ID 番号の変更	23	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	IP アドレス	87	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
M	MAC アドレス	87	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	MIC シャック	10	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	MODE OUT 端子	11	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
	MODE OUT 設定	31	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			
O	OSD クリア	34	拡張ポインタ(X)	51		再生ボタン	75	立ち上げ遅延時間	17		通信画面に属するには	12	立ち上げ遅延時間	17		マルチプレクサ設定	14, 50			

制御入出力信号と回路について

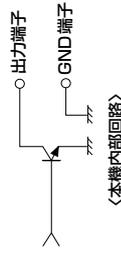
- ◆ POWER ON/POWER OFF/ALARM IN/REC/CLOCK ADJ入力端子

・入力回路



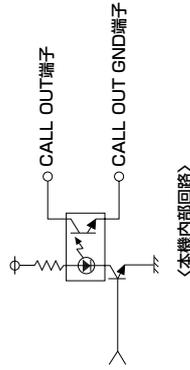
- ◆ ALARM OUT /MODE OUT 出力端子

・出力回路



- ◆ CALL OUT 出力端子

・出力回路



仕様

- 一般
 - 電源 AC100V 50Hz/60Hz
 - 電流 1A
 - 定格電圧方式 NTSC方式
 - 信号周温度 5~40 (°C)
 - 許容相対湿度 最大 80 %
 - 許容相対湿度 3000m以下
 - 外形寸法 42.5 (幅) × 111.3 (高さ) × 38 (奥行) (cm)
 - 質量 8.4kg
 - 記録方式 JPEG圧縮によるデジタル記録方式
 - サンプリング 13.5 MHz
 - データ圧縮方式 JPEG
 - 映像圧縮単位 フィールド
 - 音声記録方式 PCM方式
 - 処理画素数 684 × 240
 - 記録媒体 120 GBハードディスクドライブ
 - 入出力 16入力 BNCコネクタ
 - モニター出力 1.0V(p-p), 75 Ω
 - S(Y/C)コネクタ 1.0V(p-p), 75 Ω(輝度信号) 0.286V(p-p), 75 Ω(色信号)
 - BNCコネクタ 1.0V(p-p), 75 Ω (2系統)
- スルー 出力 16出力 BNCコネクタ
- オーディオ入力 1.0V(p-p), 75 Ω
- オーディオ出力 308 mV(rms) 50 k Ω
- マイク入力 308 mV(rms) 1 k Ω
- マイク入力 0.346 mV(rms) 600 Ω
- 時刻精度 ± 20 秒/月以内 (電源供給時、常温)
- タイマープログラム 完全独立8プログラム×3セット
- プログラム数 月~日および毎日および任意曜日間設定
- 曜日設定 月~日および毎日および任意曜日間設定
- 時間設定 タイマーONおよびOFF時間設定
- バッテリーバックアップ 約1ヶ月 (満充電時)

制御端子	電源入信号入力	電源切信号入力	アラーム記録開始信号入力	時計正時合わせ入力	記録指令信号入力	アラーム記録信号出力	動作モード信号出力	ワーニング警報信号 (フォトカプラ出力)	DC 5V 出力	GND(グラウンド)	RS-232C	SCSI	ETHERNET
POWER ON	LOW : POWER OFF HIGH : POWER ON	LOW : POWER OFF	動作時 : GND端子に短絡または「L」レベル電圧印加 非動作時 : オープン	動作時 : 「L」レベル電圧、最大電流 7 mA DC 非動作時 : オープン、最大電圧 +24 V DC	動作時 : ON 状態、最大電流 7 mA DC 非動作時 : オープン、最大電圧 +24 V DC	動作時 : 「L」レベル電圧、最大電流 7 mA DC 非動作時 : オープン、最大電圧 +24 V DC	動作時 : ON 状態、最大電流 7 mA DC 非動作時 : オープン、最大電圧 +24 V DC	電源-ON時 : 出力、最大電流 30 mA			パーソナルコンピュータ接続用、RS-232C規格準拠 (D-sub 9ピンコネクタ)	SCSI2準拠、ピンタイプハーフ50pinコネクタ形状 RJ-45	物理インターフェース 10BASE-T

付属品

- 取扱説明書 1冊
- 電源コード 1本
- BNCコード 1本
- 保証書 1通

<外形図> 単位 (mm)

